

## 講演一覽

## 特別講演 1

1日目 11月13日(火) 14:30~15:30 A会場

座長：塩田 達雄（大阪大学微生物病研究所）

**PL-1** International collaboration for the fight against pandemics : example of vaccines against HIV/AIDS

Patrice Debre

Département d'Immunologie INSERM UMR-S 945 Hôpital Pitié-Salpêtrière 83 Bd de l'Hôpital 75013 PARIS

## 特別講演 2

2日目 11月14日(水) 10:30~11:30 A会場

座長：松浦 善治（大阪大学微生物病研究所）

**PL-2** Dengue epidemiology, research on vaccine trial and therapeutic development in Thailand

Pratap Singhasivanon

Faculty of Tropical Medicine, Mahidol University 420/6 Ratchawittee Road, Ratchadheewee, Bangkok 10400, Thailand.

## 特別シンポジウム ウイルス学における dual use

2日目 11月14日(水) 13:00~15:00 A会場

座長：吉倉 廣（日本学術会議）

倉田 毅（国際医療福祉大学 塩谷病院）

**SS-1** Dual-use dilemmaの拡大と生命科学領域への波及

山田 憲彦

防衛省 航空幕僚監部 首席衛生官、空将補

**SS-2** ウイルスを含む病原体研究のデュアルユース（二面的利用性）問題について-日本学術会議より-

岡本 尚

名古屋市立大学大学院 医学研究科 細胞分子生物学

**SS-3** ゲノムの多様性創出工学と生命科学・生命工学におけるデュアルユース問題

原島 俊

大阪大学大学院 工学研究科・日本生物工学会

**SS-4** ウイルス学研究におけるDual Use Research と Dual Use Research of Concern

河岡 義裕

東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 感染症国際研究センター

## 杉浦奨励賞受賞講演

1日目 11月13日(火) 13:40~14:20 A会場

座長：柳 雄介（九州大学大学院医学研究院）

**SA-1** 抗エンテロウイルス化合物群の探索とそのウイルス感染阻害機構の解析

有田 峰太郎

国立感染症研究所 ウイルス第二部第2室

**SA-2** ロタウイルス遺伝子操作系の開発とそれを用いた外殻スパイク蛋白質VP4の解析

河本 聡志

藤田保健衛生大学 医学部 ウイルス寄生虫学講座



## シンポジウム 1 人獣共通感染症

1日目 11月13日(火) 15:45-18:00 A会場

座長：神谷 亘 (大阪大学微生物病研究所)

伊藤 直人 (岐阜大学応用生物科学部)

- S1-1** ダニ媒介性フラビウイルスの病態発現機序  
好井 健太朗  
北海道大学大学院 獣医学研究科 公衆衛生学教室
- S1-2** ハンタウイルスの持続感染成立機構について  
吉松 組子  
北海道大学大学院 医学研究科 微生物学講座 病原微生物学分野
- S1-3** 狂犬病ウイルスの病原性発現機序に関する研究  
伊藤 直人  
岐阜大学 応用生物科学部 人獣共通感染症学研究室
- S1-4** エボラおよびマールブルグウイルス  
高田 礼人  
北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター
- S1-5** E型肝炎ウイルスについての最近の知見  
岡本 宏明  
自治医科大学 感染・免疫学講座 ウイルス学部門

## シンポジウム 2 熱帯感染症

1日目 11月13日(火) 15:45-18:00 B会場

座長：小西 英二 (大阪大学微生物病研究所)

黒須 剛 (大阪大学微生物病研究所)

- S2-1** マーモセットを用いたチクングニアウイルス、デングウイルス感染病態解析  
高崎 智彦  
国立感染症研究所 ウイルス第一部
- S2-2** 治療法開発のためのデングウイルス感染マウスモデル  
黒須 剛  
大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野
- S2-3** デングワクチンの開発と抗体依存性感染増強への対策  
小西 英二  
大阪大学 微生物病研究所 デングワクチン (阪大微生物病研究会) 寄附研究部門
- S2-4** ベトナムにおけるコウモリ由来ウイルス感染症調査 –ベトナムでニパウイルスのアウトブレイクは起こるのだろうか–  
長谷部 太  
長崎大学 熱帯医学研究所 ウイルス学分野、長崎大学 国際連携研究戦略本部
- S2-5** 東南アジアの臨床疫学フィールドから学ぶウイルス感染症学  
有吉 紅也  
長崎大学 熱帯医学研究所 臨床感染症学分野、長崎大学病院 国際医療センター (感染症内科)

## シンポジウム3 インフルエンザ研究

2日目 11月14日(水) 15:15-17:30 A会場

座長：中屋 隆明 (京都府立医科大学)

高橋 和郎 (大阪府立公衆衛生研究所)

- S3-1** パンデミック(H1N1)2009の教訓と新型インフルエンザ事前準備・緊急対応体制の再構築  
田代 真人  
国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター
- S3-2** スペイン風邪ウイルスの病原性発現機構の解析  
渡辺 登喜子  
科学技術振興機構 ERATO 河岡感染宿主応答ネットワークプロジェクト
- S3-3** エジプトにおけるH5N1高病原性鳥インフルエンザウイルスの多様化について  
渡邊 洋平  
大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野
- S3-4** 東南アジアと日本におけるH5N1亜型高病原性鳥インフルエンザの発生について  
西藤 岳彦  
(独)農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所ウイルス・疫学研究領域、岐阜大学大学院連合獣医学研究科
- S3-5** H5N1高病原性鳥インフルエンザウイルス(HPAIV)の猖獗をどうする  
喜田 宏  
北海道大学大学院 獣医学研究科、同大人獣共通感染症リサーチセンター

## シンポジウム4 抗ウイルス剤の開発

2日目 11月14日(水) 15:15-17:30 B会場

座長：上田 啓次 (大阪大学医学系研究科)

白木 公康 (富山大学医学部)

- S4-1** 漢方薬の作用と抗ウイルス薬の開発について  
白木 公康  
富山大学 医学部ウイルス学
- S4-2** 種々の作用点を標的とした抗HIV剤  
玉村 啓和  
東京医科歯科大学 生体材料工学研究所
- S4-3** 新規抗C型肝炎ウイルス剤による治療の現状  
黒崎 雅之  
武蔵野赤十字病院消化器科
- S4-4** 抗ウイルス薬の研究・開発 (耐性ウイルスプロファイルの向上を目指して)  
佐藤 彰彦  
塩野義製薬 創薬疾患研究所感染症部門長
- S4-5** HIV感染症とエイズの治療薬の開発～ 有機化学・薬理学・ウイルス学・結晶解析学・臨床科学を糾合させて～  
満屋 裕明  
熊本大学大学院 生命科学研究部 血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部、国立国際医療研究センター・臨床研究センター



## シンポジウム5 海外拠点におけるウイルス感染症研究

3日目 11月15日(木) 9:00~11:40 A会場

座長：井戸 栄治 (東京医科歯科大学医歯学総合研究科)

山城 哲 (長崎大学熱帯医学研究所)

### S5-1 Activities of Joint Research in China

Zene Matsuda

Research Center for Asian Infectious Diseases, Institute of Medical Science, The University of Tokyo; Laboratory of Structural Virology and Immunology, Institute of Biophysics, Chinese Academy of Sciences

### S5-2 フィリピンにおける東北大学のウイルス研究の取組

押谷 仁

東北大学大学院 医学系研究科

### S5-3 タイにおけるJ-GRIDおよびSATREPS研究活動について

亀岡 正典<sup>1,2)</sup>、佐々木 正大<sup>1)</sup>

1) 大阪大学 微生物病研究所、2) 現 神戸大学大学院 保健学研究科

### S5-4 神戸大学インドネシア拠点の紹介

内海 孝子、堀田 博

神戸大学大学院 医学研究科

### S5-5 ケニアとベトナムにおける長崎大学海外研究拠点の役割

山城 哲、森田 公一

長崎大学 熱帯医学研究所

### S5-6 東京医科歯科大学ガーナ大学野口記念医学研究所で展開している2つの感染症研究プロジェクト

井戸 栄治、山岡 昇司

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科

## シンポジウム6 ワクチン開発

3日目 11月15日(木) 9:00~11:15 B会場

座長：奥野 良信 (阪大微生物病研究会観音寺研究所)

大石 和徳 (国立感染症研究所感染情報センター)

### S6-1 HPVワクチン---有効性と残された課題

神田 忠仁

理化学研究所 新興・再興感染症研究ネットワーク推進センター

### S6-2 日本脳炎ワクチン

石川 豊数

一般財団法人阪大微生物病研究会

### S6-3 不活化ポリオワクチン導入とポリオワクチンの将来

清水 博之

国立感染症研究所 ウイルス第二部

### S6-4 次世代ワクチンとしての経鼻インフルエンザワクチン

長谷川 秀樹

国立感染症研究所 感染病理部

### S6-5 国産HIVワクチンの開発

井上 誠

ディナベック株式会社

**教育シンポジウム 1 ウイルス検査体制**

1日目 11月13日(火) 15:45-18:00 E会場

座長：倉根 一郎 (国立感染症研究所)

森川 茂 (国立感染症研究所獣医科学部)

**ES1-1 海外におけるBSL-4施設の現状**

倉根 一郎

国立感染症研究所

**ES1-2 日本国内におけるウイルス性出血熱や新興ウイルス感染症の検査体制とBSL4施設の現状**

森川 茂

国立感染症研究所 獣医科学部

**ES1-3 本邦における感染症検査機関:大学附属病院/民間検査機関/地方衛生研究所におけるBSL整備状況、検査対象ウイルス及び検査内容の現状について**

田中 智之

堺市衛生研究所

**ES1-4 日本国内におけるウイルス性家畜伝染性疾患の検査体制**

内田 裕子

(独) 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所 ウイルス・疫学研究領域

**ES1-5 BSEに関連する検査の課題**

吉川 泰弘

千葉科学大学

**教育シンポジウム 2 病原体安全管理**

2日目 11月14日(水) 15:15-17:30 E会場

座長：塩田 達雄 (大阪大学微生物病研究所)

**ES2-1 感染症法に基づく病原体管理について**

中嶋 建介

厚生労働省 健康局 結核感染症課 感染症情報管理室

**ES2-2 家畜伝染病予防法の改正に伴う病原体所持に関わる規制について**

伏見 啓二

農林水産省 消費・安全局 動物衛生課

**ES2-3 遺伝子組換え実験(カルタヘナ法):東大医科研における審査・実施の実際と最近の諸問題**

斎藤 泉

東京大学 医科学研究所 遺伝子解析施設

**ES2-4 東日本大震災における動物実験施設とバイオセーフティの対応**

笠井 憲雪

東北大学大学院 医学系研究科 附属動物実験施設

**ES2-5 感染制御の視点からとらえるバイオセーフティ**

朝野 和典

大阪大学 医学部 感染制御部



教育シンポジウム3 血液製剤・バイオ医薬品・細胞治療におけるウイルス対策

3日目 11月15日(木) 9:00~11:00 E会場

座長：東 寛 (旭川医科大学医学部)

岡田 義昭 (国立感染症研究所血液・安全性研究部)

ES3-1 新興感染症勃発時における血液製剤のリスク管理～XMRV事件から学んだこと～

古田 里佳

日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 製剤開発課、血液事業本部 中央血液研究所 感染症解析部

ES3-2 血液製剤のウイルス感染症対策

岡田 義昭

国立感染症研究所 血液・安全性研究部

ES3-3 バイオ医薬品のウイルス安全性について

山口 照英

国立医薬品食品衛生研究所

ES3-4 再生医療・細胞治療領域で問題となる微生物のモニタリング

森尾 友宏

東京医科歯科大学大学院 発生発達病態学分野、同医学部附属病院 細胞治療センター

## 教育セミナー

### 教育セミナー 1

1日目 11月13日(火) 12:00～13:00 A会場

完全ヒト型抗ウイルス中和抗体の単離 及び その解析と応用  
～新規ヒトフュージョンパートナー細胞 SPYMEG を用いて～

座長：小野 健一郎（株式会社医学生物学研究所 研究開発本部）

共催：株式会社医学生物学研究所

1. 新規ヒトフュージョンパートナー SPYMEG  
演者：久原 基樹（株式会社医学生物学研究所 技術生産本部）
2. SPYMEG を用いた完全ヒト型抗ウイルス中和抗体の作製～評価例  
演者：安木 真世（大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科）

### 教育セミナー 2

2日目 11月14日(水) 11:50～12:50 B会場

香川県小豆郡における帯状疱疹疫学研究：SHEZ Study

座長：森 康子（神戸大学大学院 医学研究科）

演者：磯 博康（大阪大学大学院 医学系研究科）

共催：一般財団法人阪大微生物病研究会

### 教育セミナー 3

2日目 11月14日(水) 11:50～12:50 E会場

成人 T 細胞白血病患者における免疫応答－免疫療法への応用の可能性－

座長：藤澤 順一（関西医科大学 微生物）

演者：西川 博嘉（大阪大学免疫フロンティア研究センター 実験免疫学）

共催：トミーデジタルバイオロジー株式会社

### 教育セミナー 4

3日目 11月15日(木) 11:50～12:50 B会場

ろ過性病原体をろ過膜で除去する！～ウイルス除去膜の開発物語～

座長：萩原 克郎（酪農学園大学 獣医学群）

共催：一般社団法人 日本血液製剤機構

1. 開発コンセプトと開発裏話  
演者：佐藤 哲男（旭化成メディカル株式会社）
2. 可視化が明らかにするウイルス除去メカニズム  
演者：久保 純（一般社団法人 日本血液製剤機構）

### 教育セミナー 5

3日目 11月15日(木) 11:50～12:50 E会場

ポリオと予防接種 ～不活化ポリオワクチンの導入にあたって～

座長：堤 裕幸（札幌医科大学 医学部 小児科学）

演者：中野 貴司（川崎医科大学 小児科学）

共催：サノフィパスツール株式会社

1日目 11月13日(火)

## A会場

## 一般口演

9:15~10:30

## オルソミクソ(1)

座長：板村 繁之(国立感染症研究所ウイルス第三部)  
鈴木 康夫(中部大学生命健康科学部)

## 01-A-01 インフルエンザウイルスのモルモット伝播感染モデル系におけるラニナミビルオクタン酸エステルの抗ウイルス効果

角田 正代、久保 淑、田中 樹子、飛梅 聡子、山下 誠  
第一三共 生物医学研究所

## 01-A-02 Dextran sulfatateによるインフルエンザウイルス増殖の阻害とNA活性抑制との関連性

山田 博司<sup>1)</sup>、森 康子<sup>1,2)</sup>、山西 弘一<sup>3)</sup>、岡本 成史<sup>1)</sup>  
1) 医薬基盤研究所 創薬基盤研究部 感染制御プロジェクト、2) 神戸大学大学院 医学研究科 臨床ウイルス学、3) 医薬基盤研究所

## 01-A-03 鼻粘液の抗インフルエンザウイルス活性

長谷川 央<sup>1)</sup>、西川 智子<sup>2,3)</sup>、山崎 元美<sup>2)</sup>、豊澤 恵子<sup>2)</sup>、山本 樹生<sup>2)</sup>、池田 稔<sup>1)</sup>、清水 一史<sup>2)</sup>  
1) 日本大学 医学部 耳鼻咽喉頭頸部外科学分野 SRBD プロジェクト、2) 日本大学 医学部 産婦人科学分野 SRBD プロジェクト、3) 鶴見大学 歯学部 口腔顎顔面外科学

## 01-A-04 新世代抗体医薬としての特殊環状ペプチドによるインフルエンザウイルス増殖阻害効果

齊藤 誠<sup>1)</sup>、飛田 良美<sup>1)</sup>、棟方 翼<sup>1)</sup>、伊東 利紗<sup>2)</sup>、菅 裕明<sup>2)</sup>、佐々木 亨<sup>3)</sup>、窪田 規一<sup>3)</sup>、安井 文彦<sup>1)</sup>、小澤 真<sup>4)</sup>、小原 恭子<sup>4)</sup>、小原 道法<sup>1)</sup>  
1) 東京都医学総合研究所 感染制御プロジェクト、2) 東京大学大学院 理学系研究科 化学専攻 生物有機化学教室、3) ペプチドリーム株式会社、4) 鹿児島大学 共同獣医学部 動物衛生学分野

## 01-A-05 Galectin-9は細胞およびマウスにおけるインフルエンザAウイルスの感染を抑制する

服部 ともえ<sup>1,2)</sup>、丸山 隼輝<sup>1)</sup>、藤岡 容一朗<sup>4)</sup>、中山 洋佑<sup>2)</sup>、大場 雄介<sup>4)</sup>、仁木 敏郎<sup>3)</sup>、有川 智博<sup>3)</sup>、宮崎 忠昭<sup>2)</sup>、平島 光臣<sup>3)</sup>、喜田 宏<sup>1,2)</sup>  
1) 北海道大学大学院 獣医学研究科 微生物学教室、2) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター、3) 香川大学大学院 医学研究科 免疫病理学講座、4) 北海道大学大学院 医学研究科 病態医学分野

## 一般口演

10:30~11:30

## オルソミクソ(2)

座長：影山 努(国立感染症研究所ウイルス第三部)  
西村 秀一(国立病院機構仙台医療センター)

## 01-A-06 新しい薬剤耐性変異を持つB型インフルエンザウイルスの性状

藤崎 誠一郎<sup>1)</sup>、今井 正樹<sup>1)</sup>、高下 恵美<sup>1)</sup>、谷脇 妙<sup>2)</sup>、徐 紅<sup>1)</sup>、岸田 典子<sup>1)</sup>、横山 勝<sup>3)</sup>、佐藤 裕徳<sup>3)</sup>、江島 美穂<sup>1)</sup>、金 南希<sup>1)</sup>、佐藤 彩<sup>1)</sup>、土井 輝子<sup>1)</sup>、伊東 玲子<sup>1)</sup>、菅原 裕美<sup>1)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>、小田切 孝人<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、2) 高知県衛生研究所 保健科学課、3) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター

## 01-A-07 2010/11シーズン小児臨床検体中の薬剤耐性インフルエンザウイルスの探索

坂井(田川) 優子<sup>1)</sup>、木曾 真紀<sup>1)</sup>、番場 正博<sup>2)</sup>、三田村 敬子<sup>3)</sup>、山口 禎夫<sup>4)</sup>、菅谷 憲夫<sup>5)</sup>、河岡 義裕<sup>1)</sup>  
1) 東京大学 医科学研究科 ウイルス感染分野、2) 横須賀共済病院 小児科、3) 永寿総合病院 小児科、4) 国立病院機構栃木病院 臨床研究部、5) けいゆう病院 小児科

**01-A-08** 2009-2012年の3シーズンにおいて本邦で検出されたノイラミニダーゼ阻害剤耐性ウイルスの調査

近藤 大貴<sup>1)</sup>、齋藤 玲子<sup>1)</sup>、菖蒲川 由郷<sup>1)</sup>、齋藤 孔良<sup>1)</sup>、Dapat Clyde<sup>1)</sup>、Dapat Isolde<sup>1)</sup>、佐藤 勇<sup>2)</sup>、川島 崇<sup>3)</sup>、小林 信之<sup>4)</sup>、鈴木 宏<sup>5)</sup>

1) 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 国際保健学分野、2) よいこの小児科さとう、3) 川島内科クリニック、4) 国立国際医療研究センター病院、5) 新潟青陵大学 看護福祉心理学部 看護学科

**01-A-09** 3シーズンにわたる日本国内の抗インフルエンザ薬耐性株サーベイランス

高下 恵美<sup>1)</sup>、江島 美穂<sup>1)</sup>、藤崎 誠一郎<sup>1)</sup>、岸田 典子<sup>1)</sup>、徐 紅<sup>1)</sup>、今井 正樹<sup>1)</sup>、金 南希<sup>1)</sup>、佐藤 彩<sup>1)</sup>、菅原 裕美<sup>1)</sup>、伊東 玲子<sup>1)</sup>、土井 輝子<sup>1)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>、小田切 孝人<sup>1)</sup>、全国地方衛生研究所<sup>2)</sup>

1) 国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター 第一室、2) 全国地方衛生研究所

**杉浦奨励賞受賞講演**

13:40~14:20

座長：柳 雄介(九州大学大学院医学研究院)

**SA-1** 抗エンテロウイルス化合物群の探索とそのウイルス感染阻害機構の解析

有田 峰太郎

国立感染症研究所 ウイルス第二部第2室

**SA-2** ロタウイルス遺伝子操作系の開発とそれを用いた外殻スパイク蛋白質VP4の解析

河本 聡志

藤田保健衛生大学 医学部 ウイルス寄生虫学講座

**特別講演 1**

14:30~15:30

座長：塩田 達雄(大阪大学微生物病研究所)

**PL-1** International collaboration for the fight against pandemics : example of vaccines against HIV/AIDS

Patrice Debre

Département d'Immunologie INSERM UMR-S 945 Hôpital Pitié-Salpêtrière 83 Bd de l'Hôpital 75013 PARIS

**シンポジウム 1**

15:45~18:00

**人獣共通感染症**

座長：神谷 亘(大阪大学微生物病研究所)

伊藤 直人(岐阜大学応用生物科学部)

**S1-1** ダニ媒介性フラビウイルスの病態発現機序

好井 健太郎

北海道大学大学院 獣医学研究科 公衆衛生学教室

**S1-2** ハンタウイルスの持続感染成立機構について

吉松 組子

北海道大学大学院 医学研究科 微生物学講座 病原微生物学分野

**S1-3** 狂犬病ウイルスの病原性発現機序に関する研究

伊藤 直人

岐阜大学 応用生物科学部 人獣共通感染症学研究室



S1-4 エボラおよびマールブルグウイルス

高田 礼人  
北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

S1-5 E型肝炎ウイルスについての最近の知見

岡本 宏明  
自治医科大学 感染・免疫学講座 ウィルス学部門

B会場

一般口演

9:15~10:30

HSV、VZV(1)

座長：錫谷 達大(福島県立医科大学医学部)  
上田 啓次(大阪大学医学系研究科)

01-B-01 単純ヘルペスウイルス1型プロテインキナーゼUs3による神経病原性発現の分子機構

加藤 哲久、廣畑 吉崇、川口 寧  
東京大学 医科学研究所 感染・免疫部門 ウィルス病態制御分野

01-B-02 単純ヘルペスウイルス1型プロテインキナーゼUs3による宿主免疫回避機構と生体レベルにおける意義

今井 孝彦<sup>1)</sup>、小柳 直人<sup>1)</sup>、末永 忠広<sup>2)</sup>、荒瀬 尚<sup>2)</sup>、加藤 哲久<sup>1)</sup>、川口 寧<sup>1)</sup>  
1) 東京大学 医科学研究所 感染・免疫部門 ウィルス病態制御分野、2) 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター

01-B-03 HSV-1の増殖におけるp53の役割

丸鶴 雄平、廣畑 吉崇、加藤 哲久、川口 寧  
東京大学 医科学研究所 感染・免疫部門 ウィルス病態制御分野

01-B-04 単純ヘルペスウイルス1型プロテインキナーゼUL13の病原性発現への関与

小柳 直人、今井 孝彦、加藤 哲久、川口 寧  
東京大学 医科学研究所 感染・免疫部門 ウィルス病態制御分野

01-B-05 HSV-1 Nuclease UL12のリン酸化制御

藤井 ひかる、麥谷 道生、加藤 哲久、川口 寧  
東京大学 医科学研究所 感染・免疫部門 ウィルス病態制御分野

一般口演

10:30~11:30

HSV、VZV(2)

座長：川口 寧(東京大学医科学研究所)  
森 康子(神戸大学医学研究科)

01-B-06 水痘帯状疱疹ウイルス(VZV)の感染におけるシアル酸の役割

末永 忠広<sup>1)</sup>、松本 麻紀<sup>2)</sup>、有澤 史倫<sup>1)</sup>、森 康子<sup>3,4)</sup>、荒瀬 尚<sup>1,2,5)</sup>  
1) 大阪大学 微生物病研究所 免疫化学分野、2) 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 免疫化学、  
3) 神戸大学大学院 医学研究科 臨床ウイルス学分野、4) 医薬基盤研究所 感染制御プロジェクト、5) CREST

01-B-07 水痘帯状疱疹ウイルスにおける新規遺伝子産物の発見とその機能解析

定岡 知彦<sup>1)</sup>、山西 弘一<sup>3)</sup>、森 康子<sup>1,2)</sup>  
1) 神戸大学大学院 医学研究科 感染症センター 臨床ウイルス学、2) 医薬基盤研究所 感染制御プロジェクト、3) 医薬基盤研究所

**01-B-08 水痘带状疱疹ウイルス特異的細胞性免疫を誘導する抗原の探索**金井 亨輔<sup>1)</sup>、湯 華民<sup>2)</sup>、森 康子<sup>2)</sup>、井上 直樹<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス一部、2) 神戸大学 臨床ウイルス学分野

**01-B-09 近交系マウス扁平上皮癌に対する腫瘍融解ウイルスの抗腫瘍効果と腫瘍免疫誘導の検討**飯井 孝年<sup>1)</sup>、高橋 元<sup>2)</sup>、奥長 秀介<sup>1)</sup>、由良 義明<sup>1)</sup>

1) 大阪大学 歯学研究科 口腔外科第二教室、2) 松阪市民病院 歯科口腔外科

## 一般口演

14:30~15:45

## オルソミクソ(3)

座長：鈴木 隆(静岡県立大学薬学部)

中屋 隆明(京都府立医科大学医学研究科)

**01-B-10 高病原性トリインフルエンザウイルスH5N1亜型における新規侵入経路の発見**

櫻井 陽

公益財団法人 東京都医学総合研究所

**01-B-11 高病原性鳥インフルエンザウイルスH5N1はヒト呼吸器上皮細胞に対して広いトロピズムを示す**大道寺 智<sup>1)</sup>、Madiha S. Ibrahim<sup>2)</sup>、渡邊 洋平<sup>2)</sup>、安木 真世<sup>3)</sup>、丸山 央峰<sup>4)</sup>、益田 泰輔<sup>4)</sup>、新井 史人<sup>4)</sup>、大場 誠介<sup>5)</sup>、本田 文江<sup>5)</sup>、生田 和良<sup>2)</sup>、中屋 隆明<sup>1)</sup>

1) 京都府立医科大学 感染症学、2) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、3) 大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科、4) 名古屋大学大学院 工学研究科 マイクロ・ナノシステム工学、5) 法政大学 分子ウイルス学

**01-B-12 NAタンパク質が赤血球凝集能を獲得した機能的新型インフルエンザウイルスの出現**清水 一史<sup>1)</sup>、西川 智子<sup>1,3)</sup>、長谷川 央<sup>2)</sup>、豊澤 恵子<sup>1)</sup>、山崎 元美<sup>1)</sup>、増谷 友江<sup>5)</sup>、川村 孝<sup>5)</sup>、花田 信弘<sup>1,4)</sup>、池田 稔<sup>2)</sup>、山本 樹生<sup>1)</sup>

1) 日本大学 医学部 産婦人科学分野 SRBDプロジェクト、2) 日本大学 医学部 耳鼻咽喉頭頸部外科学分野、3) 鶴見大学 歯学部 口腔顎顔面外科学講座、4) 鶴見大学 歯学部 探索歯学講座、5) 京都大学 保健管理センター

**01-B-13 鳥インフルエンザウイルスがブタに感染するとSA $\alpha$ 2,6Galレセプターを認識するウイルスが選択される**七戸 新太郎<sup>1)</sup>、岡松 正敏<sup>1)</sup>、迫田 義博<sup>1)</sup>、喜田 宏<sup>1,2)</sup>

1) 北海道大学大学院 獣医学研究科 微生物学教室、2) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

**01-B-14 高病原性鳥インフルエンザウイルスのヒト型レセプター結合性変異監視デバイス**渡邊 洋平<sup>1)</sup>、伊東 哲男<sup>2)</sup>、Madiha S. Ibrahim<sup>1,3)</sup>、Hany F. Ellakany<sup>4)</sup>、Nongluk Sriwilaijaroen<sup>5,6)</sup>、平松 宏明<sup>6)</sup>、林 司<sup>2)</sup>、高橋 忠伸<sup>7)</sup>、鈴木 隆<sup>7)</sup>、生田 和良<sup>1)</sup>、鈴木 康夫<sup>6)</sup>

1) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、2) 株式会社カインス、3) Faculty of Veterinary Medicine, Damanhour University, Egypt、4) Faculty of Veterinary Medicine, Alexandria University, Egypt、5) Faculty of Medicine, Thammasat University, Thailand、6) 中部大学 生命健康科学部、7) 静岡県立大学 薬学部

## シンポジウム2

15:45~18:00

## 熱帯感染症

座長：小西 英二(大阪大学微生物病研究所)  
黒須 剛(大阪大学微生物病研究所)

- S2-1 マーモセットを用いたチクングニアウイルス、デングウイルス感染病態解析  
高崎 智彦  
国立感染症研究所 ウイルス第一部
- S2-2 治療法開発のためのデングウイルス感染マウスモデル  
黒須 剛  
大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野
- S2-3 デングワクチンの開発と抗体依存性感染増強への対策  
小西 英二  
大阪大学 微生物病研究所 デングワクチン(阪大微生物病研究会)寄附研究部門
- S2-4 ベトナムにおけるコウモリ由来ウイルス感染症調査 –ベトナムでニパウイルスのアウトブレイクは起こるのだろうか–  
長谷部 太  
長崎大学 熱帯医学研究所 ウイルス学分野、長崎大学 国際連携研究戦略本部
- S2-5 東南アジアの臨床疫学フィールドから学ぶウイルス感染症学  
有吉 紅也  
長崎大学 熱帯医学研究所 臨床感染症学分野、長崎大学病院 国際医療センター (感染症内科)

## C会場

## 一般口演

9:15~10:30

## トガ、フラビ(1)

座長：苺和 宏明(北海道大学獣医学研究科)  
前田 秋彦(京都産業大学総合生命科学部)

- 01-C-01 ダニ媒介性フラビウイルスのインターフェロンアンタゴニスト作用の解析  
鶴田 征太郎、好井 健太郎、境 瑞紀、苺和 宏明  
北海道大学 獣医学部 獣医学科
- 01-C-02 ウエストナイルウイルス感染神経細胞におけるユビキチン化タンパク質の蓄積  
小林 進太郎<sup>1,2)</sup>、大場 靖子<sup>1)</sup>、山口 宏樹<sup>1)</sup>、木村 享史<sup>1)</sup>、澤 洋文<sup>1,2)</sup>  
1)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 分子病態・診断部門、2)北海道大学 グローバルCOE プログラム
- 01-C-03 極東型ダニ媒介性脳炎ウイルスの強毒化に関わるウイルス側因子の特定  
境 瑞紀、好井 健太郎、横澤 香菜、苺和 宏明  
北海道大学大学院 獣医学研究科
- 01-C-04 日本脳炎ウイルス感染においてTNF $\alpha$ は免疫応答を調節し重症化の抑制に働く  
早坂 大輔<sup>1)</sup>、青木 康太郎<sup>1)</sup>、北浦 一孝<sup>2)</sup>、白井 顕治<sup>2)</sup>、Dash Sima Simanti<sup>1)</sup>、永田 典代<sup>3)</sup>、高松 由基<sup>1)</sup>、鈴木 隆二<sup>2)</sup>、森田 公一<sup>1)</sup>  
1)長崎大学 熱帯医学研究所 ウイルス学分野 GCOE プログラム、2)独立行政法人国立病院機構 相模原病院 臨床研究センター、3)国立感染症研究所 感染病理部
- 01-C-05 日本脳炎ウイルスコアタンパク質によるStress Granule抑制機構の解析  
加藤 大志<sup>1)</sup>、岡本 徹<sup>1)</sup>、福原 崇介<sup>1)</sup>、寒原 裕登<sup>1)</sup>、森田 英嗣<sup>2)</sup>、森 嘉生<sup>3)</sup>、神谷 亘<sup>4)</sup>、松浦 善治<sup>1)</sup>  
1)大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス学分野、2)大阪大学 微生物病研究所 感染症国際研究センター、3)国立感染症研究所 ウイルス第三部、4)大阪大学 GCOE プログラム

## 一般口演

10:30~11:45

## トガ、フラビ(2)

座長：森田 公一(長崎大学熱帯医学研究所)  
竹上 勉(金沢医科大学総合医学研究所)

## 01-C-06 日本脳炎ウイルスNS4Aの分子疫学的解析

田島 茂<sup>1)</sup>、山口 幸恵<sup>1)</sup>、小滝 徹<sup>1)</sup>、新井 智<sup>2)</sup>、沢辺 京子<sup>3)</sup>、西條 政幸<sup>1)</sup>、倉根 一郎<sup>1)</sup>、高崎 智彦<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第一部、2) 国立感染症研究所 感染症情報センター、3) 国立感染症研究所 昆虫医学部

## 01-C-07 日本脳炎ウイルス感染へのC型レクチン3分子の異なる関与

下島 昌幸、竹之内 惇、下田 宙、木村 菜穂、前田 健  
山口大学 共同獣医学部 獣医学科

## 01-C-08 日本脳炎ウイルス石川株(遺伝子型1型)のIFN感受性を含めた生物活性の特性

竹上 勉<sup>1)</sup>、村上 学<sup>1)</sup>、田崎 隆史<sup>1)</sup>、石垣 靖人<sup>1)</sup>、奴久妻 聡一<sup>2)</sup>  
1) 金沢医科大学 総合医学研究所 生命科学研究領域、2) 神戸市環境保健研究所

## 01-C-09 抗体医薬開発を目的としたデングウイルス感染症に対する抗デングヒト型単クローン抗体の作製

佐々木 正大<sup>1,5)</sup>、Chayanee Setthapramote<sup>2,5)</sup>、Pannamthip Pitsksajjakul<sup>2,5)</sup>、Chonlatip Pipattanaboon<sup>2,5)</sup>、  
Pornsawan Leuangwutiwong<sup>2,5)</sup>、平井 到<sup>3)</sup>、小野 健一郎<sup>4)</sup>、浅井 あづさ<sup>1,5)</sup>、黒須 剛<sup>1,5)</sup>、  
Pongrama Ramasoota<sup>2,5)</sup>、生田 和良<sup>1,5)</sup>  
1) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、2) マヒドン大学 熱帯医学部、3) 大阪大学 グローバルコラボレーションセンター、  
4) 株式会社医学生物学研究所 研究開発本部 研究開発部、5) JST/JICA, SATREPS

## 01-C-10 抗デングウイルス抗体とエンベロープ蛋白質との相互作用解析

西村 光広<sup>1)</sup>、佐々木 正大<sup>1,6)</sup>、沖 大也<sup>1)</sup>、チャヤニー セタプラモータ<sup>3,6)</sup>、小野 健一郎<sup>4,6)</sup>、大久保 忠恭<sup>2)</sup>、  
小林 祐次<sup>5)</sup>、黒須 剛<sup>1,6)</sup>、ポングラマ ラマスータ<sup>3,6)</sup>、生田 和良<sup>1,6)</sup>  
1) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、2) 大阪大学大学院 薬学研究科、3) マヒドン大学 熱帯医学部、  
4) 株式会社医学生物学研究所 研究開発本部 研究開発部、5) 大阪大学大学院 工学研究科、6) JST/JICA, SATREPS

## 一般口演

14:30~15:30

## パピローマ

座長：酒井 博幸(京都大学ウイルス研究所)  
川名 敬(東京大学医学系研究科)

## 01-C-11 Trappc8はヒトパピローマウイルスの侵入に必要な宿主蛋白質である

石井 克幸<sup>1)</sup>、中原 知美<sup>2)</sup>、森 清一郎<sup>1)</sup>、竹内 隆正<sup>1)</sup>、柗元 巖<sup>1)</sup>、神田 忠仁<sup>3)</sup>  
1) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター、2) 国立がん研究センター研究所 ウイルス発がん研究分野、  
3) 理化学研究所 新興・再興感染症研究ネットワーク推進センター

## 01-C-12 ヒトパピローマウイルス16型(HPV16)のE1ヘリカーゼ依存的ゲノム複製に対する細胞応答

中原 知美、田中 克征、大野 真一、江川 長靖、温川 恭至、清野 透  
国立がん研究センター 研究所 ウイルス発がん研究分野

## 01-C-13 Hypermutation of human papillomavirus 16 viral DNA by APOBEC3 proteins

王 哲<sup>1)</sup>、喜多村 晃一<sup>1)</sup>、若江 亨祥<sup>1)</sup>、柗元 巖<sup>2)</sup>、小浦 美樹<sup>1)</sup>、村松 正道<sup>1)</sup>  
1) 金沢大学 医薬保健研究域 医学系 分子遺伝学、2) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター

01-C-14 A novel Delta-papillomavirus *Bos grunniens* papillomavirus type 1 (BgPV-1) caused fibropapilloma in yak

Dong Jianbao<sup>1,2,3)</sup>、Wei Zhu<sup>1,2)</sup>、内田 和幸<sup>4)</sup>、渡邊 謙一<sup>4)</sup>、後藤 義孝<sup>1,3)</sup>、芳賀 猛<sup>5)</sup>  
1) 宮崎大学農学部 獣医学科 獣医微生物学、2) 日本学術振興会 JSPS-DC2、3) 山口大学大学院 連合獣医学研究科、  
4) 東京大学大学院 獣医病理学研究室、5) 東京大学大学院 獣医学専攻 感染制御学研究室

## 一般口演

15:45~16:45

## HHV6・7・8(1)

座長：荒瀬 尚(大阪大学 微生物病研究所)  
石戸 聡(理化学研究所)

## 01-C-15 疲労・ストレスによるヒトヘルペスウイルス(HHV-)6、7再活性化機構の検討

小林 伸行<sup>1)</sup>、鈴木 豪<sup>2,3)</sup>、徳野 慎一<sup>4)</sup>、山本 泰輔<sup>5)</sup>、波多野 弁<sup>2)</sup>、清水 昭宏<sup>1)</sup>、嶋田 和也<sup>1)</sup>、立花 正一<sup>6)</sup>、  
近藤 一博<sup>1)</sup>1) 東京慈恵会医科大学 ウイルス学講座、2) 陸上自衛隊 部隊医学実験隊、  
3) 防衛医科大学校 精神科学講座、4) 防衛医科大学校 防衛医学講座、5) 防衛医科大学校 防衛医学研究センター 行動科学部門、  
6) 防衛医科大学校 防衛医学研究センター 異常環境部門

## 01-C-16 ヒトヘルペスウイルス6(HHV-6)の遺伝子治療用ベクターへの応用

清水 昭宏、小林 伸行、嶋田 和也、近藤 一博

東京慈恵会医科大学 医学部 ウイルス学講座

## 01-C-17 ヘルペスウイルス6型の膜融合はgB, gH, gL, gQによって引き起こされる

田中 悠喜<sup>1)</sup>、末永 忠広<sup>1,2)</sup>、松本 麻紀<sup>2)</sup>、森 康子<sup>3,4)</sup>、荒瀬 尚<sup>1,2,5)</sup>1) 大阪大学 微生物病研究所 免疫化学分野、2) 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 免疫化学、  
3) 神戸大学大学院 医学研究科 臨床ウイルス学分野、4) 医薬基盤研究所 感染制御プロジェクト、5) CREST

## 01-C-18 gO is dispensable gene for HHV-6A growth in T cell

湯 華民<sup>1)</sup>、前木 孝洋<sup>1)</sup>、山西 弘一<sup>2)</sup>、森 康子<sup>1,3)</sup>

1) 神戸大学大学院 医学研究科 臨床ウイルス学分野、2) (独)医薬基盤研究所、3) (独)医薬基盤研究所 感染制御プロジェクト

## 一般口演

16:45~17:45

## HHV6・7・8(2)

座長：山田 雅夫(岡山大学医歯薬学総合研究科)  
近藤 一博(東京慈恵会医科大学)

## 01-C-19 ヒトヘルペスウイルス6感染によって引き起こされる宿主変化

河端 暁子<sup>1)</sup>、太田 恵美<sup>1,2)</sup>、山西 弘一<sup>3)</sup>、森 康子<sup>1,2)</sup>

1) 神戸大学大学院 医学研究科 臨床ウイルス学分野、2) 医薬基盤研究所 感染制御プロジェクト、3) 医薬基盤研究所

## 01-C-20 KSHV免疫回避分子MIRによる免疫受容体の認識機構

梶川 瑞穂<sup>1)</sup>、青木 雅美<sup>1)</sup>、Li Pai-Chi<sup>1,2)</sup>、水戸 麻理<sup>1)</sup>、宮下 尚之<sup>3)</sup>、杉田 有治<sup>2,3)</sup>、石戸 聡<sup>1,4)</sup>1) 独立行政法人理化学研究所 RCAI 感染免疫応答研究チーム、2) 独立行政法人理化学研究所 ASI 杉田理論生物化学研究室、  
3) 独立行政法人理化学研究所 QBIC 分子機能シミュレーション研究チーム、4) 昭和薬科大学 統合感染免疫学研究室

## 01-C-21 KSHV由来のRTA/ORF50の機能制御に関するリシン残基の役割

野口 耕司、橋本 幸輝、片山 和浩、杉本 芳一

慶應義塾大学 薬学部 化学療法学講座

## 01-C-22 核マトリックス因子NuMAとLANAのキメラタンパクによるori-P複製活性とLANAの核マトリックス分画局在に重要なドメインの検討

大崎 恵理子、中野 和司、Zheng Xin、Yang Zunlin、Jin Cangao、上田 啓次

大阪大学大学院 医学系研究科 感染免疫医学 ウイルス学

## D会場

## 一般口演

9:15~10:30

## ランチ(1)

座長：森川 裕子(北里大学北里生命科学研究所)

櫻木 淳一(大阪大学微生物病研究所)

## 01-D-01 HIVゲノムRNA二量体化シグナルの新規構造モデル

櫻木 淳一<sup>1)</sup>、大出 裕高<sup>2)</sup>、櫻木 小百合<sup>1)</sup>、塩田 達雄<sup>1)</sup>、佐藤 裕徳<sup>2)</sup>

1)大阪大学 微生物病研究所 ウイルス感染制御分野、2)国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター

## 01-D-02 in vitro再構築系を用いたHIV-2 CAアセンブリーの安定性に関する解析

宮崎 恭行、三宅 在子、野間口 雅子、内山 恒夫、足立 昭夫

徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 微生物病原学分野

## 01-D-03 生細胞分子イメージングによるHIV-1 Gag/GagPol蛋白の細胞内動態解析

原口 日和、森川 裕子

北里大学 北里生命科学研究所

## 01-D-04 ヒト内在性レトロウイルス(HERV)Gagタンパク質の共重合によるHIV-1産生抑制

門出 和精<sup>1)</sup>、小野 陽<sup>2)</sup>、前田 洋助<sup>1)</sup>、中野 雄介<sup>1)</sup>、佐藤 英明<sup>1)</sup>、寺沢 広美<sup>1)</sup>、原田 信志<sup>1)</sup>

1)熊本大学大学院 生命科学部 感染防御学、2)ミシガン大学 医学部 微生物 免疫学分野

## 01-D-05 分子動力学計算によるHIV-1 gp120の構造解析

横山 勝、佐藤 裕徳

国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター

## 一般口演

10:30~11:45

## ランチ(2)

座長：中山 英美(大阪大学微生物病研究所)

三隅 将吾(熊本大学生命科学研究部)

01-D-06 HIV-1脱殻素過程を制御するカプシド蛋白質Ser<sub>16</sub>リン酸化機構に関する解析堂地 起生<sup>1)</sup>、高宗 暢暁<sup>2)</sup>、杉本 幸彦<sup>2)</sup>、庄司 省三<sup>3)</sup>、三隅 将吾<sup>2)</sup>

1)熊本大学大学院 薬学教育部 薬学生化学、2)熊本大学大学院 生命科学部 薬学生化学分野、3)熊本保健科学大学

## 01-D-07 Atypical protein kinase CによるHIV-1 Gag Ser487のリン酸化はウイルス感染性を増強する

工藤 あゆみ<sup>1)</sup>、高濱 正吉<sup>2)</sup>、澤崎 達也<sup>2)</sup>、梁 明秀<sup>1)</sup>

1)横浜市立大学 医学部 微生物学、2)愛媛大学 無細胞生命科学工学研究センター

## 01-D-08 キャプシドAsn 121→Lys変異によるHIV-1複製のサイクロフィリンA依存性の変化

竹村 太地郎、川又 美弥子、卜部 美帆、才田 晴美、村上 努

国立感染症研究所 エイズ研究センター 第3室

## 01-D-09 ラットT細胞へのHIV-1の効率的感染

志田 壽利<sup>1)</sup>、薬師寺 文華<sup>2)</sup>、宮崎 かや<sup>1)</sup>、佐藤 洋隆<sup>1)</sup>、張 險峰<sup>1)</sup>、大橋 貴<sup>1)</sup>、林 良雄<sup>2)</sup>

1)北海道大学 遺伝子病制御研究所、2)東京薬科大学

## 01-D-10 機能遺伝子発現抑制T細胞ライブラリーから同定した新規HIV-1感染制御因子群の解析

武内 寛明、山岡 昇司

東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 ウイルス制御学分野

## 一般口演

15:45~16:45

## オルソミクソ(4)

座長：百瀬 文隆(北里大学感染制御科学府)  
五藤 秀男(和歌山県立医科大学)

## 01-D-11 新規宿主因子YB-1によるインフルエンザウイルスゲノムの細胞内輸送制御

川口 敦史<sup>1)</sup>、松本 健<sup>2)</sup>、永田 恭介<sup>1)</sup>

1)筑波大学 医学医療系/大学院 人間総合科学研究科、2)理化学研究所

## 01-D-12 エキソンジャンクションコンプレックス形成因子MAGOHはインフルエンザウイルスvRNPの核外輸送に關与する

富田 有里子<sup>1)</sup>、藤井 健<sup>1)</sup>、藤井 裕子<sup>2)</sup>、Tiago Lopes<sup>1)</sup>、秦 裕子<sup>3)</sup>、尾山 大明<sup>3)</sup>、渡辺 真治<sup>1)</sup>、  
渡辺 登喜子<sup>1)</sup>、河岡 義裕<sup>1,2,4,5)</sup>

1)科学技術振興機構 ERATO 河岡プロジェクト、2)東京大学医科学研究所 ウイルス感染分野、

3)東京大学医科学研究所 疾患プロテオミクスラボラトリー、4)東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター、

5)ウイスコンシン大学

## 01-D-13 インフルエンザウイルスvRNP陽性リサイクリングエンドソームの極性輸送に關与する宿主因子の機能解析

百瀬 文隆、森川 裕子

北里大学大学院 感染制御科学府

01-D-14 インポーチン $\alpha 3$  / Qip1とヌクレオプロテイン (NP)の結合を介した核移行非依存的なA型インフルエンザウイルス増殖佐々木 裕<sup>1)</sup>、萩原 恭二<sup>1)</sup>、山田 和範<sup>1,2)</sup>、村上 知行<sup>1,2)</sup>、間 陽子<sup>1,2)</sup>

1)理化学研究所 分子ウイルス学特別研究ユニット、2)東京大学大学院 新領域創成科学研究科 感染制御分子機能解析分野

## 一般口演

16:45~17:45

## オルソミクソ(5)

座長：小田切 孝人(国立感染症研究所インフルエンザ研究センター)  
野田 岳志(東京大学医科学研究所)

## 01-D-15 インフルエンザウイルスRNPのウイルス粒子内への取込み方向性の解析

杉田 征彦<sup>1)</sup>、相良 洋<sup>2)</sup>、野田 岳志<sup>1)</sup>、河岡 義裕<sup>1,3)</sup>

1)東京大学 医科学研究所 ウイルス感染分野、2)東京大学 医科学研究所 疾患プロテオミクスラボラトリー、

3)戦略的創造研究推進事業総括実施型研究 (ERATO)

## 01-D-16 B型インフルエンザウイルスのヘマグルチニン (HA)の細胞質領域はHAのウイルス粒子への取り込みにとって重要である

今井 正樹<sup>1)</sup>、渡辺 真治<sup>2)</sup>、河岡 義裕<sup>2,3)</sup>

1)国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、2)ERATO- 科学技術振興機構、3)東京大学 医科学研究所

## 01-D-17 インフルエンザウイルス膜タンパク質の協調的極性輸送機構の解析

大倉 喬<sup>1,2)</sup>、齋藤 桃子<sup>1)</sup>、百瀬 文隆<sup>1)</sup>、森川 裕子<sup>1)</sup>

1)北里大学大学院 感染制御科学府、2)筑波大学 医学医療系

## 01-D-18 生体内ライブイメージングを可能とする組換えA型インフルエンザウイルスの作出

小澤 真<sup>1,2)</sup>、福山 聡<sup>3)</sup>、桂 廣亮<sup>4)</sup>、石川 いずみ<sup>3)</sup>、河岡 義裕<sup>2,3,4)</sup>

1)鹿児島大学 共同獣医学部 越境性動物疾病制御研究センター、2)東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター、

3)JST ERATO 河岡感染宿主応答ネットワークプロジェクト、4)東京大学 医科学研究所 ウイルス感染分野

## E会場

## 一般口演

9:15~10:30

## 肝炎ウイルス(1)

座長：加藤 宜之(岡山大学医歯薬学総合研究科)

岡本 徹(大阪大学微生物病研究所)

## 01-E-01 C型肝炎ウイルスによるGLUT2遺伝子発現抑制の分子機構

松井 千絵子、勝二 郁夫、DENG Lin、堀田 博

神戸大学大学院 医学研究科 微生物学分野

## 01-E-02 C型肝炎ウイルス(HCV)の感染性粒子形成において重要な宿主因子、トロンボキサンA2(TXA2)合成酵素の同定と機能解析

阿部 雄一<sup>1,2)</sup>、アリハッサン フセイン<sup>3)</sup>、今村 道雄<sup>4)</sup>、脇田 隆字<sup>3)</sup>、下遠野 邦忠<sup>5)</sup>、茶山 一彰<sup>4)</sup>、土方 誠<sup>1,2)</sup>

1) 京都大学 ウイルス研究所、2) 京都大学 生命科学研究所、3) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、

4) 広島大学 医歯薬保健学研究所、5) 千葉工業大学 附属総合研究所

## 01-E-03 C型肝炎ウイルスNS5A蛋白質の新規結合因子ヒストンメチル基転移酵素SMYD3の同定と機能解析

陳 明<sup>1)</sup>、甘 翔<sup>1,2)</sup>、DENG Lin<sup>1)</sup>、勝二 郁夫<sup>1)</sup>、堀田 博<sup>1)</sup>

1) 神戸大学大学院 医学研究科 微生物学、2) 中国湖北大学 生命科学院

## 01-E-04 C型肝炎ウイルス感染による転写因子FoxO1脱リン酸化の分子機序の解析

DENG Lin、金子 昌裕、河本 真理、姜 大鵬、勝二 郁夫、堀田 博

神戸大学大学院 医学研究科 微生物学

## 01-E-05 新規宿主因子FKBP6によるHCV複製制御機構の解析

葛西 宏威<sup>1)</sup>、河上 國洋<sup>2)</sup>、平田 有佳理<sup>2)</sup>、山下 篤哉<sup>1)</sup>、池田 正徳<sup>4)</sup>、加藤 宜之<sup>4)</sup>、岡本 徹<sup>3)</sup>、松浦 善治<sup>3)</sup>、楠木 正己<sup>2)</sup>、森石 恆司<sup>1)</sup>

1) 山梨大学 医学部 微生物学、2) 山梨大学 生命環境学部、3) 大阪大学 微生物研究所 分子ウイルス、

4) 岡山大学 医学部 腫瘍ウイルス

## 一般口演

10:30~11:45

## 肝炎ウイルス(2)

座長：堀田 博(神戸大学医学研究科)

鈴木 亮介(国立感染症研究所ウイルス二部)

## 01-E-06 リバビリンに対する感受性を決定する宿主因子の同定とその因子の病態進行への関与について

森 京子<sup>1)</sup>、本多 政夫<sup>2)</sup>、池田 正徳<sup>1)</sup>、團迫 浩方<sup>1)</sup>、金子 周一<sup>2)</sup>、加藤 宜之<sup>1)</sup>

1) 岡山大学 医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学、2) 金沢大学 医学部 消化器内科

## 01-E-07 C型肝炎ウイルスによるスフィンゴ脂質の合成促進とウイルス複製環境の構築

平田 雄一<sup>1)</sup>、池田 和貴<sup>1)</sup>、須藤 正幸<sup>3)</sup>、徳永 優子<sup>1)</sup>、田口 良<sup>4)</sup>、小原 道法<sup>1)</sup>

1) 東京都医学総合研究所 感染制御プロジェクト、2) 慶應義塾大学 先端生命科学研究所、3) 中外製薬 鎌倉研究所、

4) 中部大学 生命健康科学部生命医科学科

## 01-E-08 C型肝炎ウイルスの細胞親和性はmiR-122の発現と脂質代謝系によって規定される

福原 崇介<sup>1)</sup>、塩川 舞<sup>1)</sup>、小野 慎子<sup>1)</sup>、山本 聡美<sup>1)</sup>、寒原 裕登<sup>1)</sup>、加藤 大志<sup>1)</sup>、岡本 徹<sup>1)</sup>、奥崎 大介<sup>2)</sup>、松浦 善治<sup>1)</sup>

1) 大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス分野、2) 大阪大学 微生物病研究所 感染症 DNA チップセンター

## 01-E-09 HuH-7由来オーバル様細胞におけるHCV感受性の解析

伊藤 昌彦<sup>1)</sup>、鈴木 亮介<sup>2)</sup>、福原 崇介<sup>3)</sup>、松浦 善治<sup>3)</sup>、脇田 隆字<sup>2)</sup>、鈴木 哲朗<sup>1)</sup>

1) 浜松医科大学 医学部 感染症学講座、2) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、3) 大阪大学微生物病研究所

- 01-E-10** 長期にわたるC型肝炎ウイルスのゲノム複製によって発現レベルに変動を来した宿主遺伝子の同定  
瀬島 寛恵、森 京子、有海 康雄、池田 正徳、加藤 宣之  
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学

## 一般口演

14:30~15:45

## 肝炎ウイルス(3)

座長：鈴木 哲朗(浜松医科大学医学部)  
福原 崇介(大阪大学微生物病研究所)

- 01-E-11** 新規IL28B SNP(rs8113007)のHCVに対するIFN応答性の検討  
池田 正徳<sup>1)</sup>、是永 匡紹<sup>2)</sup>、武田 緑<sup>1)</sup>、有海 康雄<sup>1)</sup>、日野 啓輔<sup>2)</sup>、加藤 宣之<sup>1)</sup>  
1)岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学、2)川崎医科大学 肝胆膵内科
- 01-E-12** C型肝炎ウイルスのBリンパ腫発症要因解明に向けた研究  
小原 恭子<sup>1)</sup>、笠間 由里<sup>2)</sup>、小原 道法<sup>3)</sup>  
1)鹿児島大学 共同獣医学部、2)久留米大学、3)東京都医学研究所
- 01-E-13** B細胞におけるHCV感染・複製  
中井 正人<sup>1,2)</sup>、Hussein H Aly<sup>3)</sup>、松本 美佐子<sup>1)</sup>、坂本 直哉<sup>2)</sup>、瀬谷 司<sup>1)</sup>  
1)北海道大学大学院 医学研究科 免疫学分野、2)北海道大学大学院 医学研究科 消化器内科学分野、  
3)国立感染症研究所 ウイルス第二部
- 01-E-14** HCV感染肝細胞は肝星状細胞と共培養する事によりMIP-1 beta産生をあげる  
西辻 裕紀<sup>1)</sup>、舟見 健児<sup>2)</sup>、清水 裕子<sup>1)</sup>、宇治野 真之<sup>1)</sup>、山本 祐美<sup>1)</sup>、鈴木 律子<sup>1)</sup>、川上 志保<sup>1)</sup>、  
瀬谷 司<sup>2)</sup>、高久 洋<sup>3)</sup>、下遠野 邦忠<sup>1)</sup>  
1)千葉工業大学 附属総合研究所、2)北海道大学大学院 医学研究科 免疫学分野、3)千葉工業大学 工学研究科 生命環境科学科専攻
- 01-E-15** P-body因子とHCVのクロストーク  
有海 康雄<sup>1)</sup>、黒木 美沙緒<sup>1,2,3)</sup>、井上 万里子<sup>1)</sup>、土方 誠<sup>4)</sup>、池田 正徳<sup>3)</sup>、脇田 隆字<sup>5)</sup>、下遠野 邦忠<sup>6)</sup>、  
加藤 宣之<sup>3)</sup>  
1)熊本大学 エイズ学研究センター 有海プロジェクト研究室、2)日本学術振興会 特別研究員、  
3)岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学、4)京都大学 ウイルス研究所、5)国立感染症研究所 ウイルス第二部、  
6)千葉工業大学 附属総合研究所

## 教育シンポジウム1

15:45~18:00

## ウイルス検査体制

座長：倉根 一郎(国立感染症研究所)  
森川 茂(国立感染症研究所獣医科学部)

- ES1-1** 海外におけるBSL-4施設の現状  
倉根 一郎  
国立感染症研究所
- ES1-2** 日本国内におけるウイルス性出血熱や新興ウイルス感染症の検査体制とBSL4施設の現状  
森川 茂  
国立感染症研究所 獣医科学部
- ES1-3** 本邦における感染症検査機関:大学附属病院/民間検査機関/地方衛生研究所におけるBSL整備状況、検査対象ウイルス及び検査内容の現状について  
田中 智之  
堺市衛生研究所

## ESI-4 日本国内におけるウイルス性家畜伝染性疾患の検査体制

内田 裕子

(独)農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所 ウイルス・疫学研究領域

## ESI-5 BSEに関連する検査の課題

吉川 泰弘

千葉科学大学

## F 会場

## 一般口演

9:15~10:15

## ラブド、フィロ(1)

座長：林 昌宏(国立感染症研究所ウイルス第一部)

西園 晃(大分大学医学部)

## 01-F-01 狂犬病ウイルスP遺伝子は末梢感染性に関連する

山岡 理子<sup>1)</sup>、伊藤 直人<sup>1,2)</sup>、中川 敬介<sup>1)</sup>、岡寺 康太<sup>1)</sup>、杉山 誠<sup>1,2)</sup>

1) 岐阜大学大学院 連合獣医学研究科、2) 岐阜大学 応用生物科学部 人獣共通感染症学研究室

## 01-F-02 NおよびG遺伝子に弱毒化変異を導入した狂犬病生ワクチン候補株の作出

中川 敬介<sup>1)</sup>、伊藤 直人<sup>1,2)</sup>、山岡 理子<sup>1)</sup>、岡寺 康太<sup>1)</sup>、杉山 誠<sup>1,2)</sup>

1) 岐阜大学大学院 連合獣医学研究科、2) 岐阜大学 応用生物科学部 人獣共通感染症学研究室

## 01-F-03 スリランカにおける狂犬病ウイルスの分子疫学的特徴とその地域分布

松本 昂<sup>1)</sup>、Ahmed Kamruddin<sup>2)</sup>、Karunanayake Dushantha<sup>3)</sup>、Wimalaratne Omala<sup>3)</sup>、  
Nanayakkara Susilakanthi<sup>3)</sup>、Perera Devika<sup>3)</sup>、小林 祐司<sup>4)</sup>、西園 晃<sup>1,2)</sup>

1) 大分大学 医学部 微生物学講座、2) 大分大学 全学研究推進機構、

3) Department of Rabies Diagnosis and Research, Medical Research Institute, Colombo, Sri Lanka、

4) 大分大学 工学部 福祉環境工学科 建築コース

## 01-F-04 感染細胞におけるエボラウイルスタンパク質およびRNA細胞内動態の時空間的解析

南保 明日香<sup>1)</sup>、渡辺 真治<sup>2)</sup>、Peter Halfmann<sup>3)</sup>、河岡 義裕<sup>2,3,4)</sup>

1) 北海道大学 薬学研究院 衛生化学研究室、2) 戦略的創造研究推進事業総括実施型研究 (ERATO)、

3) ウィスコンシン大学マディソン校、4) 東京大学 医科学研究所 ウイルス感染分野

## 一般口演

10:15~11:15

## ラブド、フィロ(2)

座長：高田 礼人(北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター)

伊藤 直人(岐阜大学応用生物科学部)

## 01-F-05 DNA Topoisomerase 1 はエボラウイルスゲノムの転写・複製に関与する

高橋 慧<sup>1)</sup>、Halfmann Peter<sup>2)</sup>、尾山 大明<sup>3)</sup>、秦 裕子<sup>3)</sup>、野田 岳志<sup>1)</sup>、河岡 義裕<sup>1,2,4)</sup>

1) 東京大学 医科学研究所 ウイルス感染分野、

2) ウィスコンシン大学マディソン校 獣医学部、3) 東京大学 医科学研究所 疾患プロテオミクスラボラトリー、

4) 独立行政法人 科学技術振興機構 河岡感染宿主応答ネットワークプロジェクト

## 01-F-06 フィロウイルス糖蛋白質による宿主細胞表面分子の立体的遮蔽現象の解析

野依 修<sup>1)</sup>、松野 啓太<sup>2)</sup>、梶原 将大<sup>1)</sup>、中山 絵里<sup>3)</sup>、五十嵐 学<sup>4)</sup>、磯田 典和<sup>5)</sup>、吉田 玲子<sup>1)</sup>、高田 礼人<sup>1)</sup>

1) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 国際疫学部門、2) Laboratory of virology, NIAID, NIH、

3) 国立感染症研究所 ウイルス第一部、4) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター バイオインフォマティクス部門、

5) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 危機分析・対応室

**01-F-07 アカゲザルモデルを用いたエボラ出血熱に対する中和モノクローナル抗体の防御効果**吉田 玲子<sup>1)</sup>、Marzi Andrea<sup>2)</sup>、宮本 洋子<sup>1)</sup>、石島 麻理<sup>1)</sup>、鈴木 定彦<sup>1)</sup>、五十嵐 学<sup>3)</sup>、中山 絵里<sup>4)</sup>、黒田 誠<sup>1)</sup>、Feldmann Heinz<sup>2)</sup>、高田 礼人<sup>1)</sup>

1)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 国際疫学部門、2)Laboratory of Virology, NIAID, NIH、3)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター バイオインフォマティクス部門、4)国立感染症研究所 ウイルス第一部

**01-F-08 抗体によるマールブルグウイルスの出芽阻害**梶原 将大<sup>1)</sup>、Marzi Andrea<sup>2)</sup>、中山 絵里<sup>3)</sup>、野田 岳志<sup>4)</sup>、黒田 誠<sup>1)</sup>、Manzoor Rashid<sup>1)</sup>、Feldmann Heinz<sup>2)</sup>、吉田 玲子<sup>1)</sup>、河岡 義裕<sup>4)</sup>、高田 礼人<sup>1)</sup>

1)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 国際疫学部門、2)Laboratory of Virology, NIAID, NIH、3)国立感染症研究所 ウイルス第一部、4)東京大学 医科学研究所 感染・免疫部門 ウイルス感染分野

**ポスター会場****ポスター発表**

18:00~19:00

**オルソミクソ(1)**

座長：大道寺 智(京都府立医科大学)

**P1-001 ベトナムの市場で販売されるアヒル卵中の抗鳥インフルエンザウイルス抗体調査**堀田 こずえ<sup>1,2)</sup>、高桑 弘樹<sup>3)</sup>、藪田 淑予<sup>3)</sup>、大槻 公一<sup>3)</sup>、伊藤 壽啓<sup>4)</sup>、山城 哲<sup>1,2)</sup>、村瀬 敏之<sup>4)</sup>

1)長崎大学 熱帯医学研究所、2)長崎大学 ベトナム熱帯病新興感染症研究拠点、3)京都産業大学 鳥インフルエンザセンター、4)鳥取大学 農学部附属 鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター

**P1-002 非病原性鳥インフルエンザウイルスA/duck/Hokkaido/Vac-1/2004 (H5N1) のニワトリに対する病原性獲得に与るウイルス因子の同定**山本 直樹<sup>1)</sup>、迫田 義博<sup>1)</sup>、曾田 公輔<sup>2)</sup>、岡松 正敏<sup>1)</sup>、喜田 宏<sup>1,3)</sup>

1)北海道大学大学院 獣医学研究科 微生物学教室、2)鳥取大学 農学部 鳥由来人獣共通感染症センター、3)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

**P1-003 H5N1亜型高病原性鳥インフルエンザウイルス感染におけるウズラの病態とサイトカイン応答**宇野 有紀子<sup>1)</sup>、笛吹 達史<sup>2,3)</sup>、曾田 公輔<sup>3)</sup>、伊藤 啓史<sup>2,3)</sup>、伊藤 壽啓<sup>2,3)</sup>、山口 剛士<sup>2,3)</sup>

1)山口大学 農学部 連合獣医学研究科、2)鳥取大学 農学部 獣医学科、3)鳥取大学 農学部 附属鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター

**P1-004 2011年に日本で野鳥から分離されたH5N1高病原性鳥インフルエンザウイルスのカラス、スズメおよびクマネズミに対する病原性**岡松 正敏<sup>1)</sup>、迫田 義博<sup>1)</sup>、本橋 友里恵<sup>1)</sup>、山本 直樹<sup>1)</sup>、栗林 沙弥<sup>1)</sup>、市川 貴也<sup>1)</sup>、谷川 力<sup>2)</sup>、喜田 宏<sup>1,3)</sup>

1)北海道大学大学院 獣医学研究科 微生物学教室、2)イカリ消毒株式会社 技術研究所、3)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

**P1-005 The role of duck as reservoir host of HPAI H5N1 virus in the backyard in Egypt**Youssef Ahmed I.<sup>1)</sup>、Arafa Abdel-Satar M.<sup>2)</sup>

1)Department of Animal Hygiene and Zoonoses, Division of Zoonoses, Faculty of Veterinary Medicine, Suez Canal University、2)National Laboratory for Veterinary Quality Control on Poultry Production, P.O. Box 246-Dokki, Giza, Egypt 12618

**P1-006 2009年北海道医療大学で流行した新型インフルエンザウイルスに認められたノイラミニダーゼの変異**

井上 恵美、大澤 宜明、岡崎 克則

北海道医療大学 薬学部 分子生命科学講座

**P1-007 2009-2012年に国内で分離された豚インフルエンザウイルスの遺伝子学的解析**松嶋 彩<sup>1,2)</sup>、内田 裕子<sup>1,2)</sup>、竹前 喜洋<sup>1,2)</sup>、西藤 岳彦<sup>1,2,3)</sup>

1)(独)農研機構 動物衛生研究所 ウイルス・疫学領域、2)Thailand-Japan Zoonotic Diseases Collaborating Center、3)岐阜大学大学院 連合獣医学研究科

- P1-008** 新型インフルエンザウイルスA/H1N1pdm感染免疫抑制マウスに対するペラミビルの治療効果  
北野 光崇、児玉 誠、小林 雅典、吉田 立、佐藤 彰彦  
塩野義製薬株式会社 創薬・疾患研究所
- P1-009** High-through put amplicon sequencing analysis of pandemic (H1N1) 2009 influenza virus in Japan between 2009 and 2010  
Ririn Ramadhany<sup>1)</sup>、安木 真世<sup>1)</sup>、中村 昇太<sup>2,3)</sup>、大道寺 智<sup>4)</sup>、渡邊 洋平<sup>1)</sup>、高橋 和郎<sup>5)</sup>、生田 和良<sup>1)</sup>、中屋 隆明<sup>4)</sup>  
1)大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、2)大阪大学 微生物病研究所 付属遺伝情報実験センター、3)大阪大学 微生物病研究所 感染症メタゲノム解析分野、4)京都府立医科大学 感染病態学、5)大阪府立公衆衛生研究所
- P1-010** Genetic Characterization of Human Influenza A (H3N2) Virus in Myanmar, 2007-2011  
Dapat Clyde、齋藤 玲子、齋藤 孔良、Dapat Isolde、近藤 大貴、鈴木 宏  
新潟大学大学院 医歯学総合研究科 地域疾病制御医学専攻 国際感染医学
- P1-011** 2011/12シーズンのインフルエンザ流行株と平成24年度のワクチン株  
岸田 典子<sup>1)</sup>、徐 紅<sup>1)</sup>、今井 正樹<sup>1)</sup>、藤崎 誠一郎<sup>1)</sup>、高下 恵美<sup>1)</sup>、菅原 裕美<sup>1)</sup>、伊東 玲子<sup>1)</sup>、土井 輝子<sup>1)</sup>、金 南希<sup>1)</sup>、佐藤 彩<sup>1)</sup>、江島 美穂<sup>1)</sup>、小口 晃央<sup>2)</sup>、山崎 秀司<sup>2)</sup>、藤田 信之<sup>2)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>、小田切 孝人<sup>1)</sup>、全国地方衛生研究所<sup>3)</sup>  
1)国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、2)独立行政法人製品評価技術基盤機構、3)全国地方衛生研究所
- P1-012** Genetic characterization of human influenza viruses in Japan, 2011-2012  
Dapat Isolde<sup>1)</sup>、齋藤 玲子<sup>1)</sup>、齋藤 孔良<sup>1)</sup>、Dapat Clyde<sup>1)</sup>、近藤 大貴<sup>1)</sup>、真崎 宏則<sup>2)</sup>、木村 真司<sup>3)</sup>、小林 信之<sup>4)</sup>、鈴木 宏<sup>5)</sup>  
1)新潟大学大学院 医歯学総合研究科 国際保健学分野、2)まさき内科呼吸器クリニック、3)松前町立松前病院、4)国立国際医療研究センター病院、5)新潟青陵大学 看護福祉心理学部
- P1-013** 免疫抑制患者において薬剤投与後長期間排泄されたA (H3N2)インフルエンザウイルスの解析  
川上 千春<sup>1)</sup>、高下 恵美<sup>2)</sup>、七種 美和子<sup>1)</sup>、宇宿 秀三<sup>1)</sup>、小田切 孝人<sup>2)</sup>、田代 真人<sup>2)</sup>  
1)横浜市衛生研究所 検査研究課、2)国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター
- P1-014** 愛知県で分離したインフルエンザウイルスAH3の分子疫学的解析  
安井 善宏、藤原 範子、小林 慎一、山下 照夫、皆川 洋子  
愛知県衛生研究所 生物学部 ウイルス研究室
- P1-015** H3N2インフルエンザウイルスHAへの糖鎖付加と周辺アミノ酸残基にかかる選択圧の経時的変化  
五十嵐 学<sup>1)</sup>、中尾 亮<sup>1)</sup>、喜田 宏<sup>1,2)</sup>、高田 礼人<sup>1)</sup>、伊藤 公人<sup>1)</sup>  
1)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター、2)北海道大学大学院 獣医学研究科 微生物学教室

## ポスター発表

18:00~19:00

## オルソミクソ(2)

座長：堀本 泰介(東京大学農学生命科学研究科)

- P1-016** ガスプラズマによるウイルス不活化効果の解析  
作道 章一  
琉球大学 医学部 保健学科 生体代謝学
- P1-017** マイクロ流路チップを用いたDirect RT-LAMP法によるインフルエンザ診断法の開発  
影山 努<sup>1)</sup>、高山 郁代<sup>1)</sup>、中内 美名<sup>1)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>、大場 邦弘<sup>2)</sup>  
1)国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、2)公立昭和病院 小児科
- P1-018** 細胞培養もしくは鶏卵で製造されたインフルエンザワクチンの品質管理試験および免疫応答への影響  
山本 典生<sup>1)</sup>、浅沼 秀樹<sup>1,2)</sup>、佐藤 佳代子<sup>1)</sup>、中内 美奈<sup>1)</sup>、高橋 仁<sup>1)</sup>、許斐 奈美<sup>3)</sup>、相内 章<sup>1,2)</sup>、長谷川 秀樹<sup>2)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、2)国立感染症研究所 感染病理部、3)日本大学医学部(高橋医院)

- P1-019** 喘息発作誘発モデルを用いたインフルエンザウイルス感染症の病態解析  
川口 晶<sup>1)</sup>、鈴木 忠樹<sup>2)</sup>、相内 章<sup>1,2)</sup>、佐藤 由子<sup>2)</sup>、信澤 枝里<sup>1)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>、長谷川 秀樹<sup>1,2)</sup>  
1) 国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、2) 国立感染症研究所 感染病理部
- P1-020** ウイルス輸送用培地の保存性能の評価  
武藤(細川) 淳二、藤浪 良仁、水野 なつ子  
科学警察研究所 法科学第一部 生物第五研究室
- P1-021** 近隣剪定法によるウイルス遺伝子配列のリサンプリング  
米澤 弘毅<sup>1)</sup>、五十嵐 学<sup>2)</sup>、高田 礼人<sup>3)</sup>、伊藤 公人<sup>2)</sup>  
1) 長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 コンピュータバイオサイエンス学科、  
2) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター バイオインフォマティクス部門、  
3) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 国際疫学部門
- P1-022** 基礎免疫を有する個体に対する経鼻投与型インフルエンザワクチン効果  
池田 千将<sup>1)</sup>、伊藤 良<sup>1)</sup>、相内 章<sup>1,2)</sup>、鈴木 忠樹<sup>1)</sup>、田村 慎一<sup>1)</sup>、田代 真人<sup>2)</sup>、浅沼 秀樹<sup>1,2)</sup>、  
長谷川 秀樹<sup>1,2)</sup>  
1) 国立感染症研究所 感染病理部、2) 岡山大学大学院 保健学研究科
- P1-023** インフルエンザウイルス感染行動の可視化解析  
堺 立也  
川崎医科大学 微生物学
- P1-024** プロポリス含有フラボノイド類の抗インフルエンザウイルス作用  
坂本 秀一<sup>1)</sup>、外山 聡美<sup>1)</sup>、林 佑哉<sup>1)</sup>、本田 詩織<sup>1)</sup>、松岡 さゆり<sup>1)</sup>、吉田 裕樹<sup>1)</sup>、渡辺 渡<sup>1)</sup>、堤 重敏<sup>2)</sup>、  
安川 憲<sup>3)</sup>、黒川 昌彦<sup>1)</sup>  
1) 九州保健福祉大学 薬学部、2) (株)アマゾンフード、3) 日本大学 薬学部
- P1-025** インフルエンザ感染実験のための低中和抗体価フェレットの確保および感染性について  
大坪 靖治、高橋 義博  
株式会社新日本科学 安全性研究所
- P1-026** HAタンパク質捕捉レクチンを利用したインフルエンザHAワクチンの力価測定法  
三股 亮太郎、中田 渚、小林 輝一、泉谷 憲幸、前田 和章、大塚 浩史、三森 重孝  
デンカ生研株式会社 新潟工場 ワクチン研究部
- P1-027** 蛍光標識プライマーを用いたDirect RT-LAMP法による季節性インフルエンザウイルスの型・  
亜型検出系の構築  
高山 郁代<sup>1)</sup>、中内 美名<sup>1)</sup>、大場 邦弘<sup>2)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>、影山 努<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、2) 公立昭和病院 小児科
- P1-028** エアー・フィルター/マスク素材の空中浮遊ウイルス透過阻止性能の、評価システムの構築とそ  
の応用  
西村 秀一<sup>1)</sup>、大宮 卓<sup>1)</sup>、阪田 総一郎<sup>2)</sup>  
1) 国立病院機構仙台医療センター 臨床研究部 ウイルスセンター、2) 高砂熟学工業株式会社 技術本部 生産技術部
- P1-029** インフルエンザワクチンシードウイルス分離用細胞の評価  
原田 勇一<sup>1)</sup>、高橋 仁<sup>1)</sup>、中村 一哉<sup>1)</sup>、浜本 いつき<sup>1)</sup>、Roth Bernhard<sup>2)</sup>、Trusheim Heidi<sup>2)</sup>、許斐 奈美<sup>3)</sup>、  
浅沼 秀樹<sup>1)</sup>、板村 繁之<sup>1)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>、山本 典生<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、2) Novartis Vaccines and Diagnostics、  
3) 日本大学 医学部 (高橋医院)
- P1-030** ヘアピン型ペプチド核酸を用いたインフルエンザウイルスゲノムの迅速・目視診断法  
開発 邦宏<sup>1)</sup>、澤田 慎二郎<sup>1)</sup>、菅野 亮<sup>1)</sup>、中村 昇太<sup>2)</sup>、後藤 直久<sup>2)</sup>、安永 照雄<sup>2)</sup>、中屋 隆明<sup>3)</sup>、加藤 修雄<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学 産業科学研究所、2) 大阪大学 微生物病研究所、3) 京都府立医科大学大学院 医学研究科

- P1-031 インフルエンザウイルス膜タンパク質NAの極性輸送機構の解析**  
齋藤 桃子<sup>1)</sup>、大倉 喬<sup>1,2)</sup>、百瀬 文隆<sup>1)</sup>、森川 裕子<sup>1)</sup>  
1)北里大学大学院 感染制御科学府、2)筑波大学 医学医療系
- P1-032 インフルエンザウイルスNPタンパク質の保存配列の同定とそのウイルス複製における役割の解析**  
柿坂 道範<sup>1)</sup>、佐々木 裕<sup>1)</sup>、山田 和範<sup>1,2)</sup>、間 陽子<sup>1,2)</sup>  
1)理化学研究所 分子ウイルス学特別研究ユニット、2)東京大学大学院 新領域創成科学研究科 感染制御分子機能解析分野
- P1-033 インフルエンザウイルスRNAポリメラーゼの伸長活性に及ぼすキャップ構造の意義**  
若井 ちとせ<sup>1)</sup>、水本 清久<sup>1,2)</sup>、永田 恭介<sup>1)</sup>  
1)筑波大学 医学医療系 感染生物学、2)微生物化学研究所 基盤生物研究部
- P1-034 細胞骨格関連因子によるインフルエンザウイルス増殖制御**  
熊倉 充子、永田 恭介  
筑波大学 人間総合科学研究科
- P1-035 インフルエンザウイルス増殖に対する細菌ノイラミニダーゼの影響**  
西川 智子<sup>1,2)</sup>、山崎 元美<sup>1)</sup>、長谷川 央<sup>3)</sup>、豊澤 恵子<sup>1)</sup>、山本 樹生<sup>1)</sup>、池田 稔<sup>3)</sup>、濱田 良樹<sup>2)</sup>、清水 一史<sup>1)</sup>  
1)日本大学 医学部 産婦人科学分野 SRBD プロジェクト、2)鶴見大学 歯学部 口腔顎顔面外科学講座、  
3)日本大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野
- P1-036 C型インフルエンザウイルスNS2蛋白のロイシンリッチ領域の機能解析**  
大桑 孝子、村木 靖、姫田 敏樹、大原 義朗  
金沢医科大学 医学部 微生物学講座
- P1-037 CM2蛋白のチャネル活性はC型インフルエンザウイルスのpackagingに関与するか?**  
村木 靖<sup>1)</sup>、大桑 孝子<sup>1)</sup>、姫田 敏樹<sup>1)</sup>、本郷 誠治<sup>2)</sup>、大原 義朗<sup>1)</sup>  
1)金沢医科大学 医学部 微生物学講座、2)山形大学 医学部 感染症学講座
- P1-038 Vanin-1がインフルエンザウイルス感染に果たす役割**  
山下 信子<sup>1,2)</sup>、難波 ひかる<sup>1)</sup>、山田 雅夫<sup>1)</sup>、森島 恒雄<sup>2)</sup>  
1)岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 病原ウイルス学、2)岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 小児科学
- P1-039 C型インフルエンザウイルスCM2の細胞質領域の役割**  
下平 義隆<sup>1)</sup>、後藤 崇成<sup>1)</sup>、村木 靖<sup>1,2)</sup>、菅原 勘悦<sup>1)</sup>、松崎 葉子<sup>1)</sup>、本郷 誠治<sup>1)</sup>  
1)山形大学 医学部 感染症学講座、2)金沢医科大学 医学部 微生物学部門
- P1-040 NA発現細胞で高い増殖性を示すインフルエンザウイルスHA変異株の性状解析**  
玄 文宏<sup>1)</sup>、山田 晋弥<sup>2)</sup>、岩附 研子<sup>2)</sup>、加藤 健太郎<sup>1)</sup>、明石 博臣<sup>1)</sup>、河岡 義裕<sup>2)</sup>、堀本 泰介<sup>1)</sup>  
1)東京大学大学院 獣医微生物、2)東京大学 医科学研究所 ウイルス感染
- P1-041 抗Sia $\alpha$ 2-3糖鎖抗体を用いたインフルエンザウイルス受容体探索研究**  
山口 真帆、左 一八、鈴木 隆  
静岡県立大学 薬学研究科 生化学
- P1-042 インフルエンザHAワクチンにおけるワクチン製造株のアミノ酸変異による抗原蛋白経時安定性への影響**  
嶋崎 典子<sup>1)</sup>、白倉 雅之<sup>1)</sup>、信澤 枝里<sup>1)</sup>、矢野 茂生<sup>2)</sup>、板村 繁之<sup>1)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、2)国立感染症研究所 血液安全性研究部

- P1-043** A型インフルエンザウイルス市中株およびノイラミニダーゼ阻害薬投与患者由来株における薬剤耐性変異の検出  
小淵 正次、堀元 栄詞、稲崎 倫子、名古屋(小原) 真弓、板持(岩井) 雅恵、佐多 徹太郎、滝澤 剛則  
富山県衛生研究所 ウイルス部
- P1-044** インフルエンザウイルスゲノムに存在する宿主適応に関係した連続塩基の解析  
岩崎 裕貴<sup>1,2)</sup>、和田 健之介<sup>1)</sup>、阿部 貴志<sup>3)</sup>、伊藤 正恵<sup>1)</sup>、池村 淑道<sup>1)</sup>  
1)長浜バイオ大学、2)日本学術振興会特別研究員 DC、3)新潟大学
- P1-045** 経鼻投与型インフルエンザワクチンによるマウス母子免疫の解析  
泉地 恭輔<sup>1,2)</sup>、相内 章<sup>3)</sup>、鈴木 忠樹<sup>1)</sup>、浅沼 秀樹<sup>3)</sup>、長谷川 秀樹<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 感染病理部、2)横浜市立大学 医学部微生物学、3)国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター
- P1-046** 人工肺サーファクタントとラニナミビルの併用療法はインフルエンザウイルスによる致死率を低下させる  
福士 雅也<sup>1,2,3)</sup>、山下 誠<sup>4)</sup>、秋山 徹<sup>5)</sup>、久保 淑<sup>4)</sup>、山本 健二<sup>3)</sup>、工藤 宏一郎<sup>2)</sup>  
1)広島大学大学院 医歯薬保健学研究院、2)国立国際医療研究センター 国際疾病センター、3)国立国際医療研究センター 研究所、4)第一三共株式会社 生物医学研究所、5)国立国際医療研究センター 研究所
- P1-047** インフルエンザウイルス感染におけるマウス肺の病理学的変化の観察  
澤 洋文<sup>1)</sup>、Muto Nilton-Akio<sup>1)</sup>、寸田 祐嗣<sup>2)</sup>、服部 ともえ<sup>1,3)</sup>、藤倉 大輔<sup>1)</sup>、中山 洋佑<sup>4)</sup>、宮崎 忠昭<sup>4)</sup>、丸山 光生<sup>5)</sup>、木村 享史<sup>1)</sup>  
1)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター、2)北海道大学 獣医学研究科、3)北海道大学 生命科学院、4)北海道大学 遺伝子病制御研究所、5)国立長寿医療研究センター
- P1-048** 静注用ヒト免疫グロブリン製剤のインフルエンザウイルス抗体価の推移  
瀬瀬 律子<sup>1,2)</sup>、浦山 健<sup>2,3)</sup>、井手野 祥次<sup>2,3)</sup>、柚木 幹弘<sup>2,3)</sup>、奥野 良信<sup>1)</sup>、生田 和良<sup>2)</sup>  
1)一般財団法人阪大微生物病研究会、2)大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、3)(株)ベネシス
- P1-049** 無血清培地に馴化させたMDCK細胞のインフルエンザワクチンシードウイルス分離用細胞としての検討  
浜本 いつき<sup>1)</sup>、原田 勇一<sup>1)</sup>、中村 一哉<sup>1)</sup>、高橋 仁<sup>1)</sup>、許斐 奈美<sup>2)</sup>、浅沼 秀樹<sup>1)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>、山本 典生<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、2)日本大学医学部
- P1-050** Broad neutralizing monoclonal antibodies against influenza viruses  
潘 洋<sup>1)</sup>、安木 真世<sup>1)</sup>、金井 祐太<sup>1)</sup>、Boonsathorn Naphatsawan<sup>2)</sup>、小野 健一郎<sup>3)</sup>、生田 和良<sup>2)</sup>  
1)大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、2)タイ保健省 医科学局 Medical Biotechnology Center、3)株式会社 医学生物学研究所 (MBL)
- P1-051** インフルエンザウイルス株間で見出されたアルギニン感受性差についての解析  
西出 充徳<sup>1)</sup>、辻本 和子<sup>1)</sup>、池田 敬子<sup>2)</sup>、山崎 尚<sup>3)</sup>、入江 宏<sup>4)</sup>、小山 一<sup>1)</sup>  
1)和歌山信愛女子短期大学 生活文化学科 食物栄養専攻、2)和歌山県立医科大学 保健看護学部、3)和歌山県立医科大学大学院 医学研究科 ウイルス学分野、4)帝京大学 医療技術学部
- P1-052** インフルエンザワクチンシードウイルスに求められる遺伝的安定性の検討  
高橋 仁<sup>1)</sup>、原田 勇一<sup>1)</sup>、中村 一哉<sup>1)</sup>、浜本 いつき<sup>1)</sup>、Bernhard Roth<sup>2)</sup>、Heidi Trusheim<sup>2)</sup>、板村 繁之<sup>1)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>、山本 典生<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、2)Novartis Vaccines and Diagnostics GmbH and Co. KG
- P1-053** わが国の哺乳動物におけるインフルエンザウイルス感染  
堀本 泰介<sup>1)</sup>、玄 文宏<sup>1)</sup>、岩附 研子<sup>2)</sup>、木曾 真紀<sup>2)</sup>、村上 晋<sup>2)</sup>、加藤 健太郎<sup>1)</sup>、久末 正晴<sup>3)</sup>、阪口 雅弘<sup>4)</sup>、明石 博臣<sup>1)</sup>、伊藤 壽啓<sup>5)</sup>、河岡 義裕<sup>2)</sup>、前田 健<sup>6)</sup>  
1)東京大学大学院 獣医微生物、2)東京大学 医科学研究所 ウイルス感染、3)麻布大学 獣医内科二、4)麻布大学 獣医微生物一、5)鳥取大学 獣医公衆衛生、6)山口大学 獣医微生物

**P1-054** A型インフルエンザウイルスに対する緑色微細藻類Coccomyxa gloeobotrydiformi由来酸性多糖体の抗ウイルス作用

小松 孝行  
愛知医科大学 医学部 感染免疫学講座

ポスター発表

18:00~19:00

ランチ(1)

座長：五十嵐 樹彦(京都大学ウイルス研究所)

**P1-055** SIV-gag rBCGプライム ワクシニアm8Δブーストにおけるワクシニアプロモーターの検討

佐藤 洋隆<sup>1)</sup>、陳 晶<sup>1)</sup>、張 險峰<sup>1)</sup>、松尾 和浩<sup>2)</sup>、志田 壽利<sup>1)</sup>  
1)北海道大学 遺伝子病制御研究所 感染病態分野、2)日本 BCG 研究所

**P1-056** HIV-1 coreceptorのoligomer形成がHIV-1感染感受性に与える影響

中野 雄介<sup>1)</sup>、前田 洋助<sup>2)</sup>、門出 和精<sup>2)</sup>、寺沢 広美<sup>2)</sup>、遊佐 敬介<sup>3)</sup>、原田 信志<sup>2)</sup>  
1)熊本大学大学院 医学教育部 感染防御学分野、2)熊本大学大学院 生命科学研究部 感染防御学分野、3)国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部 ウイルス安全研究室

**P1-057** 高病原性SHIV感染サルにおける感染マクロファージの半減期の推定

渡部 祐司<sup>1)</sup>、岩見 真吾<sup>2)</sup>、五十嵐 樹彦<sup>1)</sup>  
1)京都大学 ウイルス研究所 附属感染症モデル研究センター 霊長類モデル研究領域、2)九州大学 理学研究院 生物科学部門 動態生物学

**P1-058** 性器ヘルペス感染症による性行為HIV感染促進効果のメカニズムの検討

松澤 高光<sup>1)</sup>、川村 龍吉<sup>1)</sup>、小川 陽一<sup>1)</sup>、小柳 義夫<sup>2)</sup>、島田 眞路<sup>1)</sup>  
1)山梨大学 医学部 皮膚科、2)京都大学 ウイルス研究所 ウイルス病態研究領域

**P1-059** 無治療の日本人HIV感染者に蓄積する Gag依存のウイルス増殖能と病態進行性の網羅的解析

阪井 恵子<sup>1)</sup>、長谷川 真理<sup>1)</sup>、近田 貴敬<sup>1)</sup>、湯永 博之<sup>2,3)</sup>、岡 慎一<sup>2,3)</sup>、滝口 雅文<sup>1)</sup>  
1)熊本大学 エイズ学研究センター 滝口プロジェクト研究室、2)国立国際医療研究センター、3)熊本大学 エイズ学研究センター

**P1-060** HIV-1感染者における抗ウイルス宿主因子の発現レベルと病態進行との相関性の有無

張 延昭<sup>1,2)</sup>、岩部 幸枝<sup>1)</sup>、立川(川名) 愛<sup>3)</sup>、中村 仁美<sup>4)</sup>、Nolan David<sup>5)</sup>、Mallal Simon<sup>5)</sup>、長谷川 秀樹<sup>1)</sup>、山岡 昇司<sup>2)</sup>、岩本 愛吉<sup>3)</sup>、徳永 研三<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 感染病理部、2)東京医科歯科大学 ウイルス制御学分野、3)東京大学医科学研究所 感染症分野、4)東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター、5)Royal Perth Hospital / Murdoch University

**P1-061** HIV-1アクセサリタンパク質Nefの発現増強機構に関する解析

山本 充奈美<sup>1)</sup>、原田 圭輔<sup>1)</sup>、高宗 暢暁<sup>2)</sup>、杉本 幸彦<sup>2)</sup>、庄司 省三<sup>3)</sup>、三隅 将吾<sup>2)</sup>  
1)熊本大学大学院 薬学教育部、2)熊本大学大学院 生命科学研究部、3)熊本保健科学大学

**P1-062** サル免疫不全ウイルス特異的非中和抗体の解析

中根 拓<sup>1)</sup>、山本 浩之<sup>2)</sup>、野村 拓志<sup>1,2)</sup>、俣野 哲朗<sup>1,2)</sup>  
1)東京大学 医科学研究所、2)国立感染症研究所 エイズ研究センター

**P1-063** サルエイズモデルにおけるGag以外のウイルス抗原特異的CTL反応が関与するSIV複製抑制機序

高橋 尚史<sup>1,2)</sup>、野村 拓志<sup>1,2)</sup>、高原 悠佑<sup>1,2)</sup>、山本 浩之<sup>1)</sup>、成瀬 妙子<sup>3)</sup>、木村 彰方<sup>3)</sup>、俣野 哲朗<sup>1,2)</sup>  
1)国立感染症研究所 エイズ研究センター、2)東京大学 医科学研究所、3)東京医科歯科大学 難治疾患研究所

**P1-064** 強力な細胞性免疫を誘導するAg85B発現弱毒エイズウイルスの防御免疫機構の解析

岡村 智崇<sup>1)</sup>、松尾 和浩<sup>2)</sup>、保富 康宏<sup>1)</sup>  
1)医薬基盤研究所 霊長類医科学研究センター、2)日本 BCG 研究所

**P1-065** サルに順化したCCR5指向性SHIV-MK38の中和抗体に対する抵抗性

一瀬 裕太郎<sup>1)</sup>、大附 寛幸<sup>1)</sup>、米田 舞<sup>1)</sup>、松田 健太<sup>1)</sup>、松下 修三<sup>2)</sup>、五十嵐 樹彦<sup>1)</sup>、三浦 智行<sup>1)</sup>  
1)京都大学 ウイルス研究所 霊長類モデル研究領域、2)熊本大学 エイズ学研究センター

- P1-066** マカク属サルTRIM5遺伝子における種間および種内の多様性  
齊藤 暁<sup>1)</sup>、河野 健<sup>2)</sup>、中山 英美<sup>2)</sup>、塩田 達雄<sup>2)</sup>、川本 芳<sup>1)</sup>、鳥居 隆三<sup>3)</sup>、吉田 友教<sup>1)</sup>、東濃 篤徳<sup>1)</sup>、鈴木 紗織<sup>1)</sup>、保富 康宏<sup>4)</sup>、明里 宏文<sup>1,4)</sup>  
1) 京都大学 霊長類研究所、2) 大阪大学 微生物病研究所、3) 滋賀医科大学 動物生命科学研究所センター、4) (独) 医薬基盤研究所 霊長類医学研究所センター
- P1-067** 次世代型高速シーケンサーはHIV重感染検体の解析に威力を発揮する-コンゴ民主共和国におけるHIV分子疫学研究での適用例から  
井戸 栄治<sup>1,2)</sup>、Karhemere Stomy<sup>3)</sup>、Ebengho Max<sup>4)</sup>、中村 昇太<sup>5)</sup>、中屋 隆明<sup>6)</sup>、Aziati Ishmael<sup>2)</sup>、Brandful James<sup>2)</sup>、Barnor Jacob<sup>2)</sup>、Ampofo William<sup>2)</sup>、生田 和良<sup>5)</sup>、山岡 昇司<sup>1)</sup>、Muyembe Jean-Jacques<sup>3)</sup>  
1) 東京医科歯科大学大学院 歯医学総合研究科、2) ガーナ大学 野口記念医学研究所、3) コンゴ民主共和国 国立生物医学研究所、4) AMO-Congo、5) 大阪大学 微生物病研究所、6) 京都府立医科大学大学院 医学系研究科
- P1-068** Sequence variations in the HIV-1 Nef gene in rapid, slow, and non-progressor children.  
Xiuquong Bi, Raphael Lwembe, Raphael Lihana, Matilda Saina, Hung Viet Pham, Azumi Ishizaki, Hiroshi Ichimura  
Department of Viral Infection and International Health, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University
- P1-069** 中和感受性を増強する薬剤による抗 HIV-1 治療戦略に向けた新規 SHIV/アカゲザル評価モデルの開発  
大附 寛幸<sup>1)</sup>、一瀬 裕太郎<sup>1)</sup>、小林 剛<sup>1)</sup>、原田 恵嘉<sup>2)</sup>、吉村 和久<sup>2)</sup>、鳴海 哲夫<sup>3)</sup>、玉村 啓和<sup>3)</sup>、松下 修三<sup>4)</sup>、五十嵐 樹彦<sup>1)</sup>、三浦 智行<sup>1)</sup>  
1) 京都大学 ウイルス研究所、2) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、3) 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所、4) 熊本大学 エイズ学研究所
- P1-070** HIV-1産生阻害におけるアカゲザルTRIM5 $\alpha$ の細胞内動態の解析  
助川 明香<sup>1)</sup>、佐久間 龍太<sup>1)</sup>、大嶺 青河<sup>2)</sup>、池田 靖弘<sup>2)</sup>、山岡 昇司<sup>1)</sup>  
1) 東京医科歯科大学 歯医学総合研究科 ウイルス制御学分野、2) Department of Molecular Medicine, Mayo Clinic, Rochester MN 55905 USA
- P1-071** ワクシニアウイルスプライム、センダイウイルスブーストHIVワクチン：DNA添加及びプロモーターの効果  
一色 真央<sup>1)</sup>、張 險峰<sup>1)</sup>、大橋 貴<sup>1)</sup>、井上 誠<sup>2)</sup>、志田 壽利<sup>1)</sup>  
1) 北海道大学 遺伝子病制御研究所 感染病態分野、2) ディナベック株式会社

## ポスター発表

18:00~19:00

## ランチ(2)

座長：徳永 研三(国立感染症研究所感染病理部)

- P1-072** ZBRK1 represses HIV-1 LTR-mediated transcription  
Sawada Leila<sup>1)</sup>、西辻 裕紀<sup>1,2)</sup>、阿部 真<sup>1)</sup>、高久 洋<sup>1)</sup>  
1) 千葉工業大学 工学研究科 生命環境科学科専攻、2) 千葉工業大学 附属総合研究所
- P1-073** R5-tropic HIV-1mt NL-DT562のEnv適応変異による増殖促進機構の解析  
土肥 直哉、藤原 佐知、酒井 遥介、松本 唯、足立 昭夫、野間口 雅子  
徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 微生物病原学分野
- P1-074** シクロフィリンAとHIV-1 Gagの結合を阻害する新規低分子化合物の検索  
亀岡 正典<sup>1,2,3)</sup>、Verathamjamras Chris<sup>2)</sup>、田 雨時<sup>4)</sup>、安永 照雄<sup>3)</sup>、高木 達也<sup>3,4)</sup>、川下 理日人<sup>3,4)</sup>  
1) 神戸大学大学院 保健学研究科、2) 日本・タイ感染症共同研究センター、3) 大阪大学 微生物病研究所、4) 大阪大学大学院 薬学研究科
- P1-075** HIV-1 NefはHSP70を介したTat活性化を抑制する  
杉山 隆一<sup>1,3)</sup>、西辻 裕紀<sup>1,2)</sup>、長沼 晴樹<sup>1)</sup>、脇田 隆字<sup>3)</sup>、高久 洋<sup>1)</sup>  
1) 千葉工業大学 工学部 生命環境科学、2) 千葉工業大学 附属総合研究所、3) 国立感染症研究所 ウイルス第二部

- P1-076 HIV-1 逆転写反応の試験管内再構築に向けた各種因子の検討評価**  
佐藤 洋子<sup>1)</sup>、高畑 辰郎<sup>1)</sup>、河合 剛太<sup>2)</sup>、長谷川 温彦<sup>1)</sup>、神奈木 真理<sup>1)</sup>、増田 貴夫<sup>1)</sup>  
1) 東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科 免疫治療学分野、2) 千葉工業大学 工学部 生命環境科学科
- P1-077 APOBEC3Cの構造解析とHIV-1 Vif結合インターフェイスの同定**  
北村 紳悟<sup>1,2)</sup>、大出 裕高<sup>1)</sup>、中島 雅晶<sup>1,2)</sup>、今橋 真弓<sup>1,3)</sup>、長縄 由里子<sup>1)</sup>、黒沢 哲平<sup>1,2)</sup>、横幕 能行<sup>1)</sup>、  
山根 隆<sup>2)</sup>、渡邊 信久<sup>2,4)</sup>、鈴木 淳巨<sup>2)</sup>、杉浦 互<sup>1,3)</sup>、岩谷 靖雅<sup>1,3)</sup>  
1) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター、2) 名古屋大学大学院 工学研究科 化学・生物工学専攻、  
3) 名古屋大学大学院 医学系研究科 分子総合医学専攻、4) 名古屋大学 シンクロトロン光研究センター
- P1-078 APOBEC3間における HIV-1 Vif結合インターフェイスの違い**  
中島 雅晶<sup>1,2)</sup>、北村 紳悟<sup>1,2)</sup>、大出 裕高<sup>1,3)</sup>、今橋 真弓<sup>1,4)</sup>、長縄 由里子<sup>1)</sup>、黒沢 哲平<sup>1,2)</sup>、横幕 能行<sup>1)</sup>、  
山根 隆<sup>2)</sup>、渡邊 信久<sup>2,5)</sup>、鈴木 淳巨<sup>2)</sup>、杉浦 互<sup>1,4)</sup>、岩谷 靖雅<sup>1,4)</sup>  
1) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター、2) 名古屋大学大学院 工学研究科 化学・生物工学専攻、  
3) 財団法人エイズ予防財団、4) 名古屋大学大学院 医学系研究科 分子総合医学専攻、5) 名古屋大学 シンクロトロン光研究センター
- P1-079 HIV-1潜伏化の成立と維持におけるPolycomb groupの機能解析**  
松田 有加<sup>1)</sup>、山岸 誠<sup>1)</sup>、小林 美栄<sup>1)</sup>、原 拓馬<sup>1)</sup>、石田 尚臣<sup>2)</sup>、渡邊 俊樹<sup>1)</sup>  
1) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカルゲノム専攻、2) 東京大学 医科学研究所 アジア感染症研究拠点
- P1-080 ヒトCPSF6のC末欠損体はHIV-1感染後の逆転写反応効率に影響をおよぼす因子である**  
堀 恭徳、武内 寛明、佐久間 龍太、山岡 昇司  
東京医科歯科大学 歯学総合研究科 ウイルス制御学分野
- P1-081 BST-2の抗HIV-1活性に関わる宿主因子の探索**  
阿部 真<sup>1)</sup>、西辻 裕紀<sup>1,2)</sup>、谷口 善則<sup>1)</sup>、渡邊 宇裕<sup>1)</sup>、高久 洋<sup>1)</sup>  
1) 千葉工業大学 工学研究科 生命環境科学専攻、2) 千葉工業大学 附属総合研究所
- P1-082 HIV cDNAの可視化とライブイメージングの確立**  
蝦名 博貴、金村 優香、小柳 義夫  
京都大学 ウイルス研究所 ウイルス病態研究領域
- P1-083 HIV-1由来antisense RNAによるウイルス複製抑制メカニズムの解析**  
小林(石原) 美栄<sup>1)</sup>、山岸 誠<sup>1)</sup>、松田 有加<sup>1)</sup>、中野 和民<sup>1)</sup>、矢持 忠徳<sup>1)</sup>、石田 尚臣<sup>2)</sup>、渡邊 俊樹<sup>1)</sup>  
1) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカルゲノム専攻、2) 東京大学 医科学研究所 アジア感染症研究拠点
- P1-084 HIV-1の増殖に重要な新規宿主因子の同定**  
佐久間 龍太、助川 明香、武内 寛明、山岡 昇司  
東京医科歯科大学 歯学総合研究科 ウイルス制御学分野
- P1-085 P-body因子MOV10はHIV-1複製とLINE-1のレトロトランスポジションを抑制する**  
黒木 美沙緒<sup>1,2,3)</sup>、井上 万里子<sup>1)</sup>、有海 康雄<sup>1)</sup>  
1) 熊本大学 エイズ学研究センター 有海プロジェクト研究室、2) 日本学術振興会 特別研究員、  
3) 岡山大学大学院 歯歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学
- P1-086 HIV-1 Vprによる細胞周期G2期停止に関与する新規宿主因子の同定**  
村上 知行<sup>1,2)</sup>、間 陽子<sup>1,2)</sup>  
1) 理化学研究所 分子ウイルス学特別研究ユニット、2) 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 感染制御分子機能解析分野
- P1-087 HIV-1 integraseの機能に関与する翻訳後修飾解析**  
岸本 直樹<sup>1)</sup>、鬼塚 彩乃<sup>2)</sup>、杉本 幸彦<sup>3)</sup>、高宗 暢暁<sup>3)</sup>、庄司 省三<sup>4)</sup>、三隅 将吾<sup>3)</sup>  
1) 熊本大学大学院 薬学教育部 薬学生化学分野、2) 熊本大学 薬学部 薬学生化学分野、  
3) 熊本大学大学院 生命科学研究部 薬学生化学分野、4) 熊本保健科学大学
- P1-088 培養細胞実験と数理モデルによるウイルス感染動態の定量化ーウイルス病原性の解明への応用ー**  
岩見 真吾<sup>1,2)</sup>、de Boer Rob<sup>3)</sup>、五十嵐 樹彦<sup>4)</sup>、三浦 智行<sup>4)</sup>  
1) 九州大学 理学研究院 生物科学部門、2) JST さきがけ、3) Theoretical Biology & Bioinformatics、  
4) 京都大学 ウイルス研究所

## HTLV、その他のレトロ

座長：志田 壽利(北海道大学遺伝子病制御研究所)

- P1-089** HTLV-1の水平感染と17β-Estradiol (E<sub>2</sub>)の関与について  
相良 康子<sup>1)</sup>、井上 由紀子<sup>1)</sup>、後藤 信代<sup>1)</sup>、相良 康弘<sup>2)</sup>、脇本 麗<sup>3)</sup>、原 孝之<sup>3)</sup>、原田 信広<sup>4)</sup>、長野 冬子<sup>1)</sup>、清川 博之<sup>1)</sup>  
1)日本赤十字社 九州ブロック血液センター、2)中村学園大学 教育学部、3)中村学園大学 栄養科学部、4)藤田保健衛生大学 医学部 生化学
- P1-090** ヒトT細胞白血病ウイルス1型 (HTLV-1)母子感染例におけるProviral Loadの検討  
森内 浩幸<sup>1)</sup>、土居 浩<sup>2)</sup>、長谷川 寛雄<sup>3)</sup>、佐々木 大介<sup>3)</sup>、上平 憲<sup>3)</sup>  
1)長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 感染症態制御学、2)佐世保共済病院 小児科、3)長崎大学病院 検査部
- P1-091** HTLV-1プロウイルスを物理的に傷害する人工酵素の開発  
駒野 淳<sup>1)</sup>、田中 淳<sup>2)</sup>、武田 哲<sup>3)</sup>  
1)大阪府立公衆衛生研究所 感染症部ウイルス課、2)群馬大学大学院 医学系研究科、3)国立感染症研究所 エイズ研究センター
- P1-092** HTLV-1感染T細胞の不死化とウイルス産生を制御する宿主免疫環境  
田中 勇悦<sup>1)</sup>、長谷川 温彦<sup>2)</sup>、神奈木 真理<sup>2)</sup>、田中 礼子<sup>1)</sup>、齊藤 峰輝<sup>1)</sup>  
1)琉球大学大学院 医学研究科 免疫学講座、2)東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 免疫治療学分野
- P1-093** レクチンアレイによるATL細胞グリカンのプロファイリング：可能性と課題  
池辺 詠美<sup>1)</sup>、手塚 健太<sup>2)</sup>、緒方 正男<sup>3)</sup>、松本 昂<sup>1)</sup>、中野 聡子<sup>1)</sup>、藤澤 順一<sup>2)</sup>、田中 勇悦<sup>4)</sup>、末岡 栄三郎<sup>5)</sup>、堀 光雄<sup>6)</sup>、森下 和広<sup>7)</sup>、山田 雅雄<sup>8)</sup>、西園 晃<sup>1)</sup>、伊波 英克<sup>1)</sup>  
1)大分大学 医学部 微生物学講座、2)関西医科大学 医学部 微生物学講座、3)大分大学 医学部 血液内科、4)琉球大学 医学部 免疫学講座、5)佐賀大学 医学部 血液内科、6)茨城県立中央病院 血液内科、7)宮崎大学 医学部 腫瘍生化学、8)GP バイオサイエンス
- P1-094** ATL細胞におけるTax1bp1の過剰異所性発現  
伊波 英克<sup>1)</sup>、池辺 詠美<sup>1)</sup>、緒方 正男<sup>2)</sup>、田中 勇悦<sup>3)</sup>、松本 昂<sup>1)</sup>、中野 聡子<sup>1)</sup>、八尋 隆明<sup>1)</sup>、堀 光雄<sup>4)</sup>、森下 和広<sup>5)</sup>、西園 晃<sup>1)</sup>  
1)大分大学 医学部 微生物学講座、2)大分大学 医学部 血液内科、3)琉球大学 医学部 免疫学講座、4)茨城県立中央病院 血液内科、5)宮崎大学 医学部 腫瘍生化学講座
- P1-095** ラットモデルにおけるHTLV-1中和単クロン抗体のHTLV-1感染防御効果  
村上 悠二<sup>1)</sup>、安藤 聡美<sup>1)</sup>、長谷川 温彦<sup>1)</sup>、田中 礼子<sup>2)</sup>、田中 勇悦<sup>2)</sup>、神奈木 真理<sup>1)</sup>  
1)東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 免疫治療学分野、2)琉球大学大学院 医学研究科 免疫学講座
- P1-096** HTLV-1経口感染ラットを用いたペプチドパルス樹状細胞ワクチン評価系作成のための基礎的研究  
安藤 聡美、村上 悠二、長谷川 温彦、増田 貴夫、神奈木 真理  
東京医科歯科大学 免疫治療学分野
- P1-097** HTLV-1エンベロープの膜融合能におけるウイルス産生細胞内エンドソームの酸性化の関与  
前田 洋助<sup>1)</sup>、寺沢 広美<sup>1)</sup>、中野 雄介<sup>1)</sup>、門出 和精<sup>1)</sup>、遊佐 敬介<sup>2)</sup>、原田 信志<sup>1)</sup>  
1)熊本大学大学院 生命科学研究部 感染防御学分野、2)国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部 ウイルス安全性研究室
- P1-098** TSLC1分子を標的とする腫瘍溶解性ウイルスVSVを用いた新規抗ATL療法の開発  
大隈 和<sup>1)</sup>、館山 誠司<sup>1,2)</sup>、森下 和広<sup>3)</sup>、広瀬 国孝<sup>2)</sup>、山本 直樹<sup>4)</sup>、山口 一成<sup>1)</sup>、浜口 功<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 血液・安全性研究部、2)株式会社マイクロン、3)宮崎大学 医学部 機能制御学講座、4)国立シンガポール大学 医学部 微生物学講座
- P1-099** マウス白血病ウイルスの感染阻害におけるヘパリンの硫酸化構造の重要性  
関 洋平<sup>1)</sup>、水倉 美早穂<sup>1)</sup>、一宮 智美<sup>1)</sup>、隅田 泰生<sup>2)</sup>、西原 祥子<sup>1)</sup>、増田 道明<sup>3)</sup>、高瀬 明<sup>1)</sup>  
1)創価大学 工学部 生命情報工学科、2)鹿児島大学大学院 理工学研究科 化学生命・化学工学専攻、3)獨協医科大学 医学部 微生物学講座
- P1-100** マウス白血病ウイルスのスプライス部位選択機構  
待永 明仁、高瀬 明  
創価大学 工学部 生命情報工学科

- P1-101** マウスレトロウイルスアクセサリー蛋白Glycosylated Gagがウイルスの外被蛋白SUの発現制御およびウイルスの感染増殖に及ぼす影響  
藤澤 隆一、増田 道明  
獨協医科大学 医学部 微生物学講座
- P1-102** 牛白血病ウイルス(BLV) Taxのアミノ酸置換と転写活性化能の関連：転写活性化抑制に233番アミノ酸変異は必須か？  
大澤 宜明、井上 恵美、岡崎 克則  
北海道医療大学 薬学部 分子生命科学講座 免疫微生物学教室
- P1-103** 牛白血病ウイルスの宿主ゲノム内組込み位置と病態との関連  
宮坂 卓、小熊 圭祐、泉對 博  
日本大学 生物資源科学部 獣医学科
- P1-104** ハダカデバナズミを用いた内在性ウイルス様配列の検出とウイルス感受性の解析  
牧野 晶子<sup>1)</sup>、三浦 恭子<sup>2)</sup>、岡野 栄之<sup>2)</sup>、朝長 啓彦<sup>1)</sup>  
1) 京都大学 ウイルス研究所、2) 慶應義塾大学 医学部

## ポスター発表

18:00~19:00

## トガ、フラビ(1)

座長：鈴木 陽一(シンガポール国立大学 医学部)

- P1-105** ヒトとマウスにおけるデングウイルスの感染細胞の同定と感染機序の解析  
浅井 あづさ<sup>1,2)</sup>、佐々木 正大<sup>1,2)</sup>、Supanee Phanthanawiboon<sup>1)</sup>、Magot Omokoko<sup>1)</sup>、Sabar Pambudi<sup>1)</sup>、花原 景子<sup>1)</sup>、生田 和良<sup>1)</sup>、黒須 剛<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫、2) JST/JICA、SATREPS
- P1-106** ヒトcDNAライブラリー発現レンチウイルスベクターを用いたデングウイルス複製に関与する宿主因子の探索  
鈴木 陽一<sup>1)</sup>、Chin Wei Xin<sup>1)</sup>、Han Qi'En<sup>1)</sup>、Vasudevan Subhash<sup>2)</sup>、小柳 義夫<sup>3)</sup>、山本 直樹<sup>1)</sup>  
1) シンガポール国立大学 医学部 微生物、2) DUKE-NUS Medical School, Program in Emerging Infectious Diseases、3) 京都大学 ウイルス研究所 ウイルス病態研究領域
- P1-107** デング1型ウイルスE抗原エピトープの解析：感染中和及び増強活性のみを示すマウスモノクローナル抗体を用いたアプローチ  
小瀧 将裕<sup>1)</sup>、小西 英二<sup>1,2,3)</sup>  
1) 神戸大学大学院 保健学研究科、2) 神戸大学大学院 医学研究科 付属感染症センター、3) 大阪大学 微生物病研究所
- P1-108** 抗デングウイルス活性を有する化合物の探索および作用機序の解析  
加藤 文博<sup>1)</sup>、川岸 崇裕<sup>1)</sup>、日向 亮輔<sup>1)</sup>、大石 真也<sup>2)</sup>、藤井 信孝<sup>2)</sup>、三浦 智行<sup>1)</sup>、小林 剛<sup>1)</sup>、五十嵐 樹彦<sup>1)</sup>  
1) 京都大学 ウイルス研究所 霊長類モデル研究領域、2) 京都大学大学院 薬学研究科
- P1-109** 抗デングウイルス剤の探索および性状解析  
安倍 智子<sup>1)</sup>、左 一八<sup>1)</sup>、渡邊 一平<sup>1)</sup>、池田 潔<sup>2)</sup>、森田 公一<sup>3)</sup>、鈴木 隆<sup>1)</sup>  
1) 静岡県立大学 薬学研究院 生化学、2) 広島国立大学 薬 有機合成、3) 長崎大学 熱帯医学研究所
- P1-110** デングウイルス感染ヒト培養細胞におけるI型インターフェロンの発現抑制  
内田 玲麻、Espada-Murao Lyre Anni、森田 公一  
長崎大学 熱帯医学研究所 ウイルス学分野
- P1-111** Construction and characterization of chimeric virus from dengue type 4 infectious clones  
Supanee Phanthanawiboon<sup>1)</sup>、Sabar Pambudi<sup>1)</sup>、Diata Magot Omokoko<sup>1)</sup>、Kriengsak Limkittikul<sup>2)</sup>、Surapee Anantapreecha<sup>3)</sup>、Kazuyoshi Ikuta<sup>1)</sup>、Takeshi Kurosu<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、2) Center of Excellence for Antibody Research (CEAR), Department of Microbiology and Immunology, Faculty of Tropical Medicine, Mahidol University, Thailand、3) National Institute of Health, Department of Medical Sciences, Thailand.

- P1-112** デングウイルスを中和するヒト型モノクローナル抗体の認識エピトープ領域の配列保存性について  
山下 明史<sup>1,5)</sup>、川下 理日人<sup>1,2)</sup>、佐々木 正大<sup>1,5)</sup>、西村 光広<sup>1,5)</sup>、Chayanee Setthapramote<sup>3,5)</sup>、小野 健一郎<sup>4,5)</sup>、黒須 剛<sup>1,5)</sup>、Pongrama Ramasoota<sup>3,5)</sup>、生田 和良<sup>1,5)</sup>  
1)大阪大学 微生物病研究所、2)大阪大学 薬学研究科、3)Faculty of Tropical Medicine, Mahidol University, Thailand、4)株式会社生物医学研究所 研究開発本部 研究開発部、5)JST/JICA, SATREPS
- P1-113** 蛋白質間ドッキングシミュレーションを用いたデングウイルスエンベロープ蛋白質とその認識ヒト型単クローン抗体との相互作用解析  
川下 理日人<sup>1,2,5)</sup>、山下 明史<sup>2,5)</sup>、佐々木 正大<sup>2,5)</sup>、西村 光広<sup>2,5)</sup>、Chayanee Setthapramote<sup>3,5)</sup>、小野 健一郎<sup>4,5)</sup>、黒須 剛<sup>2,5)</sup>、Pongrama Ramasoota<sup>3,5)</sup>、生田 和良<sup>2,5)</sup>  
1)大阪大学大学院 薬学研究科、2)大阪大学 微生物病研究所、3)マヒドン大学 熱帯医学部、4)株式会社生物医学研究所 研究開発本部 研究開発部、5)JST/JICA, SATREPS
- P1-114** Expression of Dengue virus type 2 envelope protein in *Pichia pastoris* and application for sero-diagnosis.  
余 福勲、岡本 健太、森田 公一  
長崎大学 熱帯医学研究所 ウイルス学
- P1-115** Cloning and expression of recombinant IgG of neutralizing human monoclonal antibody against dengue virus  
Pannamthip Pitaksajjakul<sup>1,4)</sup>、Surachet Benjathummarak<sup>1)</sup>、Hathairat Hananantachai<sup>1)</sup>、Chayanee Setthapramote<sup>1,4)</sup>、Kazuhito Fujiyama<sup>2,4)</sup>、Ryo Misaki<sup>2,4)</sup>、Tadahiro Sasaki<sup>3,4)</sup>、Kazuyoshi Ikuta<sup>3,4)</sup>、Pongrama Ramasoota<sup>1,4)</sup>  
1)Center of Excellence for Antibody Research and Department of Social and Environmental Medicine, Mahidol University, Bangkok, Thailand、2)International Center for Biotechnology, Osaka University, Osaka, Japan、3)Department of Virology, Research Institute for Microbial Disease, Osaka University, Osaka, Japan、4)JST/JICA, SATREPS
- P1-116** アルボウイルス (JEV, WNV, DENV)に対する静注用免疫グロブリン製剤の抗体価  
井手野 祥次<sup>1,4)</sup>、高橋 一恵<sup>1)</sup>、浦山 健<sup>1,4)</sup>、古木 理恵<sup>1)</sup>、上田 千晶<sup>1)</sup>、柚木 幹弘<sup>1,3,4)</sup>、黒須 剛<sup>4)</sup>、高橋 和郎<sup>2)</sup>、生田 和良<sup>4)</sup>、坂井 薫<sup>1)</sup>  
1)株式会社 ベネシス、2)大阪府立公衆衛生研究所、3)酪農学園大学 獣医学群獣医学類 獣医ウイルス学ユニット、4)大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野
- P1-117** シベリア型ダニ媒介性脳炎ウイルスIR99-2f7株の感染性cDNAクローンの構築  
川岸 崇裕、加藤 文博、日向 亮輔、三浦 智行、小林 剛、五十嵐 樹彦  
京都大学 ウイルス研究所 霊長類モデル研究領域
- P1-118** Evaluation of antigenic cross-reactivity of tick-borne encephalitis virus and Omsk hemorrhagic fever virus  
Chidumayo Nozyechi、好井 健太朗、荻和 宏明  
北海道大学大学院 獣医学研究科 公衆衛生学教室

## ポスター発表

18:00~19:00

## トガ、フラビ(2)

座長：田島 茂(国立感染症研究所ウイルス第一部)

- P1-119** 日本脳炎ウイルス遺伝子型1に対する単クローナル抗体の性状解析とその応用  
下田 宙<sup>1)</sup>、木村 菜穂<sup>1)</sup>、野口 慧多<sup>1)</sup>、寺田 豊<sup>1)</sup>、長尾 裕美子<sup>1)</sup>、高橋 慧<sup>2)</sup>、高崎 智彦<sup>3)</sup>、近藤 高志<sup>4)</sup>、下島 昌幸<sup>1)</sup>、前田 健<sup>1)</sup>  
1)山口大学 共同獣医学部 獣医微生物、2)東京大学 医科学研究所 感染免疫部門 ウイルス感染分野、3)国立感染症研究所 ウイルス一部、4)JRA 総研栃木支所

- P1-120** 2010、2011年に長崎県で発生した日本脳炎に関する疫学解析  
吉川 亮<sup>1,2)</sup>、徳田 昌紘<sup>3)</sup>、池田 秀樹<sup>4)</sup>、山口 顕徳<sup>1)</sup>、北川 由美香<sup>1)</sup>、鍋島 武<sup>2)</sup>、井上 真吾<sup>2)</sup>、森田 公一<sup>2)</sup>、吾郷 昌信<sup>1,2)</sup>  
1)長崎県環境保健研究センター、2)長崎大学 熱帯医学研究所 ウイルス学分野、3)独立行政法人 国立病院機構 長崎医療センター、4)長崎県五島中央病院
- P1-121** 日本脳炎ウイルス非感受性細胞におけるウイルス複製阻害機構の解析  
石川 知弘、関口 裕美、増田 道明  
獨協医科大学 医学部 微生物学講座
- P1-122** 日本脳炎ウイルス感染マウスにおける脳炎発症にかかわる脳内浸潤T細胞の解析  
白井 顕治<sup>1,2,3)</sup>、北浦 一孝<sup>1,2)</sup>、早坂 大輔<sup>4)</sup>、高崎 智彦<sup>1)</sup>、鈴木 隆二<sup>2)</sup>、倉根 一郎<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 ウイルス第一部、2)独立行政法人 国立病院機構 相模原病院 臨床研究センター、3)筑波大学 人間総合科学研究科 生命システム医学、4)長崎大学 熱帯医学研究所 ウイルス学分野 GCOE プログラム
- P1-123** 成人における日本脳炎ワクチンに対する抗体応答とその持続効果  
青山 幾子、弓指 孝博、加瀬 哲男、高橋 和郎  
大阪府立公衆衛生研究所 感染症部
- P1-124** 石川県内豚舎周辺で採集したコガタアカイエカからの日本脳炎ウイルス分離 (2005-2012年度)  
村上学、竹上 勉  
金沢医科大学 総合医学研究所 生命科学研究領域
- P1-125** Post-entry neutralization of Chikungunya virus by a monoclonal antibody  
岡林 環樹<sup>1)</sup>、Orapim Puiprom<sup>1)</sup>、Promsin Masarinoul<sup>1)</sup>、Panjaporn Chaichana<sup>1)</sup>、黒須 剛<sup>3)</sup>、Pongrama Ramasoota<sup>2)</sup>、松浦 善治<sup>4)</sup>  
1)マヒドン大学 熱帯医学部 マヒドン - 大阪感染症センター (MOCID)、2)Center of Excellence for Antibody Research, Faculty of Tropical Medicine, Mahidol University、3)大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、4)大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス分野
- P1-126** いわゆる臨床検体三点セットを用いた風疹ウイルス検出状況  
内野 清子<sup>1)</sup>、三好 龍也<sup>1)</sup>、森 嘉生<sup>2)</sup>、駒瀬 勝啓<sup>2)</sup>、田中 智之<sup>1)</sup>  
1)堺市衛生研究所、2)国立感染症研究所 ウイルス第三部
- P1-127** 大阪府内における2012年風疹患者発生状況  
倉田 貴子<sup>1)</sup>、加瀬 哲男<sup>1)</sup>、高橋 和郎<sup>1)</sup>、西村 公志<sup>1)</sup>、松井 陽子<sup>2)</sup>、伊達 啓子<sup>2)</sup>、大平 文人<sup>2)</sup>、熊井 優子<sup>2)</sup>  
1)大阪府立公衆衛生研究所 感染症部 ウイルス課、2)大阪府健康医療部 保健医療室 地域保健感染症課 感染症グループ
- P1-128** 風疹ウイルスワクチン株の温度感受性とモルモットにおける抗体誘導能の関連性  
岡本 貴世子、大槻 紀之、坂田 真史、森 嘉生、竹田 誠  
国立感染症研究所
- P1-129** BALB/cマウスを用いた脳炎関連フラビウイルスの病原性の比較  
永田 典代<sup>1)</sup>、岩田 奈織子<sup>1)</sup>、早坂 大輔<sup>2)</sup>、佐藤 由子<sup>1)</sup>、小島 朝人<sup>1)</sup>、佐多 徹太郎<sup>1)</sup>、長谷川 秀樹<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 感染病理部、2)長崎大学 熱帯医学研究所
- P1-130** ウイルスRNA安定保存キットの評価  
小滝 徹、モイ メンリン、田島 茂、高崎 智彦  
国立感染症研究所 ウイルス第一部
- P1-131** ヴァーチャルスクリーニングを用いた NS5 メチルトランスフェラーゼ阻害剤リード化合物の探索  
Panyajai Parnuphan<sup>1)</sup>、川下 理日人<sup>1,2)</sup>、岡本 晃典<sup>1)</sup>、安永 照雄<sup>2)</sup>、高木 達也<sup>1,2)</sup>  
1)大阪大学大学院 薬学研究科 情報・計量薬学分野、2)大阪大学 微生物病研究所附属遺伝情報実験センター ゲノム情報解析分野

- P1-132 霊長類動物におけるパラインフルエンザウイルスの疫学調査**  
佐々木 道仁<sup>1)</sup>、石井 秋宏<sup>2)</sup>、大場 靖子<sup>1)</sup>、トーマス 由佳<sup>2)</sup>、小川 寛人<sup>2)</sup>、中村 一郎<sup>3)</sup>、木村 享史<sup>1)</sup>、澤 洋文<sup>1,4)</sup>  
1)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 分子病態・診断部門、  
2)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター ザンビア拠点、  
3)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 国際協力・教育部門、4)北海道大学 グローバル COE プログラム
- P1-133 パラインフルエンザウイルス感染マウスにおける*Lactococcus lactis* JCM5805株(プラズマ乳酸菌)摂取の効果**  
城内 健太<sup>1,2)</sup>、杉村 哲<sup>2)</sup>、大塩 木乃実<sup>2)</sup>、藤原 大介<sup>2)</sup>  
1)小岩井乳業 開発センター、2)キリンホールディングス フロンティア技術研究所
- P1-134 ヒトパラインフルエンザウイルス3型全長HNタンパク質を封入した経鼻投与型リポソームワクチンの開発**  
松永 智子<sup>1)</sup>、泉地 恭輔<sup>1)</sup>、松尾 泉<sup>1)</sup>、塚越 博之<sup>2)</sup>、木村 博一<sup>3)</sup>、梁 明秀<sup>1)</sup>  
1)横浜市立大学 医学部 微生物学、2)群馬県衛生環境研究所 保健科学グループ、3)国立感染症研究所 感染症情報センター
- P1-135 牛パラインフルエンザ弱毒生ワクチンBN-CE株および野外分離株BN-1株の遺伝子解析**  
大倉 喬<sup>1)</sup>、小西 美佐子<sup>2)</sup>、亀山 健一郎<sup>2)</sup>、竹内 薫<sup>1)</sup>  
1)筑波大学 医学医療系、2)動物衛生研究所
- P1-136 麻疹ウイルスP蛋白質に対するリン酸化の機能解析**  
菅井 亮宏<sup>1)</sup>、佐藤 宏樹<sup>2)</sup>、甲斐 知恵子<sup>1,2)</sup>  
1)東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター、2)東京大学 医科学研究所 実験動物研究施設
- P1-137 ヒト化マウスの麻疹ウイルスベクター評価系への応用**  
池野 翔太<sup>1,2)</sup>、寺原 和孝<sup>1)</sup>、石毛 真行<sup>1)</sup>、鈴木 基臣<sup>1)</sup>、光木 裕也<sup>1,3)</sup>、森川 裕子<sup>2)</sup>、中山 哲夫<sup>2)</sup>、横田 恭子<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 免疫部 第1室、2)北里大学大学院 感染制御科学府、3)財団法人 エイズ予防財団
- P1-138 麻疹ウイルスN蛋白質発現トランスジェニックマウスの作出**  
権 賢貞<sup>1)</sup>、本田 知之<sup>1)</sup>、南部 あや<sup>2,3)</sup>、新井 哲郎<sup>1)</sup>、宮川 敦士<sup>1)</sup>、佐藤 宏樹<sup>1)</sup>、中江 進<sup>2,3)</sup>、米田 美佐子<sup>1)</sup>、甲斐 知恵子<sup>1)</sup>  
1)東京大学 医科学研究所 実験動物研究施設、2)東京大学 医科学研究所 フロンティア研究拠点、  
3)東京大学 医科学研究所 システム疾患研究センター システムズバイオロジー研究分野
- P1-139 ヒト化マウスを用いた麻疹ウイルス感染モデルマウスの作製**  
木村 英樹、竹内 薫、永田 恭介  
筑波大学 医学医療系
- P1-140 牛痘ウイルスgenomic promoter領域の種特異的病原性発現への関与**  
中村 俊之、今井 千恵子、藤田 賢太郎、石井 美穂、池田 房子、佐藤 宏樹、米田 美佐子、甲斐 知恵子  
東京大学 医科学研究所 実験動物研究施設部門

## ポスター発表

18:00~19:00

## パラミクソ(2)

座長：入江 崇(広島大学医歯薬保健学研究院)

- P1-141 野外イヌジステンパーウイルスはヒトNectin4を受容体として利用できる**  
大槻 紀之<sup>1)</sup>、関塚 剛史<sup>2)</sup>、關 文緒<sup>1)</sup>、酒井 宏治<sup>1)</sup>、久保田 耐<sup>1)</sup>、福原 秀雄<sup>3)</sup>、前仲 勝実<sup>3)</sup>、山口 良二<sup>4)</sup>、黒田 誠<sup>2)</sup>、竹田 誠<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第三部、2) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター、3) 北海道大学 薬学研究院 生体分子機能学、4) 宮崎大学 獣医病理学研究室
- P1-142 イヌジステンパーウイルスの上皮および中枢神経感染におけるイヌNectin4の利用**  
關 文緒<sup>1)</sup>、Pratakpiriya Watanyoo<sup>2)</sup>、大槻 紀之<sup>1)</sup>、酒井 宏治<sup>1)</sup>、福原 秀雄<sup>3)</sup>、前仲 勝実<sup>3)</sup>、山口 良二<sup>2)</sup>、竹田 誠<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第三部、2) 宮崎大学 農学部 獣医学科、3) 北海道大学院 薬学研究院 生体分子機能学
- P1-143 モービリウイルス感染による宿主遺伝子発現抑制**  
佐藤 宏樹、菅井 亮宏、米田 美佐子、甲斐 知恵子  
東京大学 医科学研究所 実験動物研究施設
- P1-144 センダイウイルスC蛋白質欠損ウイルスの欠損復帰メカニズム**  
吉田 明日香、坂口 剛正、入江 崇  
広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 ウイルス学
- P1-145 パラミクソウイルスC蛋白質とIRF7依存性インターフェロン産生シグナル**  
山口 まゆ<sup>1)</sup>、北川 善紀<sup>1)</sup>、周 敏<sup>1)</sup>、小松 孝行<sup>2)</sup>、竹内 健司<sup>3)</sup>、伊藤 正恵<sup>4)</sup>、後藤 敏<sup>1)</sup>  
1) 滋賀医科大学 病理学講座微生物感染症学部門、2) 愛知医科大学 医学部 微生物・免疫学講座、3) 福井大学 医学部 病因病態医学講座 微生物学領域、4) 長浜バイオ大学 微生物学研究室
- P1-146 ホルマリン不活化RSVワクチン失敗モデルの評価**  
澤田 成史、中山 哲夫  
北里大学 北里生命科学研究所 ウイルス感染制御学1室
- P1-147 有機リン系殺虫剤メタミドホスの周産期曝露によるRSウイルス感染免疫への影響**  
柴田 麻美<sup>1)</sup>、黒木 奈緒<sup>1)</sup>、本郷 聡子<sup>1)</sup>、吉田 裕樹<sup>1)</sup>、紺野 克彦<sup>1)</sup>、広瀬 明彦<sup>2)</sup>、黒川 昌彦<sup>1)</sup>、渡辺 渡<sup>1)</sup>  
1) 九州保健福祉大学 薬学部、2) 国立医薬品食品衛生研究所
- P1-148 ヒトメタニューモウイルス中和抗体価迅速測定法の開発**  
周 敏<sup>1)</sup>、北川 善紀<sup>1)</sup>、内山 知佳<sup>1)</sup>、山口 まゆ<sup>1)</sup>、伊藤 正恵<sup>2)</sup>、後藤 敏<sup>1)</sup>  
1) 滋賀医科大学 病理学講座 微生物感染症学部門、2) 長浜バイオ大学 バイオサイエンス研究科 微生物学研究室
- P1-149 ニパウイルス 3'UTRによる遺伝子発現制御機構の解析**  
日野 公洋、佐藤 宏樹、加藤 昌彦、米田 美佐子、甲斐 知恵子  
東京大学 医科学研究所 実験動物研究施設

2日目 11月14日(水)

## A会場

一般口演

9:00~10:15

トガ、フラビ(3)

座長：小西 英二(大阪大学微生物研究所)

高崎 智彦(国立感染症研究所ウイルス第一部)

**02-A-01** Analysis of antibodies against dengue virus NS1 derived from mouse and dengue virus infected patientsOMOKOKO MAGOT<sup>1)</sup>、MASRINOUL Promsin<sup>1)</sup>、SETTHAPRAMOTE Chayanee<sup>2,4)</sup>、佐々木 正大<sup>1,4)</sup>、  
KUHARA Motoki<sup>3,4)</sup>、RAMASOOTA Pongraman<sup>2,4)</sup>、生田 和良<sup>1,4)</sup>、黒須 剛<sup>1,4)</sup>1)大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、2)Mahidol University、3)株式会社医学生物学研究所、  
4)JST/JICA SATREPS**02-A-02** Immunogenicity of DNA Vaccine Containing Premembrane and Envelope Genes of Dengue Virus Type 2 Indonesian IsolateT. Mirawati Sudiro<sup>1)</sup>、Rina Yunita<sup>1)</sup>、Dwi Hilda Putri<sup>1)</sup>、Ungke Antonjaya<sup>1)</sup>、Fithriyah Sjatha<sup>1,2)</sup>、  
Beti E Dewi<sup>1)</sup>、Andriansjah Rukmana<sup>1)</sup>、Mustaqim Lardi<sup>1)</sup>、Pratiwi Sudarmono<sup>1)</sup>、小西 英二<sup>3)</sup>

1)インドネシア大学 医学部 微生物学研究室、2)神戸大学大学院 医学研究科 附属感染症センター、3)大阪大学 微生物病研究所

**02-A-03** Dengue virus E protein domain III substitution on Japanese encephalitis DNA vaccine reduced induction of enhancing antibodies in miceFithriyah Sjatha<sup>1)</sup>、桑原 三和<sup>2)</sup>、T.Mirawati Sudiro<sup>3)</sup>、小西 英二<sup>4)</sup>

1)神戸大学大学院 医学研究科、2)神戸大学大学院 保健学研究科、3)インドネシア大学 医学部、4)大阪大学 微生物病研究所

**02-A-04** Role of antibodies in dengue protective immunity and infection during secondary infection of marmosetsモイ メンリン<sup>1)</sup>、大松 勉<sup>1)</sup>、高崎 智彦<sup>1)</sup>、中村 紳一郎<sup>2)</sup>、網 康至<sup>3)</sup>、片貝 祐子<sup>4)</sup>、須崎 百合子<sup>3)</sup>、  
明里 宏文<sup>5)</sup>、倉根 一郎<sup>1)</sup>1)国立感染症研究所 ウイルス第一部、2)滋賀医科大学 動物生命科学研究センター、3)国立感染症研究所 動物管理室、  
4)予防衛生協会、5)京都大学 霊長類研究所**02-A-05** マーモセットを用いたチクングニアウイルスの霊長類モデルの検討林 昌宏<sup>1)</sup>、網 康至<sup>2)</sup>、藤井 克樹<sup>1,3)</sup>、北浦 和孝<sup>1,3)</sup>、モイ メンリン<sup>1)</sup>、白井 顕治<sup>1,3)</sup>、小滝 徹<sup>1)</sup>、  
須崎 百合子<sup>2)</sup>、森川 茂<sup>1)</sup>、西條 政幸<sup>1)</sup>、鈴木 隆二<sup>1,3)</sup>、倉根 一郎<sup>1)</sup>、高崎 智彦<sup>1)</sup>

1)国立感染症研究所 ウイルス第一部、2)国立感染症研究所 動物管理室、3)国立相模原病院 臨床研究センター 診断治療研究室

特別講演 2

10:30~11:30

座長：松浦 善治(大阪大学微生物病研究所)

**PL-2** Dengue epidemiology, research on vaccine trial and therapeutic development in Thailand

Pratap Singhasivanon

Faculty of Tropical Medicine, Mahidol University 420/6 Ratchawittee Road, Ratchadheewe, Bangkok 10400, Thailand.

## 特別シンポジウム

13:00~15:00

## ウイルス学におけるdual use

座長：吉倉 廣(日本学術会議)

倉田 毅(国際医療福祉大学 塩谷病院)

- SS-1 Dual-use dilemmaの拡大と生命科学領域への波及  
山田 憲彦  
防衛省 航空幕僚監部 首席衛生官、空将補
- SS-2 ウイルスを含む病原体研究のデュアルユース(二面的利用性)問題について-日本学術会議より-  
岡本 尚  
名古屋市立大学大学院 医学研究科 細胞分子生物学
- SS-3 ゲノムの多様性創出工学と生命科学・生命工学におけるデュアルユース問題  
原島 俊  
大阪大学大学院 工学研究科・日本生物工学会
- SS-4 ウイルス学研究におけるDual Use Research と Dual Use Research of Concern  
河岡 義裕  
東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 感染症国際研究センター

## シンポジウム3

15:15~17:30

## インフルエンザ研究

座長：中屋 隆明(京都府立医科大学)

高橋 和郎(大阪府立公衆衛生研究所)

- S3-1 パンデミック(H1N1)2009の教訓と新型インフルエンザ事前準備・緊急対応体制の再構築  
田代 真人  
国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター
- S3-2 スペイン風邪ウイルスの病原性発現機構の解析  
渡辺 登喜子  
科学技術振興機構 ERATO 河岡感染宿主応答ネットワークプロジェクト
- S3-3 エジプトにおけるH5N1高病原性鳥インフルエンザウイルスの多様化について  
渡邊 洋平  
大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野
- S3-4 東南アジアと日本におけるH5N1亜型高病原性鳥インフルエンザの発生について  
西藤 岳彦  
(独)農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所ウイルス・疫学研究領域、岐阜大学大学院連合獣医学研究科
- S3-5 H5N1高病原性鳥インフルエンザウイルス(HPAIV)の猖獗をどうする  
喜田 宏  
北海道大学大学院 獣医学研究科、同大人獣共通感染症リサーチセンター

## 一般口演

17:30~18:45

## オルソミクソ(8)

座長：黒田 和道(日本大学医学部)

渡邊 洋平(大阪大学微生物病研究所)

## 02-A-06 Nuclear distribution gene Cはインフルエンザウイルス増殖過程に関与する

石井 嵩<sup>1)</sup>、藤井 裕子<sup>2)</sup>、渡邊 登喜子<sup>2)</sup>、五藤 秀男<sup>1)</sup>、尾山 大明<sup>3)</sup>、秦 裕子<sup>3)</sup>、河岡 義裕<sup>1,2)</sup>1) 東京大学医科学研究所 ウイルス感染分野、2) ERATO河岡プロジェクト、  
3) 東京大学医科学研究所 疾患プロテオミクスラボラトリー

## 02-A-07 A型インフルエンザウイルス感染によるムチン型糖転移酵素GALNT3の発現制御機序と意義の解析

中村 祥子<sup>1)</sup>、堀江 真行<sup>1)</sup>、安木 真世<sup>2)</sup>、奥崎 大介<sup>3)</sup>、牧野 晶子<sup>1)</sup>、本田 知之<sup>1)</sup>、朝長 啓造<sup>1)</sup>1) 京都大学 ウイルス研究所 ヒトがんウイルス研究分野、2) 大阪府立大学 生命環境科学研究科 獣医学専攻 獣医環境科学分野、  
3) 大阪大学 微生物病研究所 分子遺伝研究分野

## 02-A-08 H5N1高病原性鳥インフルエンザウイルスのNS1のSUMO化はマウスにおける病原性に関与する

五来 武郎<sup>1)</sup>、渡辺 真治<sup>2)</sup>、木曾 真紀<sup>1)</sup>、河岡 義裕<sup>1,2)</sup>

1) 東京大学 医科学研究所 ウイルス感染分野、2) 独立行政法人科学技術振興機構 河岡感染宿主応答ネットワークプロジェクト

## 02-A-09 インフルエンザウイルスM1タンパク質と核内構造物ND10との相互作用の解析

芝田 敏克<sup>1,2)</sup>、豊澤 恵子<sup>2)</sup>、早川 智<sup>1)</sup>、山本 樹生<sup>2)</sup>、清水 一史<sup>2)</sup>、黒田 和道<sup>1)</sup>

1) 日本大学 医学部 病態病理学系 微生物学分野、2) 日本大学 医学部 産婦人科学系 産婦人科学分野

## 02-A-10 Modulatory effect of heat shock protein 70 (Hsp70) on influenza virus replication

Manzoor Rashid<sup>1)</sup>、黒田 和道<sup>2)</sup>、吉田 玲子<sup>1)</sup>、津田 祥美<sup>3)</sup>、藤倉 大輔<sup>4)</sup>、宮本 洋子<sup>1)</sup>、喜田 宏<sup>5)</sup>、  
高田 礼人<sup>1)</sup>1) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター、2) 日本大学 医学部 病態病理学系微生物学分野、  
3) Laboratory of Virology, NIAID, NIH、4) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター、  
5) 北海道大学大学院 獣医学研究科 微生物学教室

## B会場

## 一般口演

9:00~10:15

## オルソミクソ(6)

座長：西藤 岳彦((独)動物衛生研究所)

山本 典生(国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター)

## 02-B-01 日本の野鳥由来高病原性鳥インフルエンザウイルスの霊長類への感染

藤幸 知子<sup>1)</sup>、米田 美佐子<sup>1)</sup>、安井 文彦<sup>2)</sup>、倉石 武<sup>3)</sup>、服部 正策<sup>3)</sup>、権 賢貞<sup>1)</sup>、宗片 圭祐<sup>2)</sup>、木曾 有里<sup>1)</sup>、  
喜田 宏<sup>4)</sup>、小原 道法<sup>2)</sup>、甲斐 知恵子<sup>1)</sup>1) 東京大学 医科学研究所 実験動物研究施設、2) 東京都 医学総合研究所 感染制御プロジェクト、  
3) 東京大学 医科学研究所 奄美病害動物研究施設、4) 北海道大学大学院 獣医学研究科

## 02-B-02 2010-11シーズンに国内の野鳥斃死体から分離されたH5N1高病原性鳥インフルエンザウイルスのカモ科鳥類に対する病原性と伝播能の解析

曾田 公輔<sup>1)</sup>、笛吹 達史<sup>1,2)</sup>、宇野 有紀子<sup>2)</sup>、永井 泰子<sup>2)</sup>、尾崎 弘一<sup>1,2)</sup>、山本 直樹<sup>3)</sup>、岡松 正敏<sup>3)</sup>、  
迫田 義博<sup>3)</sup>、磯田 典和<sup>4)</sup>、高田 礼人<sup>4)</sup>、伊藤 啓史<sup>1,2)</sup>、山口 剛士<sup>1,2)</sup>、伊藤 壽啓<sup>1,2)</sup>1) 鳥取大学 農学部 附属鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター、2) 鳥取大学 農学部 獣医学科、3) 北海道大学 獣医学研究科、  
4) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

## 02-B-03 ベトナムの家禽から分離されたインフルエンザウイルスの遺伝子と抗原性の解析

西 達也<sup>1)</sup>、岡松 正敏<sup>1)</sup>、野村 直樹<sup>1)</sup>、山本 直樹<sup>1)</sup>、Hoang Nam Van<sup>2)</sup>、Nguyen Long Van<sup>2)</sup>、  
Chu Huy Duc<sup>2)</sup>、Tien Tien Ngoc<sup>2)</sup>、櫻井 健二<sup>3)</sup>、迫田 義博<sup>1)</sup>、喜田 宏<sup>1,4)</sup>1) 北海道大学大学院 獣医学研究科 微生物学教室、2) Ministry of Agriculture and Rural Development, Vietnam、  
3) 国際獣疫事務局 アジア太平洋地域事務所、4) 北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

**O2-B-04** インフルエンザウイルス「H1N1 pdm09」の増殖能の経年変化

常城 朱乃、景山 誠二  
鳥取大学 医学部 感染制御学講座 ウイルス学分野

**O2-B-05** 遺伝子解析からみた仙台ならびにフィリピンで分離されたC型インフルエンザウイルスの相違

小田切 崇<sup>1,2)</sup>、松崎 葉子<sup>2)</sup>、岡本 道子<sup>1)</sup>、鈴木 陽<sup>1)</sup>、西村 秀一<sup>3)</sup>、本郷 誠治<sup>2)</sup>、押谷 仁<sup>1)</sup>  
1) 東北大学大学院 医学系研究科 微生物学分野、2) 山形大学 医学部 感染症学講座、  
3) 国立病院機構 仙台医療センター ウイルスセンター

## 一般口演

10:15~11:30

## オルソミクソ(7)

座長：永田 恭介(筑波大学人間総合科学研究科)  
迫田 義博(北海道大学獣医学研究科)

**O2-B-06** インフルエンザウイルスのPB2サブユニットによるRNAポリメラーゼの阻害効果

柏木 孝仁、原 好勇、今村 宜寛、濱田 信之、渡邊 浩  
久留米大学 医学部 感染医学講座 臨床感染医学部門

**O2-B-07** インフルエンザウイルスRNA依存性RNA合成酵素のPB2サブユニットにおける自己アセチル化能の構造学および機能学的解析

畠山 大、廣田 丈典、柳澤 伸、長江 萌菜美、庄司 正樹、葛原 隆  
徳島文理大学 薬学部 生化学教室

**O2-B-08** インフルエンザウイルスRNPの活性発現にはPB2-PAの組み合わせが重要である。

原 好勇、中園 陽子、柏木 孝仁、今村 宜寛、濱田 信之、渡邊 浩  
久留米大学 医学部 感染医学講座 臨床感染医学部門

**O2-B-09** インフルエンザウイルスのPB1-F2により誘導されるカスパーゼ非依存的アポトーシスにおける sulfatideの関与

鈴木 隆、高橋 忠伸  
静岡県立大学 薬学部 生化学分野

**O2-B-10** pandemic 2009(H1N1)インフルエンザウイルスの病原性に関わる因子の同定

浦木 隆太<sup>1)</sup>、木曾 真紀<sup>1)</sup>、新矢 恭子<sup>2)</sup>、五藤 秀男<sup>3)</sup>、高野 量<sup>1)</sup>、岩附(堀本) 研子<sup>1)</sup>、渡辺 登喜子<sup>4)</sup>、河岡 義裕<sup>1,4,5)</sup>  
1) 東京大学 医科学研究所 ウイルス感染分野、2) 神戸大学大学院 医学研究科、3) 和歌山県立医科大学 医学部 微生物教室、  
4) ERATO 河岡感染宿主応答ネットワークプロジェクト、5) 東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター

## 一般口演

13:00~14:15

## ランチ(5)

座長：藤田 美歌子(熊本大学薬学部)  
鈴 伸也(熊本大学エイズ学研究センター)

**O2-B-11** Vpx発現におけるC末端ポリプロリンモチーフの機能の解析

三宅 在子<sup>1)</sup>、藤野 悠那<sup>2)</sup>、古賀 涼子<sup>2)</sup>、川村 宗吾<sup>2)</sup>、大出 裕高<sup>3)</sup>、岩谷 靖雅<sup>3)</sup>、野間口 雅子<sup>1)</sup>、大塚 雅巳<sup>2)</sup>、足立 昭夫<sup>1)</sup>、藤田 美歌子<sup>4)</sup>、宮崎 恭行<sup>1)</sup>  
1) 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 微生物病原学分野、  
2) 熊本大学大学院 生命科学研究部 生体機能分子合成学分野、3) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター、  
4) 熊本大学 薬学部 附属創薬研究センター

- 02-B-12 HIV-2 Vpxに不活化される抗ウイルス宿主因子の探索**  
小山 貴芳、Arias Juan F.、岩部 幸枝、長谷川 秀樹、徳永 研三  
国立感染症研究所 感染病理部
- 02-B-13 SAMHD1非依存的なHIV-2 Vpxの機能**  
藤田 美歌子<sup>1)</sup>、野間口 雅子<sup>2)</sup>、古賀 涼子<sup>3)</sup>、藤野 悠那<sup>3)</sup>、大塚 雅巳<sup>3)</sup>、足立 昭夫<sup>2)</sup>  
1) 熊本大学 薬学部 附属創薬研究センター、2) 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 微生物病原学分野、  
3) 熊本大学大学院 生命科学研究部 生体機能分子合成学分野
- 02-B-14 SAMHD1のHIV感染抑制活性におけるSAMドメインの機能**  
重松 小百合、林 日出喜、松山 俊文、久保 嘉直  
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 感染防御因子解析学研究室
- 02-B-15 Genetic and functional analyses of HIV-1 Nef in elite controllers**  
上野 貴将<sup>1)</sup>、Mwimanzi Philip<sup>1)</sup>、Markle Tristan<sup>2)</sup>、緒方 陽子<sup>1)</sup>、徳永 美知代<sup>1,2)</sup>、Mahiti Macdonald<sup>1)</sup>、  
三浦 聡之<sup>3)</sup>、Pereyra Florencia<sup>4)</sup>、Walker Bruce<sup>4)</sup>、Brumme Zabrina<sup>2)</sup>、Brockman Mark<sup>2)</sup>  
1) 熊本大学 エイズ学研究センター、2) Simon Fraser University, Canada、3) 東京大学 医科学研究所、  
4) Ragon Institute of Massachusetts General Hospital

## 一般口演

14:15~15:15

## ランチ(6)

座長：佐藤 彰彦(塩野義製薬 創薬疾患研究所)  
村上 努(国立感染症研究所)

- 02-B-16 高度ダルナビル耐性HIV-1の分子機序の解明**  
大出 裕高<sup>1)</sup>、鈴木 康二<sup>1,2)</sup>、藤野 真之<sup>3)</sup>、前島 雅美<sup>1)</sup>、木村 雄貴<sup>1,2)</sup>、正岡 崇志<sup>1)</sup>、服部 純子<sup>1)</sup>、  
横幕 能行<sup>1)</sup>、鈴木 淳巨<sup>2)</sup>、渡邊 信久<sup>2)</sup>、岩谷 靖雅<sup>1,4)</sup>、杉浦 互<sup>1,4)</sup>  
1) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター、2) 名古屋大学大学院 工学研究科、  
3) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、4) 名古屋大学大学院 医学系研究科
- 02-B-17 Antiviral Characteristics of S/GSK1265744, an HIV integrase inhibitor (INI) dosed by oral or long-acting parenteral injection**  
関 貴弘<sup>1)</sup>、吉永 智一<sup>1)</sup>、小林 雅典<sup>1)</sup>、川筋 孝<sup>1)</sup>、大司 照彦<sup>2)</sup>、佐藤 彰彦<sup>1)</sup>、藤原 民雄<sup>3)</sup>、B Johns<sup>4)</sup>、  
R Hazen<sup>4)</sup>、R Ferris<sup>4)</sup>、M Underwood<sup>4)</sup>  
1) 塩野義製薬 創薬疾患研究所 感染症部門、2) 塩野義製薬 医薬開発部、3) 塩野義製薬 Global development office、  
4) グラクソスミスクライン
- 02-B-18 HIV-1MA/CA部分ペプチドの細胞内導入による新規HIV-1複製制御法の探索**  
村上 努<sup>1)</sup>、高野 皓<sup>2,3)</sup>、藤野 真之<sup>1)</sup>、鳴海 哲夫<sup>2)</sup>、相川 春夫<sup>2)</sup>、橋本 智恵<sup>2,4)</sup>、野村 渉<sup>2)</sup>、山本 直樹<sup>5)</sup>、  
玉村 啓和<sup>2)</sup>  
1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、2) 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所、  
3) 東京医科歯科大学大学院 歯医学総合研究科、4) 東京医科歯科大学大学院 疾患生命科学研究所、  
5) 国立シンガポール大学 医学部
- 02-B-19 再生医療によるHIV/AIDS遺伝子細胞治療法の開発に向けた技術基盤の構築**  
武田 哲<sup>1)</sup>、駒野 淳<sup>2)</sup>  
1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、2) 大阪府立衛生研究所 感染症部 ウイルス課

## シンポジウム4

15:15~17:30

## 抗ウイルス剤の開発

座長：上田 啓次(大阪大学医学系研究科)  
白木 公康(富山大学医学部)

- S4-1** 漢方薬の作用と抗ウイルス薬の開発について  
白木 公康  
富山大学 医学部ウイルス学
- S4-2** 種々の作用点を標的とした抗HIV剤  
玉村 啓和  
東京医科歯科大学 生体材料工学研究所
- S4-3** 新規抗C型肝炎ウイルス剤による治療の現状  
黒崎 雅之  
武蔵野赤十字病院消化器科
- S4-4** 抗ウイルス薬の研究・開発(耐性ウイルスプロファイルの向上を目指して)  
佐藤 彰彦  
塩野義製薬 創薬疾患研究所感染症部門長
- S4-5** HIV感染症とエイズの治療薬の開発～有機化学・薬理学・ウイルス学・結晶解析学・臨床科学を糾合させて～  
満屋 裕明  
熊本大学大学院 生命科学研究部 血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部、国立国際医療研究センター・臨床研究センター

## 一般口演

17:30~18:30

## ランチ(7)

座長：松岡 佐織(国立感染症研究所エイズ研究センター)  
滝口 雅文(熊本大学エイズ学研究センター)

- O2-B-20** SIV感染アカゲザルにおける各ウイルスタンパク抗原特異的CTL反応の網羅的解析  
石井 洋<sup>1,2)</sup>、野村 拓志<sup>1,2)</sup>、高橋 尚史<sup>1,2)</sup>、高原 悠佑<sup>1,2)</sup>、松岡 佐織<sup>1)</sup>、俣野 哲朗<sup>1,2)</sup>  
1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、2) 東京大学 医科学研究所
- O2-B-21** サルエイズモデルにおけるワクチンのsubdominant CTL誘導効果の解析  
岩本 南<sup>1)</sup>、高橋 尚史<sup>1,2)</sup>、野村 拓志<sup>1,2)</sup>、山本 浩之<sup>2)</sup>、俣野 哲朗<sup>1,2)</sup>  
1) 東京大学 医科学研究所、2) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- O2-B-22** SIV複製抑制マカクサルにおけるCTL逃避変異体の選択による複製抑制破綻機構の解析  
野村 拓志<sup>1,2)</sup>、山本 浩之<sup>1)</sup>、明里 宏文<sup>3)</sup>、俣野 哲朗<sup>1,2)</sup>  
1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、2) 東京大学 医科学研究所附属病院 エイズワクチン開発担当分野、  
3) 京都大学 霊長類研究所 人類進化モデル研究センター
- O2-B-23** ビルマ産アカゲザルエイズモデルにおける細胞傷害性Tリンパ球のT細胞受容体遺伝子の同定  
栗原 京子<sup>1)</sup>、石井 洋<sup>1,2)</sup>、松岡 佐織<sup>1)</sup>、上野 貴将<sup>3)</sup>、滝口 雅文<sup>3)</sup>、俣野 哲朗<sup>1,2)</sup>  
1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、2) 東京大学 医科学研究所、3) 熊本大学 エイズ学研究センター

## C会場

## 一般口演

9:00~10:30

## ブニヤ、アレナ

座長：神谷 亘(大阪大学微生物病研究所)

西條 政幸(国立感染症研究所ウイルス第一部)

- 02-C-01** 肺水腫を呈すハンタウイルス感染SCIDマウスに於ける好中球の役割  
駒 貴明<sup>1)</sup>、永田 典代<sup>2)</sup>、吉松 組子<sup>1)</sup>、佐藤 由子<sup>2)</sup>、清水 健太<sup>1)</sup>、天田 貴子<sup>1)</sup>、西尾 佐奈恵<sup>1)</sup>、  
長谷川 秀樹<sup>2)</sup>、有川 二郎<sup>1)</sup>  
1)北海道大学大学院 医学研究科 微生物学講座病原微生物学分野、2)国立感染症研究所 感染病理部
- 02-C-02** 新たに分離されたHokkaidoウイルスの性状解析  
真田 崇弘<sup>1)</sup>、尾崎 由佳<sup>1)</sup>、瀬戸 隆弘<sup>1)</sup>、中尾 桃子<sup>1)</sup>、Saasa Ngonda<sup>1)</sup>、吉松 組子<sup>2)</sup>、有川 二郎<sup>2)</sup>、  
好井 健太郎<sup>1)</sup>、苺和 宏明<sup>1)</sup>  
1)北海道大学大学院 獣医学研究科 公衆衛生学、2)北海道大学大学院 医学研究科 病原微生物学
- 02-C-03** The N-terminus of the Montano hantavirus nucleocapsid protein possesses broadly cross-reactive conformation-dependent epitopes  
Saasa Ngonda<sup>1)</sup>、吉田 喜香<sup>1)</sup>、清水 健太<sup>2)</sup>、Sanchez-Hernandez Cornelio<sup>3)</sup>、  
Romero-Almaraz Maria de Lourdes<sup>3)</sup>、駒 貴明<sup>2)</sup>、真田 崇弘<sup>1)</sup>、瀬戸 隆弘<sup>1)</sup>、好井 健太郎<sup>1)</sup>、  
Ramos Celso<sup>4)</sup>、吉松 組子<sup>2)</sup>、有川 二郎<sup>2)</sup>、高島 郁夫<sup>1)</sup>、苺和 宏明<sup>1)</sup>  
1)北海道大学大学院 獣医学研究科 公衆衛生学教室、2)北海道大学大学院 医学研究科 病原微生物部門、  
3)メキシコ国立自治大学、4)メキシコ国立公衆衛生学研究所
- 02-C-04** ザンビア共和国におけるアレナウイルスの疫学調査と新規LCMV様ウイルスの系統解析  
石井 秋宏、トーマス 由佳、高田 礼人、中村 一郎、澤 洋文  
北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター
- 02-C-05** シュードタイプVSVを用いたルジョウイルスの細胞侵入機構の解析  
谷 英樹<sup>1)</sup>、伊波 興一郎<sup>1)</sup>、谷口 怜<sup>1)</sup>、吉河 智城<sup>1)</sup>、福土 秀悦<sup>1)</sup>、西條 政幸<sup>1)</sup>、森川 茂<sup>2)</sup>  
1)国立感染症研究所 ウイルス第一部、2)国立感染症研究所 獣医科学部
- 02-C-06** リフトバレー熱ウイルスのRNAゲノムパッケージングシグナルの同定  
村上 晋<sup>1,2)</sup>、寺崎 香織<sup>1)</sup>、Narayanan Krishna<sup>1)</sup>、牧野 伸治<sup>1)</sup>  
1)テキサス大学 医学部 ガルベストーン校、2)東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター

## 一般口演

13:00~13:45

## プリオン

座長：堀内 基広(北海道大学大学院獣医学研究科)

坂口 末廣(徳島大学疾患酵素学研究中心)

- 02-C-07** プリオン感染CD14ノックアウトマウスにおけるミクログリアの活性化とPrP<sup>Sc</sup>沈着の解析  
長谷部 理絵、燕木 洋之、鈴木 章夫、山崎 剛士、堀内 基広  
北海道大学大学院 獣医学研究科 獣医衛生学教室
- 02-C-08** 抗原への二価結合により付与されるmAb132のPrP<sup>Sc</sup>特異性  
鈴木 章夫、山崎 剛士、長谷部 理絵、堀内 基広  
北海道大学大学院 獣医学研究科 応用獣医学講座 獣医衛生学教室
- 02-C-09** RT-QUIC法を用いたヒトプリオンサンプル中のSeeding Activityの測定  
高月 英恵、新 竜一郎、佐野 和憲、佐藤 克也、西田 教行  
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科

## 一般口演

13:45~14:15

## ボルナ

座長：水谷 哲也(東京農工大学国際家畜感染症防疫研究教育センター)  
西野 佳以(京都産業大学総合生命科学部)

## O2-C-10 ボルナ病ウイルス核内構造物の存在意義の解明

本田 知之、松本 祐介、牧野 晶子、藤野 寛、惣福 梢、中村 祥子、朝長 啓造  
京都大学 ウイルス研究所 ヒトがんウイルス研究分野

## O2-C-11 ヒト由来内在性ボルナウイルス様ヌクレオプロテイン-2の機能解明

藤野 寛、堀江 真行、本田 知之、惣福 梢、朝長 啓造  
京都大学 ウイルス研究所 ヒトがんウイルス研究分野

## 一般口演

14:15~15:15

## パラミクソ(1)

座長：後藤 敏(滋賀医科大学)  
竹内 薫(筑波大学人間総合科学研究科)

## O2-C-12 造血幹細胞移植病棟にみられたパラインフルエンザウイルス3型感染症流行の分子疫学的解析

垣内 五月<sup>1)</sup>、木下(山口) 一美<sup>2)</sup>、伊藤(高山) 睦代<sup>2)</sup>、西村 秀一<sup>3)</sup>、林 昌宏<sup>2)</sup>、西條 政幸<sup>2)</sup>  
1) 東京大学大学院 医学系研究科 小児医学、2) 国立感染症研究所 ウイルス第一部、3) 国立病院機構 仙台医療センター 臨床研究部

## O2-C-13 ヒト鼻粘膜上皮細胞系におけるRespiratory Syncytial virus感染によるMatrix Metalloproteinaseの増加

平川 賢史<sup>1)</sup>、小島 隆<sup>2)</sup>、小幡 和史<sup>3)</sup>、野村 一顕<sup>3)</sup>、横田 伸一<sup>4)</sup>、氷見 徹夫<sup>3)</sup>、澤田 典均<sup>2)</sup>、堤 裕幸<sup>1)</sup>  
1) 札幌医科大学 医学部 小児科学講座、2) 札幌医科大学 医学部 病理学第二講座、3) 札幌医科大学 医学部 耳鼻咽喉科講座、  
4) 札幌医科大学 医学部 微生物学講座

## O2-C-14 リバースジェネティクスによって作製したムンプスウイルスの病原性復帰と遺伝的多様性との関連性に関する研究

木所 稔<sup>1)</sup>、齋加 志津子<sup>2)</sup>、網 康至<sup>3)</sup>、須崎 百合子<sup>3)</sup>、加藤 篤<sup>4)</sup>、竹田 誠<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第三部、2) 千葉県衛生研究所 感染疫学研究室、3) 国立感染症研究所 動物管理室、  
4) 国立感染症研究所 放射能管理室

## O2-C-15 麻疹ウイルス持続感染細胞におけるミトコンドリア機能の解析

高橋 めぐみ、渡理 英二、高橋 秀実  
日本医科大学 医学部 微生物免疫

## 一般口演

17:30~18:30

## パラミクソ(2)

座長：坂口 剛正(広島大学医歯薬保健学研究所)  
西尾 真智子(和歌山県立医科大学医学部)

## 02-C-16 RIG-Iシグナルにおける新たな自然免疫応答抑制機構の解析

山田 大翔<sup>1)</sup>、堀本 啓大<sup>1,2)</sup>、早川 清雄<sup>1)</sup>、大和 弘明<sup>1,2)</sup>、太宰 昌佳<sup>1,2)</sup>、高岡 見教<sup>1)</sup>

1)北海道大学 遺伝子病制御研究所 分子生体防御分野、2)北海道大学大学院 医学研究科 内科学講座 消化器内科学分野

## 02-C-17 TLR7/9依存性インターフェロン産生抑制におけるV蛋白質とTRAF6の相互作用の重要性

北川 善紀<sup>1)</sup>、山口 まゆ<sup>1)</sup>、小松 孝行<sup>2)</sup>、周 敏<sup>1)</sup>、竹内 健司<sup>3)</sup>、西尾 真智子<sup>4)</sup>、伊藤 正恵<sup>5)</sup>、後藤 敏<sup>1)</sup>

1)滋賀医科大学 医学部 病理学講座 微生物感染症学部門、2)愛知医科大学 医学部 微生物・免疫学講座、

3)福井大学 医学部 病院病態医学講座 微生物学領域、4)和歌山県立医科大学 医学部 微生物学教室、

5)長浜バイオ大学 バイオサイエンス学科 微生物学研究室

## 02-C-18 ヒトパラインフルエンザウイルス2型(hPIV2)V蛋白によるcaspase-1活性化抑制

西尾 真智子、太田 圭介、湯峯 奈都子、五藤 秀男

和歌山県立医科大学 医学部 微生物学教室

02-C-19 センダイウイルスにより誘導される内因性アンチセンスRNAによるヒトインターフェロン- $\alpha$ 1 遺伝子の転写後性発現調節蔣 時文<sup>1)</sup>、吉開 会美<sup>2)</sup>、西澤 幹雄<sup>2)</sup>、中村 紳一郎<sup>3)</sup>、木村 富紀<sup>1)</sup>

1)立命館大学 薬学部 薬学科、2)立命館大学 生命科学部 生命医科学科、3)滋賀医大 動物生命科学センター

## D会場

## 一般口演

9:00~10:15

## ランチ(3)

座長：増田 貴夫(東京医科歯科大学医歯学総合研究科)  
朝光 かおり(名古屋市立大学医学研究科)

## 02-D-01 HIV-1インテグラーゼの逆転写過程以前における機能を規定するN末端ドメイン構造の解析

高畑 辰郎<sup>1)</sup>、横山 勝<sup>2)</sup>、佐藤 裕徳<sup>2)</sup>、河合 剛太<sup>3)</sup>、佐藤 洋子<sup>1)</sup>、長谷川 温彦<sup>1)</sup>、神奈木 真理<sup>1)</sup>、  
増田 貴夫<sup>1)</sup>

1)東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科、2)国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター、

3)千葉工業大学工学部生命環境科学科

## 02-D-02 HIV-1インテグラーゼC末端領域の1塩基置換によるウイルス複製制御機構の解析

野間口 雅子、三宅 在子、土肥 直哉、藤原 佐知、宮崎 恭行、足立 昭夫

徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 微生物病原学分野

## 02-D-03 HIV-1 TatとCyclinT1の相互作用機構

朝光 かおり<sup>1)</sup>、森 祐多朗<sup>1)</sup>、広川 貴次<sup>2)</sup>、岡本 尚<sup>1)</sup>

1)名古屋市立大学大学院 医学研究科、2)産業技術総合研究所 生命情報工学研究センター

02-D-04 NF- $\kappa$ BとSWI/SNF複合体を仲介するDPF3のHIV-1 LTRの転写制御における機能解析

石坂 彩、水谷 壮利、伊庭 英夫

東京大学 医科学研究所 宿主寄生体学分野

## 02-D-05 DDX DEAD-box RNA helicase familyによるHIV-1複製調節タンパクRev、Tatの機能制御

井上 万里子<sup>1)</sup>、黒木 美沙緒<sup>1,2,3)</sup>、有海 康雄<sup>1)</sup>

1)熊本大学 エイズ学研究センター 有海プロジェクト研究室、2)日本学術振興会特別研究員、

3)岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学

## 一般口演

10:15~11:30

## ランチ(4)

座長：岩谷 靖雅(国立病院機構名古屋医療センター)  
間 陽子(理化学研究所基幹研究所)

## O2-D-06 APOBEC3Gの酵素活性非依存的な抗HIV-1作用メカニズム

岩谷 靖雅<sup>1,2)</sup>、前島 雅美<sup>1)</sup>、北村 紳悟<sup>1,3)</sup>、大出 裕高<sup>1)</sup>、中島 雅晶<sup>1,3)</sup>、今橋 真弓<sup>1,2)</sup>、長縄 由里子<sup>1)</sup>、  
黒沢 哲平<sup>1,3)</sup>、伊部 史朗<sup>1)</sup>、横幕 能行<sup>1)</sup>、杉浦 互<sup>1,2)</sup>

1)国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター、2)名古屋大学大学院 医学系研究科、3)名古屋大学大学院 工学研究科

## O2-D-07 有袋類APOBEC1の抗レトロウイルス・レトロエレメント活性の解析

池田 輝政、福田 和美、小糸 厚

熊本大学 生命科学研究部 感染制御

## O2-D-08 Vpr依存的G2期停止におけるVprと宿主因子との分子間相互作用

博多 義之<sup>1)</sup>、宮澤 正顕<sup>1)</sup>、Landau Nathaniel<sup>2)</sup>

1)近畿大学 医学部 免疫学、2)ニューヨーク大学 医学部 微生物学部門

## O2-D-09 FucciおよびSCAT3.1を用いたHIV-1 Vprによる細胞周期停止とアポトーシス誘導のライブイメージング

村上 知行<sup>1,2)</sup>、間 陽子<sup>1,2)</sup>

1)理化学研究所 分子ウイルス学特別研究ユニット、2)東京大学 新領域創成科学研究科 感染制御分子機能解析分野

## O2-D-10 Vprの制御性T細胞特異的な消耗促進作用による生体内HIV-1増殖亢進

佐藤 佳<sup>1)</sup>、三沢 尚子<sup>2)</sup>、佐藤 賢文<sup>3)</sup>、松岡 雅雄<sup>3)</sup>、伊藤 守<sup>4)</sup>、小柳 義夫<sup>1,2)</sup>

1)京都大学 ウイルス研究所 附属新興ウイルス研究センター、2)京都大学 ウイルス研究所 ウイルス病態研究領域、

3)京都大学 ウイルス研究所 ウイルス制御研究領域、4)実験動物中央研究所

## 一般口演

15:15~16:15

## HTLV(1)

座長：藤井 雅寛(新潟大学医歯学総合研究科)  
山岡 昇司(東京医科歯科大学医歯学総合研究科)

O2-D-11 ATLLの発症における誘導型NF- $\kappa$ B制御因子I $\kappa$ B- $\zeta$ の役割

森 直樹<sup>1)</sup>、木村 竜一郎<sup>1,2)</sup>、石川 千恵<sup>1,2)</sup>、牟田 達史<sup>3)</sup>

1)琉球大学 医学研究科 微生物学・腫瘍学講座、2)琉球大学 亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構、

3)東北大学 生命科学研究科 細胞認識応答分野

O2-D-12 HTLV-1 Tax-Tgマウスにおけるp53およびNF- $\kappa$ Bの動態

大杉 剛生<sup>1)</sup>、石田 尚臣<sup>2)</sup>、島崎 達也<sup>1)</sup>、岡田 誠治<sup>3)</sup>、梅澤 一夫<sup>4)</sup>

1)熊本大学 生命資源研究・支援センター、2)東京大学 医科学研究科 アジア感染症研究拠点、3)熊本大学 エイズ学研究センター、

4)愛知医科大学 医学部

## O2-D-13 ヒトT細胞白血病ウイルス1型感染細胞の増殖とウイルス複製機構における脱ユビキチン化酵素USP20の役割

三田上 侑生、安永 純一郎、松岡 雅雄

京都大学 ウイルス研究所

## O2-D-14 HTLV-1タンパク質TaxはPolycombタンパク質EZH2との相互作用を介してエピジェネティクスの脱制御を誘導する

藤川 大<sup>1)</sup>、山岸 誠<sup>1)</sup>、黒川 直也<sup>1)</sup>、副島 あい<sup>1)</sup>、石田 尚臣<sup>2)</sup>、中野 和民<sup>1)</sup>、渡邊 俊樹<sup>1)</sup>

1)東京大学大学院 新領域創成科学研究科、2)東京大学 医科学研究科 感染症分野

## 一般口演

16:15~17:15

## HTLV(2)

座長：神奈木 真理(東京医科歯科大学医歯学総合研究科)  
藤澤 順一(関西医科大学医学部)

## 02-D-15 HTLV-1に感染したTax特異的CTL細胞株の性状解析

大橋 貴<sup>1)</sup>、田中 勇悦<sup>2)</sup>、志田 壽利<sup>1)</sup>

1)北海道大学 遺伝子病制御研究所 感染病態分野、2)琉球大学大学院 医学研究科 免疫学講座

## 02-D-16 牛白血病ウイルス (BLV) Tax蛋白質のA95VおよびL233P変異はウイルスの弱毒化と相関する

岡崎 克則、井上 恵美、大澤 宜明

北海道医療大学 薬学部 免疫微生物

## 02-D-17 Altered pattern in viral mRNA expression of Iranian type HTLV-1 leading to enhanced viral production

荀 潤澤<sup>1)</sup>、上野 孝治<sup>1)</sup>、齊藤 峰輝<sup>2)</sup>、手塚 健太<sup>1)</sup>、田中 勇悦<sup>2)</sup>、藤澤 順一<sup>1)</sup>

1)関西医科大学 医学部 微生物学講座、2)琉球大学大学院 医学研究科 免疫学講座

02-D-18 HTLV-1感染者におけるFoxP3<sup>+</sup>CD4<sup>+</sup>T細胞の異常佐藤 賢文<sup>1,2)</sup>、宇都宮 與<sup>3)</sup>、田邊 順子<sup>1)</sup>、中川 正法<sup>4)</sup>、野坂 生郷<sup>5)</sup>、松岡 雅雄<sup>1)</sup>

1)京都大学 ウイルス研究所 ウイルス制御、2)インペリアルカレッジロンドン 医学部 感染症部門 免疫学、

3)今村病院分院 血液内科、4)京都府立医科大学大学院 医学研究科 神経内科学、5)熊本大学医学部 血液内科

## 一般口演

17:15~18:15

## HTLV(3)

座長：松岡 雅雄(京都大学ウイルス研究所)  
渡邊 俊樹(東京大学医科学研究所)

## 02-D-19 HTLV-1感染T細胞のウイルス遺伝子発現に対する1型インターフェロンの効果

金原 秀一、長谷川 温彦、高森 綾子、増田 貴夫、神奈木 真理

東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 免疫治療学

## 02-D-20 HTLV-1感染ヒト化マウスを用いた抗ATL治療法の評価

手塚 健太、上野 孝治、鄭 真美、荀 潤澤、竹之内 徳博、藤澤 順一

関西医科大学 微生物学講座

## 02-D-21 サルT細胞白血病ウイルス1型のウイルス学的解析と病原性

三浦 未知<sup>1)</sup>、田邊 順子<sup>1)</sup>、菅田 謙治<sup>1)</sup>、Zhao Tiejun<sup>1)</sup>、齊藤 暁<sup>2)</sup>、安永 純一郎<sup>1)</sup>、明里 宏文<sup>2)</sup>、松岡 雅雄<sup>1)</sup>

1)京都大学 ウイルス研究所、2)京都大学 霊長類研究所

## 02-D-22 プロウイルスの物理的障害によるHTLV-1感染細胞増殖の抑制

武田 哲<sup>1)</sup>、田中 淳<sup>2)</sup>、駒野 淳<sup>3)</sup>

1)国立感染症研究所 エイズ研究センター、2)群馬大学大学院 医学系研究科、3)大阪府立公衆衛生研究所 感染症部ウイルス課

## E会場

## 一般口演

9:00~10:15

## 肝炎ウイルス(4)

座長：森石 恆司(山梨大学医学工学総合研究部)

池田 正徳(岡山大学医歯薬学総合研究科)

## O2-E-01 IL-1およびTNF-alphaのB型肝炎ウイルス感染阻害効果

渡士 幸一、内田 奈々子、大東 卓史、清原 知子、鈴木 亮介、相崎 英樹、脇田 隆字

国立感染症研究所 ウイルス第二部

## O2-E-02 C型肝炎ウイルスに感受性を示すマウス肝臓細胞株の樹立

小野 慎子、福原 崇介、塩川 舞、岡本 徹、松浦 善治

大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス分野

## O2-E-03 1b型HCVレプリコン複製細胞内のレプリコンRNAを効率よく感染性粒子としてtrans-packagingする方法

村上 優子<sup>1,2)</sup>、杉山 和夫<sup>2)</sup>、斉藤 英胤<sup>3,4)</sup>、海老沼 浩利<sup>3)</sup>、中本 伸宏<sup>3)</sup>、酒瀬川 典子<sup>3)</sup>、斉藤 聡<sup>5)</sup>、金井 隆典<sup>3)</sup>、日比 紀文<sup>3)</sup>、高久 洋<sup>1)</sup>

1) 千葉工業大学大学院 工学研究科 生命環境科学専攻、2) 慶應義塾大学 医学部 慢性肝炎治療学講座、

3) 慶應義塾大学 医学部 消化器内科、4) 慶應義塾大学 薬学部 薬物治療学、5) 横浜市立大学 医学部 消化器内科

## O2-E-04 C型肝炎ウイルスNS4Bと脂肪滴との相互作用の分子機構

田中 寅彦<sup>1)</sup>、黒田 和道<sup>2)</sup>、豊澤 恵子<sup>3)</sup>、楨島 誠<sup>1)</sup>、池田 正徳<sup>1)</sup>、加藤 宣之<sup>4)</sup>

1) 日本大学 医学部 生化学分野、2) 日本大学 医学部 微生物学分野、3) 日本大学 医学部 産婦人科学分野、

4) 岡山大学大学院 腫瘍ウイルス学分野

## O2-E-05 細胞膜セリンプロテアーゼがC型肝炎ウイルス感染感受性に関与する

江角 眞理子<sup>1)</sup>、田井 雄飛<sup>1)</sup>、山口 裕美<sup>1)</sup>、中島 聡美<sup>1)</sup>、竹田 誠<sup>2)</sup>、脇田 隆字<sup>3)</sup>

1) 日本大学 医学部 病態病理学系 病理学分野、2) 国立感染症研究所 ウイルス第三部、3) 国立感染症研究所 ウイルス第二部

## 一般口演

10:15~11:30

## 肝炎ウイルス(5)

座長：土方 誠(京都大学ウイルス研究所)

相崎 英樹(国立感染症研究所ウイルス二部)

## O2-E-06 2種類の肝細胞株(HuH-7とLi23)を用いたJFH-1株HCV感染レポーターアッセイシステムの開発と感染効率を規定する宿主因子の検討

武田 緑<sup>1)</sup>、池田 正徳<sup>1)</sup>、有海 康雄<sup>1)</sup>、脇田 隆字<sup>2)</sup>、加藤 宣之<sup>1)</sup>

1) 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学、2) 国立感染症研究所 ウイルス第二部

## O2-E-07 C型肝炎ウイルスの粒子産生に関与するヒト肝臓特異因子の解析と新規感受性細胞株の樹立

塩川 舞、福原 崇介、小野 慎子、山本 聡美、岡本 徹、松浦 善治

大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス分野

## O2-E-08 非免疫原性HCV由来ペプチドと抗PD-L1抗体結合リポソームワクチンによる慢性C型肝炎モデルマウスの免疫治療

高木 徹<sup>1)</sup>、堀内 大<sup>1)</sup>、小林 信春<sup>1)</sup>、守屋 修<sup>1)</sup>、赤塚 俊隆<sup>1)</sup>、堤 武也<sup>2)</sup>、小池 和彦<sup>2)</sup>、種市 麻衣子<sup>3)</sup>、内田 哲也<sup>3)</sup>

1) 埼玉医科大学 医学部 微生物学、2) 東京大学 医学部 消化器内科、3) 国立感染症研究所 血液・安全性研究部

## O2-E-09 C型肝炎ウイルスに対する予防および治療ワクチン開発に関する研究

姜 大鵬<sup>1)</sup>、Ratnoglik Lulut Suratno<sup>1)</sup>、青木 千恵<sup>2)</sup>、Deng Lin<sup>1)</sup>、勝二 郁夫<sup>1)</sup>、堀田 博<sup>1)</sup>

1) 神戸大学大学院 医学研究科 微生物学、2) 神戸大学大学院 医学研究科 JST/JICA SATREPS

**O2-E-10 C型肝炎ウイルスNS5AはB細胞のチロシンキナーゼFynを活性化する**

中島 謙治<sup>1,2)</sup>、竹内 健二<sup>1,3)</sup>、千原 一泰<sup>1,3)</sup>、堀口 朋子<sup>1)</sup>、孫 雪東<sup>1)</sup>、Deng Lin<sup>4)</sup>、勝二 郁夫<sup>4)</sup>、堀田 博<sup>4)</sup>、定 清直<sup>1,3)</sup>

1) 福井大学 医学部 ゲノム科学・微生物学、2) 浜松医科大学 医学部 ウイルス学・寄生虫学、  
3) 福井大学 ライフサイエンスイノベーション推進機構、4) 神戸大学大学院 医学研究科 微生物学

**一般口演**

13:00~14:15

**CMV (1)**

座長：森内 昌子(長崎大学医歯薬学総合研究科)

井上 直樹(国立感染症研究所ウイルス第一部)

**O2-E-11 モルモット妊娠動物モデルを用いたサイトメガロウイルス糖蛋白Bサブユニットワクチンの効果機序の解析**

橋本 楓<sup>1,2)</sup>、山田 壮一<sup>1)</sup>、片野 晴隆<sup>3)</sup>、福地 早希<sup>1,2)</sup>、佐藤 由子<sup>3)</sup>、森石 恆司<sup>2)</sup>、井上 直樹<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス一部、2) 山梨大 医 微生物、3) 国立感染症研究所 感染病理部

**O2-E-12 胎盤組織培養系の樹立とウイルス感染動態の解析**

山田 壮一<sup>1)</sup>、橋本 楓<sup>1,2)</sup>、福地 早希<sup>1,2)</sup>、片野 晴隆<sup>3)</sup>、佐藤 由子<sup>3)</sup>、金井 亨輔<sup>1)</sup>、井上 直樹<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス1、2) 山梨大学 医 微生物、3) 国立感染症研究所 感染病理

**O2-E-13 ヒト人工多能性幹細胞を用いた神経幹細胞への実験的HCMV感染系の確立**

中村 浩幸<sup>1)</sup>、廖 華南<sup>1)</sup>、南 佳ほり<sup>2)</sup>、阿久津 英憲<sup>2)</sup>、梅澤 明弘<sup>2)</sup>、井上 直樹<sup>3)</sup>、藤原 成悦<sup>1)</sup>

1) 国立成育医療研究センター研究所 母児感染研究部、2) 国立成育医療研究センター研究所 生殖・細胞医療研究部、  
3) 国立感染症研究所 ウイルス第一部

**O2-E-14 ヒトサイトメガロウイルス潜伏感染遺伝子ORF152が免疫機能に与える影響**

嶋田 和也、小林 伸行、清水 昭宏、近藤 一博

東京慈恵会医科大学 ウイルス学講座

**O2-E-15 ヒトサイトメガロウイルスの胎盤血管内皮細胞及び血管周囲細胞への感染と胎盤障害の病理**

小杉 伊三夫<sup>1)</sup>、坂尾 万幾子<sup>2)</sup>、新井 義文<sup>1)</sup>、河崎 秀陽<sup>1)</sup>、大月 寛郎<sup>3)</sup>、岩下 寿秀<sup>1)</sup>

1) 浜松医科大学 医学部 再生・感染病理学講座、2) 浜松医科大学 医学部 内科学第一講座、3) 聖隷浜松病院 病理診断科

**一般口演**

14:15~15:15

**CMV (2)**

座長：小杉 伊三夫(浜松医科大学医学部)

増田 道明(獨協医科大学)

**O2-E-16 サイトメガロウイルス感染によるGM2ガングリオシド合成酵素遺伝子活性化の分子機構**

増田 道明<sup>1)</sup>、加藤 みなみ<sup>1)</sup>、篠崎 由季<sup>1)</sup>、加藤 里実<sup>1)</sup>、結城 伸泰<sup>2)</sup>

1) 獨協医科大学 医学部 微生物学講座、2) シンガポール国立大学 医学部

**O2-E-17 先天性サイトメガロウイルス感染症に対するvalganciclovir治療の有効性と安全性の検討**

森内 昌子<sup>1)</sup>、森内 浩幸<sup>1,2)</sup>

1) 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 感染病態制御学、2) 長崎大学病院 小児科

**O2-E-18 経母乳感染による新生児ヒトサイトメガロウイルス (HCMV) 感染症**

田中 和生<sup>1)</sup>、柳川 容子<sup>1)</sup>、千葉 奈穂<sup>2)</sup>、幸田 力<sup>1)</sup>

1) 昭和大学 医学部 微生物学教室、2) 株式会社シノテスト 研究開発部

## O2-E-19 HIV co- receptor, ヒトサイトメガロウイルスUS28のHIV増殖に及ぼす役割

中谷 陽子、大上 厚志、清水 宣明、磯村 寛樹  
群馬大学 医学部 分子予防医学

## 教育シンポジウム2

15:15~17:30

## 病原体安全管理

座長：塩田 達雄(大阪大学微生物病研究所)

## ES2-1 感染症法に基づく病原体管理について

中嶋 建介  
厚生労働省 健康局 結核感染症課 感染症情報管理室

## ES2-2 家畜伝染病予防法の改正に伴う病原体所持に関わる規制について

伏見 啓二  
農林水産省 消費・安全局 動物衛生課

## ES2-3 遺伝子組換え実験(カルタヘナ法)：東大医科研における審査・実施の実際と最近の諸問題

斎藤 泉  
東京大学 医科学研究所 遺伝子解析施設

## ES2-4 東日本大震災における動物実験施設とバイオセーフティの対応

笠井 憲雪  
東北大学大学院 医学系研究科 附属動物実験施設

## ES2-5 感染制御の視点からとらえるバイオセーフティ

朝野 和典  
大阪大学 医学部 感染制御部

## 一般口演

17:30~18:45

## トガ、フラビ(4)

座長：中山 哲夫(北里生命科学研究所)  
黒須 剛(大阪大学微生物病研究所)

## O2-E-20 豚コレラウイルスの豚における増殖とサイトカイン応答

長島 尚史<sup>1)</sup>、迫田 義博<sup>1)</sup>、田村 友和<sup>1)</sup>、山本 直樹<sup>1)</sup>、岡松 正敏<sup>1)</sup>、Ruggli Nicolas<sup>2)</sup>、喜田 宏<sup>1,3)</sup>  
1)北海道大学大学院 獣医学研究科 微生物学教室、2)Institute of Virology and Immunoprophylaxis, Switzerland、  
3)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

O2-E-21 豚コレラウイルス非構造蛋白N<sup>pro</sup>のアミノ酸を置換したウイルスの感染に対する豚の自然免疫応答と病原性の解析

田村 友和<sup>1)</sup>、長島 尚史<sup>1)</sup>、山本 直樹<sup>1)</sup>、岡松 正敏<sup>1)</sup>、Ruggli Nicolas<sup>2)</sup>、迫田 義博<sup>1)</sup>、喜田 宏<sup>1,3)</sup>  
1)北海道大学大学院 獣医学研究科 微生物学教室、2)Institute of Virology and Immunoprophylaxis, Switzerland、  
3)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター

## O2-E-22 風疹ウイルスCタンパク質とp150タンパク質の共局在がウイルス産生へ及ぼす影響

坂田 真史、岡本 貴世子、大槻 紀之、安楽 正輝、竹田 誠、森 嘉生  
国立感染症研究所 ウイルス第三部 第2室

**02-E-23** コムギ無細胞タンパク質合成系ならびにAlphaScreenを用いた、デングウイルスのNS3-NS5タンパク質のハイスループット結合アッセイ系の構築

高橋 宏隆<sup>1)</sup>、高橋 千佳子<sup>1)</sup>、Moreland Nicole J<sup>2)</sup>、Vasudevan Subhash G<sup>2)</sup>、澤崎 達也<sup>3)</sup>、梁 明秀<sup>4)</sup>、鈴木 陽一<sup>1)</sup>、山本 直樹<sup>1)</sup>

1) 国立シンガポール大学、2) Duke- シンガポール国立大学、3) 愛媛大学 無細胞生命科学工学研究センター、4) 横浜市立大学 医学部 微生物学

**02-E-24** Identification of a novel inhibitor against dengue virus NS2B/NS3 protease by a structure-based study

Sabar Pambudi<sup>1)</sup>、川下 理日人<sup>1,2)</sup>、Supranee Phanthanawiboon<sup>1)</sup>、Promsin Masrinoul<sup>1)</sup>、Kriengsak Limkittikul<sup>3)</sup>、安永 照雄<sup>1)</sup>、高木 達也<sup>2)</sup>、生田 和良<sup>1)</sup>、黒須 剛<sup>1)</sup>

1) 大阪大学 微生物病研究所、2) 大阪大学 薬学研究科、3) マヒドン大学 熱帯医学部

## F 会場

## 一般口演

9:00~10:30

## レオ、ビルナ

座長：谷口 孝喜(藤田保健衛生大学医学部)  
中込 治(長崎大学医歯薬学総合研究科)

**02-F-01** Whole genomic analysis of a rare human G4P[10] rotavirus strain

ゴッシュ ソウビク、漆原 範子、川口谷 充代、新谷 つづみ、小林 宣道  
札幌医科大学 医学部 衛生学

**02-F-02** Reemergence of variant G3 rotavirus in Japanese pediatric patients

THONGPRACHUM AKSARA<sup>1)</sup>、沖津 祥子<sup>1,2)</sup>、早川 智<sup>2)</sup>、牛島 廣治<sup>1,2)</sup>

1) 東京大学大学院 医学系研究科 国際保健学専攻、2) 日本大学 医学部 病態病理学系 微生物学分野

**02-F-03** ノトバイオート子ブタを用いたブタB群ロタウイルスの病原性解析

鈴木 亨、山田 学、久我 和史、山本 佑、中村 菊保、宮崎 綾子、恒光 裕  
動物衛生研究所 ウイルス・疫学

**02-F-04** ヒトロタウイルスは、牛乳カッパカゼインの糖鎖構造を認識する

稲垣 瑞穂<sup>1)</sup>、村西 晴香<sup>1)</sup>、山田 佳太<sup>2)</sup>、内田 健志<sup>3)</sup>、鈴木 徹<sup>4)</sup>、矢部 富雄<sup>1,4)</sup>、中込 とよ子<sup>5)</sup>、中込 治<sup>5)</sup>、金丸 義敬<sup>1,4)</sup>

1) 岐阜大学 応用生物科学部、2) 香川大学 総合生命科学研究センター 糖質バイオ部門、3) 小林製薬株式会社 中央研究所、4) 岐阜大学大学院 連合農学研究科、5) 長崎大学大学院 医歯薬総合研究科 分子疫学

**02-F-05** ロタウイルスのVP4トリプシン開裂部位の解析

河本 聡志、富田 万祐子、谷口 孝喜  
藤田保健衛生大学 医学部 ウイルス・寄生虫学講座

**02-F-06** ブルータングウイルス (BTV) コアタンパク質VP3とVP6の結合に関する研究

松尾 栄子<sup>1,2)</sup>、Leon Esther<sup>3)</sup>、山崎 清志<sup>4)</sup>、佐伯 圭一<sup>1)</sup>、河野 潤一<sup>1)</sup>、Matthews Steve<sup>3)</sup>、鶴田 宏樹<sup>4)</sup>、Roy Polly<sup>2)</sup>

1) 神戸大学大学院 農学研究科 資源生命科学 応用動物学専攻、2) London School of Hygiene and Tropical Medicine、3) Imperial College London、4) 神戸大学 連携創造本部 応用構造科学産学連携推進センター

## 一般口演

15:00~16:30

## ピコルナ(1)

座長：大岡 静衣(東京都医学総合研究所ウイルス感染プロジェクト)  
小池 智(東京都医学総合研究所ウイルス感染プロジェクト)

- 02-F-07 ポリオウイルス受容体非依存的なポリオウイルスの取り込み・輸送機構**  
大岡 静衣<sup>1,2)</sup>、坂井 麻依<sup>1)</sup>、五十嵐 博子<sup>1)</sup>、野本 明男<sup>1,3)</sup>  
1) 東京大学大学院 医学系研究科 微生物学講座、2) 東京都医学総合研究所 ウイルス感染プロジェクト、3) 微生物化学研究所
- 02-F-08 VCP/p97はポリオウイルスの複製に必要とされる新規宿主因子であり、ウイルス感染における細胞タンパク質分泌経路に関与する**  
有田 峰太郎、脇田 隆字、清水 博之  
国立感染症研究所 ウイルス第二部 第2室
- 02-F-09 ウイルスゲノム由来の一本鎖RNAによるToll-like receptor 3活性化の解析**  
立松 恵、瀬谷 司、松本 美佐子  
北海道大学大学院 医学研究科 免疫学分野
- 02-F-10 ポリオウイルスの血液脳関門透過機構の解析**  
水谷 壮利、二瓶 浩一、山崎 学、石坂 彩、野本 明男  
財団法人 微生物化学研究会 微生物化学研究所
- 02-F-11 実験的ウイルス誘発糖尿病におけるインターフェロンレセプター関連シグナル分子の意義**  
永淵 正法  
九州大学 医学研究院 保健学部門 検査技術科学分野 病態情報学
- 02-F-12 *In vitro*におけるSaffoldウイルスの持続感染**  
姫田 敏樹、大桑 孝子、村木 靖、大原 義朗  
金沢医科大学 医学部 微生物学講座

## 一般口演

16:30~18:00

## ピコルナ(2)

座長：清水 博之(国立感染症研究所ウイルス第二部)  
吾郷 昌信(長崎県環境保健研究センター)

- 02-F-13 2つのエンテロウイルス71感染受容体SCARB2とPSGL1の機能比較**  
山吉 誠也<sup>1,2)</sup>、大岡 静衣<sup>2)</sup>、藤井 健<sup>2)</sup>、小池 智<sup>2)</sup>  
1) 東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター、2) 東京都医学総合研究所 ウイルス感染プロジェクト
- 02-F-14 EV71感受性マウスモデルの作出と解析**  
藤井 健<sup>1)</sup>、永田 典代<sup>3)</sup>、山吉 誠也<sup>1)</sup>、島貫 碧<sup>2)</sup>、設楽 浩志<sup>2)</sup>、多屋 長治<sup>2)</sup>、小池 智<sup>1)</sup>  
1) 公益財団法人東京都医学総合研究所 ゲノム医科学研究分野ウイルス感染プロジェクト、  
2) 東京都医学総合研究所 遺伝子改変動物室、3) 国立感染症研究所 感染病理部
- 02-F-15 ネパール・カトマンズ盆地の水試料を対象としたアイチウイルスの定量および遺伝子解析**  
原本 英司<sup>1)</sup>、北島 正章<sup>2)</sup>、西田 継<sup>1)</sup>  
1) 山梨大学大学院 医学工学総合研究部、2) アリゾナ大学 農学生命科学部
- 02-F-16 モンゴル国における急性胃腸炎患者からのパレコウイルス、ボカウイルス、アイチウイルスの検出**  
實方 剛<sup>1)</sup>、入谷 展弘<sup>2)</sup>、改田 厚<sup>2)</sup>、谷口 孝喜<sup>3)</sup>、油井 晶子<sup>3)</sup>、Batbaatar Gunchin<sup>4)</sup>、Gotov Choijamts<sup>4)</sup>  
1) 鳥取大学 農学部 獣医学科 獣医感染症学、2) 大阪市立環境科学研究所、3) 藤田保健衛生大学 医学部 ウイルス・寄生虫学、  
4) モンゴル健康科学大学
- 02-F-17 下水からのアイチウイルス及びイヌ由来コブウイルスの検出と遺伝子解析**  
山下 照夫、安達 啓一、廣瀬 絵美、藤原 範子、伊藤 雅、安井 善宏、小林 慎一、皆川 洋子  
愛知県衛生研究所

## O2-F-18 アイチウイルスゲノムRNA複製におけるPI4KBのキナーゼ活性の役割

佐々木 球美子、佐々木 潤、前野 芳正、守口 匡子、河本 聡志、富田 万祐子、谷口 孝喜  
藤田保健衛生大学 医学部 ウイルス寄生虫学

## ポスター会場

## ポスター発表

18:00~19:00

## ピコルナ

座長：山吉 誠也(東京大学医科学研究所)

## P2-001 発表取消

## P2-002 呼吸器感染症患者からのエンテロウイルス104型の検出および遺伝子解析

改田 厚、久保 英幸、関口 純一郎、入谷 展弘  
大阪市立環境科学研究所 微生物保健

## P2-003 エンテロウイルス感染症のchild-to-parent transmissionに関する解析

中田 恵子、尾崎 遥子、山崎 謙治、加瀬 哲男  
大阪府立公衆衛生研究所 感染症部 ウイルス課

## P2-004 下水流入水からのエンテロウイルス分離

中村 朋史<sup>1)</sup>、吉富 秀亮<sup>1)</sup>、石橋 哲也<sup>1)</sup>、前田 詠里子<sup>1)</sup>、世良 暢之<sup>1)</sup>、吉田 弘<sup>2)</sup>  
1) 福岡県保健環境研究所 保健科学部 ウイルス課、2) 国立感染症研究所 ウイルス第二部

## P2-005 小児無菌性髄膜炎患者から検出されたエンテロウイルスの分子疫学的解析

町田 早苗<sup>1)</sup>、清水 博之<sup>2)</sup>  
1) 埼玉医科大学 医学部 医学研究センター、2) 国立感染症研究所 ウイルス第二部

## P2-006 エンテロウイルス71に対するRT-LAMP法を用いた迅速診断系の開発とその臨床応用に関する研究

久保 亨<sup>1,2)</sup>、吾郷 昌信<sup>3)</sup>、森内 浩幸<sup>4)</sup>、西村 秀一<sup>5)</sup>、森田 公一<sup>1)</sup>  
1) 長崎大学 熱帯医学研究所 ウイルス学分野、2) 日本赤十字社 長崎原爆諫早病院、3) 長崎県環境保健研究センター、  
4) 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 感染症制御学分野、5) 国立病院機構 仙台医療センター 臨床研究部ウイルスセンター

## P2-007 2004年から2011年の広島市におけるヒトパレコウイルス3型の分離状況と遺伝子解析

山本 美和子<sup>1)</sup>、伊藤 文明<sup>2)</sup>、野田 衛<sup>3)</sup>  
1) 広島市衛生研究所 生物科学部、2) 広島市南保健センター、3) 国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部

## P2-008 宮城県におけるヒトパレコウイルス(HPeV)の検出状況

阿部 美和、鈴木 優子、川端 淑子、植木 洋、上村 弘、佐藤 俊郎  
宮城県保健環境センター 微生物部

## P2-009 乳幼児の遷延喘鳴に關与する呼吸器ウイルス

吉富 秀亮<sup>1)</sup>、前田 詠里子<sup>1)</sup>、中村 朋史<sup>1)</sup>、石橋 哲也<sup>1)</sup>、世良 暢之<sup>1)</sup>、松田 健太郎<sup>2)</sup>  
1) 福岡県保健環境研究所 保健科学部 ウイルス課、2) 松田小児科医院、国立成育医療研究センター

## P2-010 沖縄における急性出血性結膜炎流行例のウイルス学的解析

原田 一宏<sup>1)</sup>、ファン ジェーン<sup>1)</sup>、淵上 あき<sup>1)</sup>、小沢 昌彦<sup>1)</sup>、安里 良盛<sup>2)</sup>、内尾 英一<sup>1)</sup>  
1) 福岡大学 医学部 眼科学教室、2) 安里眼科

## P2-011 新生仔マウスにおける新規ヒトカルジオウイルス (Saffold virus)の神経病原性の解析

小谷 治<sup>1,2)</sup>、鈴木 忠樹<sup>2)</sup>、Naeem Asif<sup>3)</sup>、岩田 奈織子<sup>2)</sup>、中島 典子<sup>2)</sup>、片野 晴隆<sup>2)</sup>、田口 文広<sup>1)</sup>、  
長谷川 秀樹<sup>2)</sup>、清水 博之<sup>3)</sup>、永田 典代<sup>2)</sup>  
1) 日本獣医生命科学大学大学院 獣医生命科学部 獣医感染症、2) 国立感染症研究所 感染病理部、  
3) 国立感染症研究所 ウイルス第二部

## ポスター発表

18:00~19:00

## カリシ、アストロ、SRSV

座長：堤 裕幸(札幌医科大学)

- P2-012** 愛知県における下水中のノロウイルスの消長と遺伝子解析  
安達 啓一、藤原 範子、廣瀬 絵美、伊藤 雅、安井 善宏、小林 慎一、山下 照夫、皆川 洋子  
愛知県衛生研究所 生物学部 ウイルス研究室
- P2-013** ファージディスプレイ法により単離したヒト型抗ノロウイルス抗体の、ウイルス-血液型抗原吸着阻害活性の検討  
守口 匡子<sup>1)</sup>、白土 東子<sup>2)</sup>、染谷 雄一<sup>2)</sup>、武田 直和<sup>3)</sup>、奥野 良信<sup>4)</sup>、黒澤 良和<sup>5)</sup>、谷口 孝喜<sup>1)</sup>  
1) 藤田保健衛生大学 医学部 ウイルス・寄生虫学、  
2) 国立感染症研究所 ウイルス第二部 第1室、3) 日本・タイ感染症共同研究センター、4) 阪大微生物病研究会 観音寺研究所、  
5) 藤田保健衛生大学 総合医科学研究所 抗体プロジェクト
- P2-014** ノロウイルスにおけるキメラウイルスが感染性胃腸炎の流行に与える影響  
名古屋(小原) 真弓、板持(岩井) 雅恵、稲崎 倫子、堀元 栄詞、小淵 正次、佐多 徹太郎、滝澤 剛則  
富山県衛生研究所 ウイルス部
- P2-015** 豚小腸細胞及び豚小腸由来血球系細胞を用いたhuman noroviruses培養系確立の試み  
高梨 さやか<sup>1,2)</sup>、Kuldeep Chattha<sup>2)</sup>、Mahesh Khatri<sup>2)</sup>、Kwonil Jung<sup>2)</sup>、Anastasia Vlasova<sup>2)</sup>、  
Kelly Scheuer<sup>2)</sup>、Linda J. Saif<sup>2)</sup>、Qihong Wang<sup>2)</sup>  
1) 東京大学 医学部 発達医科学教室、2) Food Animal Health Research Program, The Ohio State University
- P2-016** 大阪市内で検出されたNorovirus GII.6の抗原性および組織血液型抗原結合能について  
勢戸 祥介<sup>1)</sup>、小川 貴史<sup>1)</sup>、今井 一人<sup>1)</sup>、入谷 展弘<sup>2)</sup>、改田 厚<sup>2)</sup>、久保 英幸<sup>2)</sup>  
1) 大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 獣医微生物学、2) 大阪市立環境科学研究所
- P2-017** 愛知県における肥育ブタからのノロウイルス検出状況 (2011/12シーズン)  
小林 慎一、藤原 範子、安井 善宏、山下 照夫、皆川 洋子  
愛知県衛生研究所 生物学部 ウイルス研究室
- P2-018** 堺市におけるキメラ型ノロウイルスの検出状況  
三好 龍也<sup>1)</sup>、内野 清子<sup>1)</sup>、本村 和嗣<sup>2)</sup>、佐藤 裕徳<sup>3)</sup>、田中 智之<sup>1)</sup>  
1) 堺市衛生研究所、2) 国立精神神経医療研究センター、3) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター
- P2-019** Multiplex real-time PCR法を利用した福井県内の胃腸炎ウイルスの検出  
小和田 和誠<sup>1)</sup>、東方 美保<sup>2)</sup>、山本 希<sup>1)</sup>、平野 映子<sup>1)</sup>、中村 雅子<sup>1)</sup>、大村 勝彦<sup>1)</sup>  
1) 福井県衛生環境研究センター、2) 福井県 健康福祉部 医薬食品・衛生課
- P2-020** 2012年4～6月に大阪市内保育所で多発した集団胃腸炎事例のウイルス学的調査  
入谷 展弘、改田 厚、山元 誠司、久保 英幸  
大阪市立環境科学研究所 微生物保健
- P2-021** サポウイルスgenogroupに特異的な単クローン抗体の作製とその解析  
北元 憲利<sup>1)</sup>、岡 智一郎<sup>2)</sup>、片山 和彦<sup>2)</sup>、三好 龍也<sup>3)</sup>、田中 智之<sup>3)</sup>  
1) 兵庫県立大学 環境人間学部、2) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、3) 堺市衛生研究所

## 肝炎ウイルス(1)

座長：小原 道法(東京都医学総合研究所)

- P2-022** 海綿動物*Amphimedon* sp.抽出画分によるHCV NS3 プロテアーゼ・ヘリカーゼ活性阻害の解析  
藤本 雄介<sup>1)</sup>、山下 篤哉<sup>1)</sup>、池田 正徳<sup>2)</sup>、加藤 宣之<sup>2)</sup>、森石 恆司<sup>1)</sup>  
1)山梨大学大学院 医学工学総合研究部 医学学域 微生物、2)岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス
- P2-023** Caffeic acid phenethyl esterとその類縁化合物によるHCVゲノム複製阻害効果の検討  
山下 篤哉、沈 暉、葛西 宏威、藤本 雄介、森石 恆司  
山梨大学大学院 医学工学総合研究部 医学学域 微生物
- P2-024** C型肝炎ウイルスのquasispecies解析  
安東 友美<sup>1)</sup>、相崎 英樹<sup>1)</sup>、杉山 真也<sup>2)</sup>、溝上 雅史<sup>2)</sup>、黒田 誠<sup>3)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 ウイルス第二部、2)国立国際医療研究センター 肝炎免疫研究センター、  
3)国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター
- P2-025** 長期間の持続感染培養肝細胞におけるHCVゲノムの自然発生的遺伝子変異の解析  
酒瀬川 典子<sup>1)</sup>、杉山 和夫<sup>2)</sup>、齋藤 英胤<sup>3)</sup>、海老沼 浩利<sup>1)</sup>、村上 優子<sup>4)</sup>、中本 伸宏<sup>1)</sup>、金井 隆典<sup>1)</sup>、  
日比 紀文<sup>1)</sup>  
1)慶應義塾大学 医学部 消化器内科、2)慶應義塾大学 医学部 慢性肝炎治療学講座、3)慶應義塾大学 薬学部 薬物治療学講座、  
4)千葉工業大学大学院 生命環境科学専攻
- P2-026** HCV-DNAワクチンの細胞性免疫誘導能とC型肝炎モデルマウスを用いた治療効果についての検討  
和田 剛<sup>1)</sup>、小原 道法<sup>2)</sup>、保富 康宏<sup>1,3)</sup>  
1)(独)医薬基盤研究所 豊長類医科学研究センター、2)東京都医学総合研究所 感染制御プロジェクト、  
3)三重大学大学院 医学系研究科 病態解明医学講座 免疫制御分野
- P2-027** C型肝炎ウイルス(HCV)複製制御に係わる宿主因子Hsp70の機能解析  
小倉 大直<sup>1)</sup>、君塚 圭亮<sup>1)</sup>、杉山 隆一<sup>1,3)</sup>、日紫喜 隆行<sup>2)</sup>、下遠野 邦忠<sup>2)</sup>、杉山 和夫<sup>4)</sup>、高久 洋<sup>1)</sup>  
1)千葉工業大学 工学研究科 生命環境科学専攻、2)千葉工業大学附属総合研究所、3)国立感染症研究所 ウイルス第二部、  
4)慶應義塾大学 医学部 慢性肝炎治療学講座
- P2-028** Prostaglandin A<sub>1</sub>を用いた抗HCV活性とその作用機序の解明  
月本 あつ子<sup>1)</sup>、杉山 隆一<sup>1,3)</sup>、鈴木 等<sup>1)</sup>、清水 裕子<sup>2)</sup>、下遠野 邦忠<sup>2)</sup>、高久 洋<sup>1)</sup>  
1)千葉工業大学大学院 生命環境科学専攻、2)千葉工業大学附属総合研究所、3)国立感染症研究所 ウイルス第二部
- P2-029** C型肝炎ウイルスの一過性感染性粒子を用いた細胞内侵入機構の解析  
松田 麻未<sup>1)</sup>、鈴木 亮介<sup>1)</sup>、渡士 幸一<sup>1)</sup>、相崎 英樹<sup>1)</sup>、松浦 善治<sup>2)</sup>、鈴木 哲朗<sup>3)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 ウイルス第二部、2)大阪大学 微生物研究所 分子ウイルス、3)浜松医科大学 医学部
- P2-030** C型肝炎ウイルスによるAPOBEC1 mRNAの安定化  
清水 裕子<sup>1)</sup>、宇治野 真之<sup>1)</sup>、西辻 裕紀<sup>1)</sup>、高久 洋<sup>2)</sup>、下遠野 邦忠<sup>1)</sup>  
1)千葉工業大学 附属総合研究所、2)千葉工業大学 工学部 生命環境科学科
- P2-031** C型慢性肝炎患者におけるインターフェロン投与直後の遺伝子発現変動  
飯島 沙幸、渡邊 綱正、田中 靖人  
名古屋市立大学大学院 医学研究科 病態医科学 ウイルス学
- P2-032** イオン交換クロマトグラフィーを用いたC型肝炎ウイルス粒子精製の検討  
横川 寛<sup>1,2)</sup>、森山 正樹<sup>1)</sup>、赤澤 大輔<sup>1)</sup>、中村 紀子<sup>1)</sup>、石井 孝司<sup>2)</sup>、加藤 孝宣<sup>2)</sup>、脇田 隆字<sup>2)</sup>  
1)東レ株式会社 医薬研究所、2)国立感染症研究所 ウイルス第二部
- P2-033** 高感染能を有するHCV JFH-1適応変異株の性状解析  
白砂 圭崇<sup>1,5)</sup>、齋藤 恭子<sup>1)</sup>、村上 裕子<sup>2)</sup>、深澤 秀輔<sup>2)</sup>、鈴木 哲朗<sup>3)</sup>、脇田 隆字<sup>4)</sup>、千葉 丈<sup>5)</sup>、安部 良<sup>6)</sup>、  
深澤 征義<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 細胞科学部、2)国立感染症研究所 生物活性物質部、3)浜松医科大学 医学部、  
4)国立感染症研究所 ウイルス第二部、5)東京理科大学大学院 基礎工学研究科、6)東京理科大学大学院 生命科学研究科

- P2-034** グリチルリチンのC型肝炎ウイルスに対する抗ウイルス作用の解析  
 松本 喜弘<sup>1,2)</sup>、渡邊 則幸<sup>1)</sup>、渡士 幸一<sup>1)</sup>、鈴木 亮介<sup>1)</sup>、松浦 知和<sup>3)</sup>、鈴木 哲朗<sup>4)</sup>、宮村 達男<sup>1)</sup>、  
 和氣 健二郎<sup>5)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>、相崎 英樹<sup>1)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、2) 東京慈恵会医科大学 消化器肝臓内科、3) 東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座、  
 4) 浜松医科大学 感染症学講座、5) ミノファーマ製薬
- P2-035** 献血者における抗HCV中和抗体の探索  
 黒石 歩、保井 一太、松倉 晴道、古田 里佳  
 日本赤十字社 近畿ブロック血液センター
- P2-036** Cloning of HCV4a full length genome (EJ1) from a chronic HCV carrier  
 Aly Ibrahim Hussein<sup>1)</sup>、加藤 孝宣<sup>1)</sup>、渡邊 則幸<sup>1)</sup>、田中 靖人<sup>2)</sup>、溝上 雅史<sup>3)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>  
 1) National Institute of Infectious Diseases, Virology 2、2) Nagoya City University, Japan、  
 3) International Medical Center, Japan
- P2-037** C型肝炎ウイルス遺伝子型2b株とJFH-1株のキメラウイルスを用いた抗ウイルス薬評価系の樹立  
 村山 麻子、加藤 孝宣、杉山 奈央、脇田 隆字  
 国立感染症研究所 ウイルス第二部
- P2-038** 血液製剤におけるC型肝炎ウイルスの不活化の検討  
 下池 貴志、野島 清子、脇田 隆字、岡田 義昭  
 国立感染症研究所

## ポスター発表

18:00~19:00

## 肝炎ウイルス(2)

座長：萩原 克郎(酪農学園大学獣医学群)

- P2-039** 異なる密度を有する2種類のE型肝炎ウイルス(HEV)について、そのウイルス学的違いの検討  
 大和田 尚<sup>1)</sup>、金子 萌<sup>1)</sup>、松本 千恵子<sup>1)</sup>、三尾 和弘<sup>2)</sup>、松林 圭二<sup>3)</sup>、五十嵐 正志<sup>1)</sup>、内田 茂治<sup>1)</sup>、  
 佐竹 正博<sup>1)</sup>、田所 憲治<sup>1)</sup>  
 1) 日本赤十字社 中央血液研究所 感染症解析部、  
 2) 産業技術総合研究所 バイオメディシナル情報研究センター タンパク質構造情報解析チーム、  
 3) 日本赤十字社 北海道ブロック血液センター 品質部
- P2-040** ニホンザルにおけるE型肝炎ウイルス感染状況  
 田中 聖一<sup>1)</sup>、山本 博<sup>2)</sup>、万年 和明<sup>1)</sup>、李 天成<sup>3)</sup>  
 1) 大分大学 全学研究推進機構 動物実験部門、2) 富山大学 生命科学先端研究センター、3) 国立感染症研究所 ウイルス第二部
- P2-041** 培養細胞から放出されたE型肝炎ウイルスの粒子表面に存在する膜成分の抗原性の解析  
 長嶋 茂雄、高橋 雅春、吉 林台、西澤 勉、小林 富成、岡本 宏明  
 自治医科大学 医学部 感染・免疫学講座 ウイルス学部門
- P2-042** 由来の異なるE型肝炎ウイルスのエタノール分画における挙動  
 高橋 一恵<sup>1)</sup>、浦山 健<sup>1,2)</sup>、服部 眞次<sup>1)</sup>、坂井 薫<sup>1)</sup>、柚木 幹弘<sup>1,2,3)</sup>、萩原 克郎<sup>3)</sup>、生田 和良<sup>2)</sup>  
 1) 株式会社ベネシス、2) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、3) 酪農学園大学 獣医学群
- P2-043** 血漿分画製剤の血漿原料におけるHEV陽性率とHEV Genotype  
 皆木 隆男<sup>1)</sup>、井手野 祥次<sup>1,2)</sup>、上田 千晶<sup>1)</sup>、高橋 一恵<sup>1)</sup>、浦山 健<sup>1,2)</sup>、服部 眞次<sup>1)</sup>、坂井 薫<sup>1)</sup>、  
 柚木 幹弘<sup>1,2,3)</sup>、萩原 克郎<sup>3)</sup>、生田 和良<sup>2)</sup>  
 1) 株式会社 ベネシス、2) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、3) 酪農学園大学 獣医学部
- P2-044** 熊本県におけるイノシシ、シカ及びブタのE型肝炎ウイルス汚染実態調査と分子疫学解析  
 原田 誠也<sup>1)</sup>、西村 浩一<sup>2)</sup>、李 天成<sup>3)</sup>、石井 孝司<sup>3)</sup>、田中 智之<sup>4)</sup>、野田 衛<sup>5)</sup>  
 1) 熊本県保健環境科学研究所 微生物科学部、2) 熊本県健康福祉部薬務衛生課、3) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、  
 4) 堺市衛生研究所、5) 国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部

- P2-045** A型肝炎ウイルスKRM238株の熱感受性評価における有用性  
服部 眞次<sup>1)</sup>、高橋 一恵<sup>1)</sup>、浦山 健<sup>1,2)</sup>、井手野 祥次<sup>1,2)</sup>、古木 理恵<sup>1)</sup>、上田 千晶<sup>1)</sup>、坂井 薫<sup>1)</sup>、  
柚木 幹弘<sup>1,2)</sup>、生田 和良<sup>2)</sup>  
1)株式会社ベネシス、2)大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野
- P2-046** 横浜市における平成22年A型肝炎流行株と環境株との関連性について  
林 宏子、熊崎 真琴、植木 聡、宇宿 秀三  
横浜市衛生研究所 検査研究課
- P2-047** HBV感染者における新規Ae/GリコンビナントHBVの解析  
小島 洋子<sup>1)</sup>、川畑 拓也<sup>1)</sup>、森 治代<sup>1)</sup>、駒野 淳<sup>1)</sup>、谷口 恭<sup>2)</sup>、井戸田 一朗<sup>3)</sup>  
1)大阪府立公衆衛生研究所 感染症部 ウイルス課、2)太融寺町谷口医院、3)しらかば診療所
- P2-048** VZV、HBV及びHCV遺伝子型多型を指標にした身元不明死体の出身地域推定法  
井之上 弘幸<sup>1,2)</sup>、斉藤 久子<sup>1)</sup>  
1)千葉大学大学院 医学研究院 法医学教室、2)千葉県警察本部刑事部科学捜査研究所
- P2-049** GBV-B感染新世界ザルの液性免疫解析  
鈴木 紗織<sup>1)</sup>、東濃 篤徳<sup>1)</sup>、森 健一<sup>2)</sup>、吉田 友教<sup>1)</sup>、齊藤 暁<sup>1)</sup>、明里 宏文<sup>1)</sup>  
1)京都大学 霊長類研究所 人類進化モデル研究センター、2)(株)先端生命科学研究所
- P2-050** タマリンを用いたHCV/GBV-Bキメラウイルス感染モデル  
東濃 篤徳<sup>1)</sup>、森 健一<sup>2)</sup>、鈴木 紗織<sup>1)</sup>、岩崎 優紀<sup>1)</sup>、吉田 友教<sup>1)</sup>、齊藤 暁<sup>1)</sup>、横 昇<sup>2)</sup>、明里 宏文<sup>1)</sup>  
1)京都大学 霊長類研究所、2)先端生命科学研究所
- P2-051** ヒト肝細胞における抗ウイルス自然免疫応答機構の解析  
津川 陽司<sup>1,2)</sup>、加藤 博己<sup>3)</sup>、藤田 尚志<sup>3)</sup>、下遠野 邦忠<sup>4)</sup>、土方 誠<sup>1,2)</sup>  
1)京都大学 ウイルス研究所 ヒトがんウイルス研究分野、2)京都大学大学院 生命科学研究所 生体動態制御学分野、  
3)京都大学 ウイルス研究所 分子遺伝学研究分野、4)千葉工業大学 付属総合研究所
- P2-052** C型肝炎ウイルスRNAによるI型とIII型インターフェロン産生機構のマウスモデル解析  
岡本 将明、押海 裕之、松本 美佐子、瀬谷 司  
北海道大学大学院 医学研究科 免疫学分野
- P2-053** 異なる細胞を用いて作製したE2タンパク質の中和抗体誘導効果  
渡邊 則幸、伊達 朋子、Aly Hussein、相崎 英樹、脇田 隆字  
国立感染症研究所 ウイルス第二部
- P2-054** Elevation of apoptosis induced by mutant DHCR24 with potential MDM2 binding motif in hepatocytes.  
徐 埼<sup>1)</sup>、原田 信志<sup>1)</sup>、小原 恭子<sup>2)</sup>  
1)熊本大学大学院 生命科学研究所 感染防御研究分野、2)鹿児島大学

## ポスター発表

18:00~19:00

## コロナ、アルテリ、レオ、ビルナ

座長：河本 聡志(藤田保健衛生大学医学部)

- P2-055** SARS-CoVのnsp1タンパク質と相互作用する宿主因子の探索  
田中 智久<sup>1)</sup>、松浦 善治<sup>2)</sup>、神谷 亘<sup>1)</sup>  
1)大阪大学 微生物病研究所 グローバル COE、2)大阪大学 微生物病研究所 分子ウイルス分野
- P2-056** SARS-CoVの粒子形成におけるS蛋白質のER retrieval signalの役割について  
氏家 誠<sup>1)</sup>、白戸 憲也<sup>2)</sup>、松山 州徳<sup>2)</sup>、田口 文広<sup>1)</sup>  
1)日本獣医生命科学大学 獣医学部 獣医学科 獣医感染症学教室、2)国立感染症研究所 ウイルス第三部4室

- P2-057 SARS-CoV感染動物モデルを用いたUV不活化SARS-CoVの副反応発生機序について**  
 岩田 奈織子<sup>1)</sup>、永田 典代<sup>1)</sup>、鈴木 忠樹<sup>1)</sup>、佐藤 由子<sup>1)</sup>、横田 恭子<sup>2)</sup>、西條 政幸<sup>3)</sup>、森川 茂<sup>4)</sup>、  
 長谷川 秀樹<sup>1)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 感染病理部、2) 国立感染症研究所 免疫部、3) 国立感染症研究所 ウイルス第一部、  
 4) 国立感染症研究所 獣医学部
- P2-058 2004年および2008年に分離されたヒトコロナウイルス(HCoV)229Eの国内分離株とATCC株との間の抗原性の違いについて**  
 白戸 憲也<sup>1)</sup>、川瀬 みゆき<sup>1)</sup>、渡邊 王志<sup>2)</sup>、広川 智香<sup>3)</sup>、松山 州徳<sup>1)</sup>、西村 秀一<sup>2)</sup>、田口 文広<sup>1,4)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 ウイルス第三部、2) 仙台医療センター ウイルスリサーチセンター、  
 3) 新潟県保健環境科学研究所 ウイルス科、4) 日本獣生命科学研究会 獣医学部
- P2-059 抗馬コロナウイルス抗体検出ELISA法の開発**  
 小西 美佐子<sup>1)</sup>、根本 学<sup>2)</sup>、牛口 仁美<sup>1)</sup>、尾宇江 康啓<sup>4)</sup>、亀山 健一郎<sup>1)</sup>、村上 賢二<sup>3)</sup>、山中 隆史<sup>2)</sup>、  
 近藤 高志<sup>2)</sup>  
 1) (独)農研機構 動物衛生研究所、2) 日本中央競馬会 競走馬総合研究所 栃木支所、  
 3) 岩手大学 農学部附属動物医学食品安全教育研究センター、4) 北海道 釧路家畜保健衛生所
- P2-060 スパイク遺伝子5'末端領域の欠損を有する猫伝染性腹膜炎ウイルスの野外での証明**  
 寺田 豊<sup>1)</sup>、下田 宙<sup>1)</sup>、野口 慧多<sup>1)</sup>、長尾 裕美子<sup>1)</sup>、Hassan Youssef<sup>1)</sup>、望月 雅美<sup>2)</sup>、水野 拓也<sup>3)</sup>、  
 下島 昌幸<sup>1)</sup>、前田 健<sup>1)</sup>  
 1) 山口大学 共同獣医学部 獣医微生物、2) 鹿児島大学 共同獣医学部 新興感染症、3) 山口大学 共同獣医学部 獣医内科
- P2-061 Whole Genomic Analysis of G3P[9] Rotaviruses from Diarrheal Patients in China**  
 小林 宣道<sup>1)</sup>、ゴッシュ ソウビック<sup>1)</sup>、新谷 つづみ<sup>1)</sup>、ワン ユアンホン<sup>2)</sup>  
 1) 札幌医科大学 医学部 衛生学、2) Wuhan Centers for Disease Prevention and Control
- P2-062 牛乳ラクトフォリンの示すヒトロタウイルス感染阻害作用 (続報)**  
 大野 翔平<sup>1)</sup>、稲垣 瑞穂<sup>1)</sup>、山田 佳太<sup>2)</sup>、矢部 富雄<sup>1,3)</sup>、鈴木 徹<sup>3)</sup>、高橋 毅<sup>4)</sup>、杉山 誠<sup>1,3)</sup>、中込 とよ子<sup>5)</sup>、  
 中込 治<sup>5)</sup>、金丸 義敬<sup>1,3)</sup>  
 1) 岐阜大学 応用生物科学部、2) 香川大学 総合生命科学研究センター 糖質バイオ部門、3) 岐阜大学大学院 連合農学研究科、  
 4) 株式会社 明治 研究本部 食機能科学研究所、5) 長崎大学大学院 医歯薬総合研究科 分子疫学
- P2-063 全遺伝子配列に基づく中国のG1P[8]ロタウイルス株の系統遺伝学的解析**  
 新谷 つづみ<sup>1)</sup>、ゴッシュ ソウビック<sup>1)</sup>、ワン ユアンホン<sup>2)</sup>、小林 宣道<sup>1)</sup>  
 1) 札幌医科大学 医学部 衛生学、2) 武漢市疾病対策予防センター
- P2-064 患者糞便及び下水の調査に基づくC群ロタウイルス流行実態の解明**  
 葛谷 光隆、濱野 雅子、木田 浩司、溝口 嘉範、藤井 理津志  
 岡山県環境保健センター ウイルス科
- P2-065 福岡県におけるA群ロタウイルス遺伝子解析**  
 石橋 哲也<sup>1)</sup>、吉富 秀亮<sup>1)</sup>、前田 詠里子<sup>1)</sup>、中村 朋史<sup>1)</sup>、世良 暢之<sup>1)</sup>、千々和 勝己<sup>1)</sup>、岡田 賢司<sup>2)</sup>  
 1) 福岡県保健環境研究所、2) 国立病院機構福岡病院
- P2-066 RT-PCRによるA群ロタウイルスの全11セグメントの増幅法の構築**  
 藤井 克樹<sup>1)</sup>、下池 貴志<sup>1)</sup>、高木 弘隆<sup>2)</sup>、Dennis Francis<sup>3)</sup>、村上 耕介<sup>1)</sup>、朴 英斌<sup>1)</sup>、戸高 玲子<sup>1)</sup>、  
 脇田 隆字<sup>1)</sup>、片山 和彦<sup>1)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、2) 国立感染症研究所 バイオセーフティ管理室、3) 東京医科歯科大学 国際健康開発学講座
- P2-067 ケニアにおけるロタウイルス感染症の分子疫学**  
 前野 芳正<sup>1)</sup>、萩野 倫子<sup>2)</sup>、河本 聡志<sup>1)</sup>、和久田 光毅<sup>1)</sup>、富田 万祐子<sup>1)</sup>、石川 球美子<sup>1)</sup>、佐々木 潤<sup>1)</sup>、  
 守口 匡子<sup>1)</sup>、谷口 孝喜<sup>1)</sup>、一瀬 休生<sup>2)</sup>  
 1) 藤田保健衛生大学 医学部 ウイルス・寄生虫学、2) 長崎大学熱帯医学研究所 ケニア拠点
- P2-068 A群ロタウイルス(RVA)の分離・増殖における感受性細胞株のクローニングによる検討**  
 高木 弘隆<sup>1)</sup>、藤井 克樹<sup>2)</sup>、村上 耕介<sup>2)</sup>、戸高 玲子<sup>2)</sup>、下池 貴志<sup>2)</sup>、小林 宣道<sup>3)</sup>、片山 和彦<sup>2)</sup>  
 1) 国立感染症研究所 バイオセーフティ管理室、2) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、3) 札幌医科大学 医学部 衛生学講座
- P2-069 我が国で検出されたG5P[6]ヒトロタウイルスRyukyu-1120株ゲノムの全塩基配列の解析**  
 富田 万祐子、河本 聡志、前野 芳正、谷口 孝喜  
 藤田保健衛生大学 医学部 ウイルス・寄生虫学講座

## P2-070 レオウイルスゲノムを鋳型とした効率的なcDNA合成法

坂井 健太郎<sup>1)</sup>、三森 重孝<sup>2)</sup>、三股 亮太郎<sup>2)</sup>、小林 輝一<sup>2)</sup>、黒澤 大介<sup>1)</sup>

1) デンカ生研株式会社 新潟工場 ワクチン品質管理部、2) デンカ生研株式会社 新潟工場 ワクチン研究部

## ポスター発表

18:00~19:00

## ラブド、フィロ、ボルナ、プニア、アレナ

座長：飛梅 実(国立感染症研究所感染病理部)

## P2-071 Gタンパク質へのN型糖鎖の追加が狂犬病ウイルス街上毒の増殖性・病原性に与える影響

山田 健太郎<sup>1)</sup>、野口 賀津子<sup>1)</sup>、西園 晃<sup>1,2)</sup>

1) 大分大学 全学研究推進機構、2) 大分大学 医学部 微生物学講座

## P2-072 アゾール系抗真菌剤の狂犬病ウイルスに対する抗ウイルス活性について

河合 明彦

(財)生産開発科学研究所 分子微生物研究室

## P2-073 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン国家検定法における3Rsの導入

伊藤(高山) 陸代<sup>1)</sup>、中道 一生<sup>1)</sup>、林 昌宏<sup>1)</sup>、山口(木下) 一美<sup>1)</sup>、垣内 五月<sup>1,2)</sup>、王 麗欣<sup>1)</sup>、倉根 一郎<sup>1)</sup>、西條 政幸<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第一部、2) 東京大学大学院 医学系研究科 小児医学

## P2-074 狂犬病ウイルス抗原の口腔内局在の病理学的探索

飛梅 実<sup>1)</sup>、井上 智<sup>2)</sup>、野口 章<sup>2)</sup>、濱本 紀子<sup>2)</sup>、長谷川 秀樹<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 感染病理部、2) 国立感染症研究所 獣医化学部

## P2-075 レストンエボラウイルス自然感染カニクイザルにおける免疫応答の解析

谷口 怜<sup>1,2,3)</sup>、佐山 勇輔<sup>2)</sup>、永田 典代<sup>4)</sup>、飯塚 愛恵<sup>2)</sup>、谷 英樹<sup>2)</sup>、吉河 智城<sup>2)</sup>、福士 秀悦<sup>2)</sup>、西條 政幸<sup>2)</sup>、久和 茂<sup>1)</sup>、森川 茂<sup>3)</sup>

1) 東京大学大学院 農学生命科学研究科 獣医学専攻、2) 国立感染症研究所 ウイルス一部、3) 国立感染症研究所 獣医科学部、4) 国立感染症研究所 感染病理部

## P2-076 ヒトTetherin発現トランスジェニックマウスの作出

福間 藍子<sup>1,2)</sup>、武田 英里<sup>2)</sup>、安田 二郎<sup>2)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第一部第1室、2) 長崎大学 熱帯医学研究所 新興感染症学分野

## P2-077 内在性ボルナウイルス様Nエレメント1の転写制御機構の解明

惣福 梢、本田 知之、藤野 寛、堀江 真行、朝長 啓造

京都大学 ウイルス研究所 ヒトがんウイルス研究分野

## P2-078 マイナス鎖RNAウイルスの菌類への感染の可能性

近藤 秀樹、千葉 壮太郎、鈴木 信弘

岡山大学 資源植物科学研究所

## P2-079 イムノクロマト法による抗ハンタウイルス抗体の迅速抗体検出法の開発

天田 貴子<sup>1)</sup>、吉松 組子<sup>1)</sup>、安田 俊平<sup>1)</sup>、清水 健太<sup>1)</sup>、駒 貴明<sup>1)</sup>、林元 展人<sup>2)</sup>、高倉 彰<sup>2)</sup>、有川 二郎<sup>1)</sup>

1) 北海道大学大学院 医学研究科、2) 実験動物中央研究所

## P2-080 腎症候性出血熱の動物モデルの開発と病態発現機構の解析

清水 健太、吉松 組子、駒 貴明、天田 貴子、西尾 佐奈恵、有川 二郎

北海道大学 医学研究科 病原微生物学分野

## P2-081 エゾヤチネズミの腎臓由来細胞株(MRK101細胞)におけるインターフェロン応答の解析

中尾 桃子<sup>1)</sup>、真田 崇弘<sup>1)</sup>、佐々木 宣哉<sup>2)</sup>、サーサ ンゴンダ<sup>1)</sup>、好井 健太郎<sup>1)</sup>、亀山 武志<sup>3)</sup>、高岡 晃教<sup>3)</sup>、莉和 宏明<sup>1)</sup>

1) 北海道大学 獣医学部 獣医学科 公衆衛生学、2) 北海道大学 獣医学部 獣医学科 実験動物学、3) 北海道大学 遺伝子病制御研究所

- P2-082** 日本のマダニ類における新種のブニヤウイルス (SFTSV)保有調査とSFTSV血清学的診断法の開発  
 富士 秀悦<sup>1)</sup>、新倉 綾<sup>2)</sup>、谷 英樹<sup>1)</sup>、吉河 智城<sup>1)</sup>、伊波 興一郎<sup>1)</sup>、谷口 怜<sup>1)</sup>、緒方 もも子<sup>1)</sup>、西條 政幸<sup>1)</sup>、森川 茂<sup>3)</sup>  
 1)国立感染症研究所 ウイルス第一部、2)国立感染症研究所 動物管理室、3)国立感染症研究所 獣医科学部
- P2-083** 牛異常産関連オルソブニヤウイルスを検出するためのリアルタイムRT-PCR法の開発  
 白藤 浩明<sup>1)</sup>、梁瀬 徹<sup>1)</sup>、山川 陸<sup>2)</sup>  
 1)農研機構 動物衛生研究所 温暖地疾病研究領域(九州支所)、2)農研機構 動物衛生研究所 ウイルス・疫学研究領域

## ポスター発表

18:00~19:00

## HSV、VZV、HHV6・7・8

座長：安川 正貴(愛媛大学医学系研究科)

- P2-084** 単純ヘルペスウイルス1型ゲノム上の安定した反復配列である reiteration VIIの多様性  
 梅根 健一<sup>1)</sup>、吉田 正己<sup>2)</sup>、服巻 保幸<sup>3)</sup>  
 1)福岡女子大学 人間環境学部 栄養健康科学科、2)東邦大学 医療センター佐倉病院 皮膚科、3)九州大学 生体防御医学研究所 遺伝情報実験センター
- P2-085** 抑制療法中の性器ヘルペス患者から分離された単純ヘルペス2型のTK塩基配列および薬剤耐性  
 粥川 貴文、丹内 秀典、奥川 慶子、程 ろ霏、山崎 優華、大黒 徹、奥田 智子、白木 公康  
 富山大学 医学部 医学科
- P2-086** 培養細胞におけるヘルペスウイルス感染に対するソノポレーションの効果  
 奥長 秀介<sup>1)</sup>、飯井 孝年<sup>1)</sup>、高橋 元<sup>2)</sup>、新谷 素子<sup>3)</sup>  
 1)大阪大学大学院 歯学研究所 顎口腔病態制御学講座 口腔外科学第二教室、2)松阪市民病院、3)天理よろづ相談所病院
- P2-087** ポリフェノールによる単純ヘルペスウイルス増殖の阻害  
 辻本 和子<sup>1)</sup>、西出 充徳<sup>1)</sup>、池田 敬子<sup>2)</sup>、魚崎 操<sup>3)</sup>、山崎 尚<sup>4)</sup>、入江 宏<sup>5)</sup>、小山 一<sup>1)</sup>  
 1)和歌山信愛女子短期大学 生活文化学科 食物栄養専攻、2)和歌山県立医科大学 保健看護学部、3)日本赤十字社和歌山医療センター 看護部、4)和歌山県立医科大学大学院 医学研究科 ウイルス学分野、5)帝京大学 医療技術学部
- P2-088** マウス卵巣癌腹腔播種モデルにおけるHSV-1 HF10とマウスGM-CSFアンプリコンを用いた治療効果の検討  
 五島 典<sup>1)</sup>、江崎 伸一<sup>1,2)</sup>、武藤 義文<sup>1)</sup>、岩田 誠子<sup>1)</sup>、鎌倉 真紀<sup>1)</sup>、渡辺 大輔<sup>3)</sup>、木村 宏<sup>1)</sup>、西山 幸廣<sup>1)</sup>  
 1)名古屋大学大学院 医学系研究科 ウイルス学、2)名古屋市立大学大学院 耳鼻咽喉 頭頸部外科、3)愛知医科大学 皮膚科学教室
- P2-089** 水痘帯状疱疹ウイルスの糖蛋白gHに対する抗体が引き起こす抗原変調作用の解析  
 武本 眞清<sup>1)</sup>、大黒 徹<sup>1)</sup>、吉田 与志博<sup>1)</sup>、浅野 喜造<sup>2)</sup>、白木 公康<sup>1)</sup>  
 1)富山大学 医学薬学研究部(医学) ウイルス学、2)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター
- P2-090** 抗gH抗体によるVZV潜伏感染誘導時の転写産物の解析  
 大黒 徹、武本 眞清、白木 公康  
 富山大学 医学薬学研究部 ウイルス学
- P2-091** 微酸性アルギニンのウイルス不活化作用機構についての解析  
 池田 敬子<sup>1)</sup>、辻本 和子<sup>2)</sup>、山崎 尚<sup>3)</sup>、魚崎 操<sup>4)</sup>、西出 充徳<sup>2)</sup>、小山 一<sup>2)</sup>  
 1)和歌山県立医科大学 保健看護学部、2)和歌山信愛女子短期大学 生活文化学科 食物栄養専攻、3)和歌山県立医科大学大学院 医学研究科 ウイルス学分野、4)日本赤十字社和歌山医療センター 看護部
- P2-092** 造血幹細胞移植患者におけるHHV-6B再活性化とGVHD biomarker  
 大橋 正博<sup>1)</sup>、河村 吉紀<sup>1)</sup>、井平 勝<sup>2)</sup>、横畠 絵美<sup>3)</sup>、宮村 耕一<sup>3)</sup>、吉川 哲史<sup>1)</sup>  
 1)藤田保健衛生大学 医学部 小児科、2)藤田保健衛生大学 医療科学部臨床工学科、3)名古屋第一赤十字病院 血液内科

- P2-093** 臨床分離株におけるQプローブ法によるガンシクロビル耐性HHV-6Bのスクリーニング  
平松 裕之<sup>1,2)</sup>、鈴木 竜太<sup>1,2)</sup>、井平 勝<sup>2,3)</sup>、伊勢川 裕二<sup>4)</sup>、吉川 哲史<sup>2)</sup>  
1) 藤田保健衛生大学病院 薬剤部、2) 藤田保健衛生大学 医学部 小児科学、3) 藤田保健衛生大学 医療科学部 臨床工学科、  
4) 武庫川女子大学 食物栄養学科
- P2-094** 最近のヒトヘルペスウイルス6初感染時期の高月齢化傾向  
山田 雅夫<sup>1)</sup>、鳥越 貞義<sup>2)</sup>、渡辺 正博<sup>3)</sup>  
1) 岡山大学 医歯薬学総合研究科 病原ウイルス学、2) アクエア・メディカル・ステーション、3) すずかこどもクリニック
- P2-095** HHV-6Bテグメント蛋白質の単独発現系による細胞内局在解析  
難波 ひかる、山下 信子、山田 雅夫  
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科
- P2-096** 原発性滲出液リンパ腫に対するエピガロカテキンガレートによる抗腫瘍効果の検討  
矢島 琢己、後藤 裕樹、岡田 誠治  
熊本大学 エイズ学研究センター
- P2-097** KSHV 細胞間感染のメカニズムの探索  
菅野 隆行、長谷川 秀樹、片野 晴隆  
国立感染症研究所 感染病理部
- P2-098** サンゴ由来成分ヒップリスタノールの原発性体腔液性リンパ腫に対する治療効果  
石川 千恵<sup>1,2)</sup>、田中 淳一<sup>3)</sup>、森 直樹<sup>2)</sup>  
1) 琉球大学 亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構、2) 琉球大学大学院 医学研究科 微生物学・腫瘍学講座、  
3) 琉球大学 理学部 海洋自然科学科

## ポスター発表

18:00~19:00

## EBV、その他のヘルペス、ポックス、パピローマ

座長：木村 宏(名古屋大学医学系研究科)

- P2-099** Epstein-Barrウイルス (EBV) 感染細胞が放出するエクソソームの上皮細胞における取り込み機構の解析  
川西 絵理<sup>1)</sup>、吉田 龍司<sup>2)</sup>、高田 賢藏<sup>3)</sup>、南保 明日香<sup>1)</sup>  
1) 北海道大学大学院 薬学研究院 衛生化学、2) 北海道大学大学院 医学研究科 免疫学分野、3) (株) イーベック
- P2-100** 慢性活動性EBウイルス感染症におけるEBウイルス由来miRNAの血漿中バイオマーカーとしての応用  
河野 好彦<sup>1)</sup>、岩田 誠子<sup>2)</sup>、川田 潤一<sup>1)</sup>、神谷 泰子<sup>1)</sup>、鈴木 道雄<sup>1)</sup>、鳥居 ゆか<sup>1)</sup>、木村 宏<sup>2)</sup>、伊藤 嘉規<sup>1)</sup>  
1) 名古屋大学大学院 医学系研究科 小児科学、2) 名古屋大学大学院 医学系研究科 ウイルス学
- P2-101** EBV-LMP1が誘導するSiah1および低酸素関連因子の上咽頭癌組織における発現解析  
近藤 悟  
金沢大学 医学部 感覚運動病態学
- P2-102** EBV陽性上皮様細胞株のEBV産生能の検討  
小林 了、角田 修次、江原 友子、松本 哲哉  
東京医科大学 医学部 微生物学講座
- P2-103** ヒト化マウスを用いたEBウイルス関連リンパ増殖性疾患に対する免疫細胞治療のモデル実験  
松田 剛<sup>1)</sup>、今留 謙一<sup>1)</sup>、矢島 美彩子<sup>1)</sup>、落合 央<sup>2)</sup>、望月 雅司<sup>1)</sup>、川野 布由子<sup>1)</sup>、山田 千尋<sup>1)</sup>、  
今井 由美<sup>1)</sup>、濱崎 霞<sup>1)</sup>、浅田 恵理子<sup>1)</sup>、原口 摩耶<sup>1)</sup>、千葉 祐規乃<sup>1)</sup>、清水 則夫<sup>3)</sup>、駒野 淳<sup>4)</sup>、  
山本 直樹<sup>4)</sup>、藤原 成悦<sup>1)</sup>  
1) (独) 国立成育医療研究センター 母児感染研究部、2) (株) リンフォテック、3) 東京医科歯科大学 難治疾患研究所、  
4) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

- P2-104** EBV-歯周病原細菌相互作用による潜伏感染EBVの再活性化と病態への関与  
今井 健一、落合 邦康  
日本大学 歯学部 細菌
- P2-105** EBウイルス感染B細胞株の再活性化後期におけるEBER1とgp350/ 220の局在：72A1抗体を用いたP3HR-1細胞株の蛍光染色  
長田 佳子<sup>1)</sup>、檜垣 克美<sup>2)</sup>、中山 祐二<sup>2)</sup>、金井 亨輔<sup>3)</sup>、宮内 裕美<sup>2)</sup>、桐谷 唯<sup>1)</sup>、佐野 仁志<sup>1)</sup>、加藤 郁<sup>1)</sup>、木村 宏<sup>4)</sup>、林 一彦<sup>1)</sup>  
1)鳥取大学 医学部 分子病理学、2)鳥取大学 生命機能研究支援センター 遺伝子探索分野、3)国立感染症研究所 ウイルス第一部、4)名古屋大学 大学院医学系研究科 分子総合医学専攻 微生物免疫学講座ウイルス学分野
- P2-106** 慢性活動性EBV感染症患者のT/B細胞活性についてのPCR array解析  
村上 雅尚<sup>1)</sup>、今城 雅之<sup>1)</sup>、前田 明彦<sup>2)</sup>、上岡 樹生<sup>3)</sup>、千田 康敬<sup>4)</sup>、佐藤 哲也<sup>2)</sup>、藤枝 幹也<sup>2)</sup>、脇口 宏<sup>2)</sup>、大畑 雅典<sup>1)</sup>  
1)高知大学 教育研究部 医療学系 基礎医学部門 微生物学講座、2)高知大学 教育研究部 医療学系 臨床医学部門 小児思春期医学、3)高知大学 教育研究部 医療学系 病態情報診断学、4)高知大学 医学部 医学科
- P2-107** EBV感染マウスにおけるγグロブリンの癌抑制効果  
田島 マサ子<sup>1)</sup>、松田 梨恵<sup>2)</sup>、坂本 吉正<sup>3)</sup>、中村 麻美<sup>3)</sup>、山道 信毅<sup>2)</sup>、福島 亮治<sup>1)</sup>、沖永 功太<sup>1)</sup>  
1)帝京大学 医学部 外科、2)東京大学 医学部 消化器内科、3)帝京大学 中央動物施設
- P2-108** ウマヘルペスウイルス1型テグメントタンパク質VP22の機能解析  
福士 秀人、奥田 秀子、井爪 聡子  
岐阜大学 応用生物科学部 獣医微生物学講座
- P2-109** ザンビアの野生動物におけるオルソボックスウイルス感染の疫学調査  
大場 靖子<sup>1)</sup>、石井 秋宏<sup>2)</sup>、トーマス 由佳<sup>2)</sup>、小川 寛人<sup>2)</sup>、中村 一郎<sup>3)</sup>、木村 享史<sup>1)</sup>、森川 茂<sup>4)</sup>、西條 政幸<sup>5)</sup>、澤 洋文<sup>1,6)</sup>  
1)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 分子病態・診断部門、2)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター ザンビア拠点、3)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 国際協力・教育部門、4)国立感染症研究所 獣医科学部、5)国立感染症研究所 ウイルス第一部、6)北海道大学グローバル COE プログラム
- P2-110** 次世代シーケンサーによるHPV16ゲノム解析  
柗元 巖<sup>1)</sup>、前濱 朝彦<sup>2)</sup>、松尾 理加<sup>1)</sup>、関塚 剛史<sup>1)</sup>、黒田 誠<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター、2)国立感染症研究所 細胞化学部
- P2-111** Virus-like particleを用いた新たなHPV16/18抗体価測定系の確立  
森 清一郎<sup>1)</sup>、松尾 理加<sup>1)</sup>、石井 克幸<sup>1)</sup>、近藤 一成<sup>2)</sup>、柗元 巖<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター、2)NTT 東日本関東病院 産婦人科
- P2-112** HPV 18 E1^E4の新規機能の探索  
梶谷 直子<sup>1,2)</sup>、川手 章史<sup>1,3)</sup>、酒井 博幸<sup>1)</sup>  
1)京都大学 ウイルス研究所 がん遺伝子研究分野、2)京都大学大学院 生命科学研究科、3)京都大学大学院 医学研究科

## ポスター発表

18:00~19:00

## CMV

座長：南嶋 洋一(古賀総合病院)

- P2-113** リアルタイムPCR法を用いたHCMV UL144遺伝子の遺伝子型識別および定量法の開発  
藤田 和将<sup>1)</sup>、上野 智規<sup>1)</sup>、片野 晴隆<sup>2)</sup>、後藤 希代子<sup>1,2)</sup>  
1)株式会社ニッピ バイオマトリックス研究所、2)国立感染症研究所 感染病理部
- P2-114** Ganciclovirとtricinによる抗ヒトサイトメガロウイルス作用の相乗効果  
村山 次哉<sup>1)</sup>、須田 英揮<sup>1)</sup>、馬場 昌範<sup>2)</sup>、土田 裕三<sup>3)</sup>、山田 理恵<sup>1)</sup>、定成 秀貴<sup>1)</sup>  
1)北陸大学 薬学部、2)鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 難治ウイルス病態制御研究センター、3)鳳凰堂

- P2-115** サイトメガロウイルス感染を確認する迅速検出法の検討  
柳川 容子<sup>1)</sup>、幸田 力<sup>1)</sup>、田中 和生<sup>1)</sup>、千葉 奈穂<sup>2)</sup>  
1) 昭和大学 医学部 微生物学、2) 株式会社シノテスト 研究開発部
- P2-116** Smart Amplification法を用いた尿中サイトメガロウイルスの迅速検出方法の開発  
幸田 力<sup>1)</sup>、千葉 奈穂<sup>2)</sup>、柳川 容子<sup>1)</sup>、田中 和生<sup>1)</sup>  
1) 昭和大学 医学部 微生物学、2) 株式会社シノテスト
- P2-117** CMVの薬剤感受性にかかわるUL97とUL54の塩基配列の早期決定  
相原 隆充、大黒 徹、白木 公康  
富山大学大学院 医学薬学研究所 ウイルス学
- P2-118** ヒトサイトメガロウイルス (HCMV) の初期-後期遺伝子と後期遺伝子のプロモーター活性を利用した抗HCMV剤検索システムの検討  
定成 秀貴<sup>1)</sup>、長尾 嘉真<sup>2)</sup>、三谷 逸人<sup>2)</sup>、安井 真一<sup>2)</sup>、山田 理恵<sup>2)</sup>、村山 次哉<sup>2)</sup>  
1) 北陸大学 教育能力開発センター、2) 北陸大学 薬学部 生体防御薬学分野
- P2-119** 静注用人免疫グロブリン製剤におけるヒトヘルペスウイルス抗体価  
矢田 考治<sup>1)</sup>、服部 真次<sup>1)</sup>、浦山 健<sup>1,2)</sup>、柚木 幹弘<sup>1,2)</sup>、坂井 薫<sup>1)</sup>  
1) 株式会社ベネシス、2) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野
- P2-120** HCMV臨床分離株の上皮細胞-細胞間感染のPML法による機構解析  
佐々木 純<sup>1)</sup>、上野 智規<sup>1)</sup>、片野 晴隆<sup>2)</sup>、佐多 徹太郎<sup>2)</sup>、後藤 希代子<sup>1,2)</sup>  
1) 株式会社ニッピ バイオマトリックス研究所、2) 国立感染症研究所 感染病理部
- P2-121** サイトメガロウイルス感染合併炎症性腸疾患マウスモデルを用いた病態解析  
松村 佳代子<sup>1)</sup>、小杉 伊三夫<sup>2)</sup>、新井 義文<sup>2)</sup>、河崎 秀陽<sup>2)</sup>、岩下 寿秀<sup>2)</sup>、仲瀬 裕志<sup>1)</sup>  
1) 京都大学 医学部 消化器内科、2) 浜松医科大学 再生・感染病理学講座
- P2-122** モルモットサイトメガロウイルス (GPCMV)を用いた先天性感染病態の解析  
福地 早希<sup>1)</sup>、山田 壮一<sup>1)</sup>、片野 晴隆<sup>3)</sup>、橋本 楓<sup>1,2)</sup>、佐藤 由子<sup>3)</sup>、森石 恆司<sup>2)</sup>、井上 直樹<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所 ウイルス第一部 4室、2) 山梨大学大学院 微生物学講座、3) 国立感染症研究所 感染病理部
- P2-123** マウスサイトメガロウイルス胎盤内感染モデルを用いた胎仔脳におけるウイルス感染動態とミクログリア/マクロファージ反応の解析  
坂尾 万幾子<sup>1,2)</sup>、小杉 伊三夫<sup>1)</sup>、新井 義文<sup>1)</sup>、河崎 秀陽<sup>1)</sup>、岩下 寿秀<sup>1)</sup>、宮嶋 裕明<sup>3)</sup>、筒井 祥博<sup>3)</sup>  
1) 浜松医科大学 医学部 再生・感染病理学講座、2) 浜松医科大学 医学部 内科学第一講座、3) 浜松大学 保健医療学部

## ポスター発表

18:00~19:00

## アデノ、パルボ、サーコ、ポリオーマ

座長：朝長 啓造(京都大学ウイルス研究所)

- P2-124** 感染性胃腸炎患者から分離された新型組換えアデノウイルスのバイオインフォマティクス解析  
松島 勇紀<sup>1)</sup>、清水 英明<sup>1)</sup>、三谷 幸之介<sup>2)</sup>、牛島 廣治<sup>3)</sup>、藤本 嗣人<sup>4)</sup>、岡部 信彦<sup>1)</sup>  
1) 川崎市衛生研究所 ウイルス・衛生動物検査、2) 埼玉医科大学 ゲノム医学研究センター 遺伝子治療部門、  
3) 日本大学 医学部 病態病理学系微生物学分野、4) 国立感染症研究所 感染症情報センター 第四室
- P2-125** microRNAを利用してウイルス遺伝子の非特異的な発現を抑制可能な新規アデノウイルスベクターの開発  
清水 かほり<sup>1)</sup>、櫻井 文教<sup>1)</sup>、立花 雅史<sup>1)</sup>、水口 裕之<sup>1,2,3)</sup>  
1) 大阪大学大学院 薬学研究科、2) 医薬基盤研究所、3) 大阪大学 臨床医工学融合研究教育センター
- P2-126** 2001-2010年に大阪府で分離されたD種アデノウイルスの分子疫学解析  
廣井 聡、森川 佐依子、高橋 和郎、加瀬 哲男  
大阪府立公衆衛生研究所 感染症部

- P2-127** 網羅的鶏封入体肝炎ウイルス検出法の構築  
三森 重孝<sup>1)</sup>、三股 亮太郎<sup>1)</sup>、小林 輝一<sup>1)</sup>、坂井 健太郎<sup>2)</sup>、中田 渚<sup>1)</sup>、黒澤 大介<sup>2)</sup>  
1)デンカ生研株式会社 新潟工場 ワクチン研究部、2)デンカ生研株式会社 新潟工場 ワクチン品質管理部
- P2-128** 可視化が明らかにしたウイルス除去膜によるウイルス捕捉メカニズム  
久保 純<sup>1,2)</sup>、坂井 薫<sup>1)</sup>、柚木 幹弘<sup>1,2)</sup>、生田 和良<sup>2)</sup>  
1)株式会社ベネシス、2)大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野
- P2-129** 2011年に大流行したヒトパルボウイルスB19の塩基配列変異  
朝倉 啓文、要藤 裕孝、田中 香織、堤 裕幸  
札幌医科大学 小児科
- P2-130** 2010年～2012年に検出されたHuman bocavirusの分子系統樹解析およびLAMP法による迅速診断法の検討  
矢野 拓弥  
三重県保健環境研究所 微生物研究課
- P2-131** 慢性リンパ性白血病における新規ポリオーマウイルスの検出  
橋田 裕美子<sup>1)</sup>、今城 雅之<sup>1)</sup>、谷口 亜裕子<sup>2)</sup>、上岡 樹生<sup>3)</sup>、大畑 雅典<sup>1)</sup>  
1)高知大学 医学部 微生物学、2)高知大学 医学部 血液・呼吸器内科学、3)高知大学 医学部 病態情報診断学
- P2-132** ザンビアにおける霊長類動物からの新規ポリオーマウイルスの検出  
山口 宏樹<sup>1,4)</sup>、大場 靖子<sup>1)</sup>、小林 進太郎<sup>1,4)</sup>、石井 秋宏<sup>2)</sup>、小川 寛人<sup>2)</sup>、中村 一郎<sup>3)</sup>、Thomas 由佳<sup>2)</sup>、木村 享史<sup>1)</sup>、澤 洋文<sup>1,4)</sup>  
1)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 分子病態・診断部門、2)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター ザンビア拠点、3)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 国際協力・教育部門、4)北海道大学 グローバル COE プログラム
- P2-133** 血清・臓器中のメルケル細胞ポリオーマウイルスおよびヒトポリオーマウイルス6, 7DNAの検出  
福本 瞳<sup>1,2)</sup>、佐藤 由子<sup>1)</sup>、長谷川 秀樹<sup>1)</sup>、片野 晴隆<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 感染病理部、2)自衛隊横須賀病院 皮膚科
- P2-134** LAMP法を用いたPML患者の脳脊髄液中のJCウイルスの検出および定量試験  
山口(木下) 一美<sup>1)</sup>、中道 一生<sup>1)</sup>、伊藤(高山) 陸代<sup>1)</sup>、垣内 五月<sup>1,2)</sup>、林 昌宏<sup>1)</sup>、倉根 一郎<sup>3)</sup>、西條 政幸<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 ウイルス第一部、2)東京大学大学院 医学系研究科 小児医学、3)国立感染症研究所
- P2-135** JCウイルス後期蛋白質に対する特異抗体を用いた進行性多巣性白質脳症の免疫組織化学的診断法の比較検討  
鈴木 忠樹<sup>1)</sup>、片野 晴隆<sup>1)</sup>、大場 靖子<sup>2)</sup>、小林 進太郎<sup>2)</sup>、佐藤 由子<sup>1)</sup>、佐多 徹太郎<sup>1)</sup>、澤 洋文<sup>2)</sup>、長谷川 秀樹<sup>1)</sup>  
1)国立感染症研究所 感染病理部、2)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 分子病態・診断部門
- P2-136** 静注用人免疫グロブリン製剤に含まれるBKウイルス中和抗体  
浦山 健<sup>1,2)</sup>、井手野 祥次<sup>1,2)</sup>、高橋 一恵<sup>1)</sup>、上田 千晶<sup>1)</sup>、柚木 幹弘<sup>1,2)</sup>、生田 和良<sup>2)</sup>、坂井 薫<sup>1)</sup>  
1)(株)ベネシス、2)大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野

## ポスター発表

18:00~19:00

## プリオン、その他のウイルス

座長：塩田 達雄(大阪大学 微生物病研究所)

- P2-137** バイオ医薬品の製造工程におけるマウス馴化型vCJD株とハムスター馴化型Scrapie株の挙動  
久保 純<sup>1,2)</sup>、上平 崇<sup>1)</sup>、坂井 薫<sup>1)</sup>、ラリサ セルベナコバ<sup>4)</sup>、柚木 幹弘<sup>1,2,3)</sup>、萩原 克郎<sup>3)</sup>、生田 和良<sup>2)</sup>  
1)株式会社ベネシス、2)大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、3)酪農学園大学 獣医学部、4)米国赤十字 ホーランド・ラボラトリー

- P2-138** プリオン蛋白質 (PrP) 遺伝子欠損株を用いたプリオン関連蛋白質Shadooの発現解析  
花城 日向子<sup>1)</sup>、松田 盛<sup>1)</sup>、小野寺 節<sup>2)</sup>、作道 章一<sup>1)</sup>  
1) 琉球大学 医学部 保健学科 生体代謝学、2) 東京大学 農学部
- P2-139** プリオン蛋白質の構造安定性に対する金属イオンの影響  
祖母井 香織、新 竜一郎、西田 教行  
長崎大学大学院 医師薬学総合研究科
- P2-140** Effects of defective-interfering RNA on symptom induction and replication of a novel partitivirus determined in a heterologous fungal host.  
Lin YuHsin<sup>1)</sup>、千葉 壮太郎<sup>1)</sup>、近藤 秀樹<sup>1)</sup>、兼松 聡子<sup>2)</sup>、鈴木 信弘<sup>1)</sup>  
1) 岡山大学 資源植物科学研究所、2) 農研機構 果樹研究所
- P2-141** タイ国のネッタイシマカから分離されたCell Fusing Agent Virusの分子進化解析  
山中 敦史<sup>1,2)</sup>、小西 英二<sup>1,2)</sup>  
1) 大阪大学 微生物病研究所 デングワクチン、2) 神戸大学大学院 医学研究科 感染症センター
- P2-142** HIV-1 Gag 発現組換えバキュロウイルスによる免疫応答  
緑川 拓哉<sup>1)</sup>、CHANG MYINT OO<sup>2)</sup>、高橋 翔輝<sup>2)</sup>、黒崎 直子<sup>1,2)</sup>、高久 洋<sup>1,2)</sup>  
1) 千葉工業大学大学院 工学研究科 生命環境科学専攻、2) 千葉工業大学 工学部 生命環境科学科
- P2-143** 未知の蚊媒介性ウイルスを探索する  
鍋島 武<sup>1)</sup>、井上 真吾<sup>1)</sup>、岡本 健太<sup>1)</sup>、遠藤 友志郎<sup>1)</sup>、一ノ瀬 昭豊<sup>1)</sup>、Filipinas F. Natividad<sup>2)</sup>、森田 公一<sup>1)</sup>  
1) 長崎大学 熱帯医学研究所 ウイルス学分野、2) St.Luke's Medical Center
- P2-144** 無細胞翻訳系を用いたファージRNA複製反応の再構成は、複製反応の定量的理解を可能にする  
白井 公人<sup>1)</sup>、市橋 伯一<sup>1,2)</sup>、数田 恭章<sup>1)</sup>、松浦 友亮<sup>1,3)</sup>、四方 哲也<sup>1,2,4)</sup>  
1) 科学技術振興機構 ERATO 四方勤的微小反応場プロジェクト、2) 大阪大学大学院情報科学研究科 バイオ情報工学専攻、3) 大阪大学 工学研究科 生命先端工学専攻、4) 大阪大学大学院 生命機能研究科
- P2-145** 走査電子顕微鏡による非染色ウイルス試料の高コントラスト・低ダメージ観察方法  
小椋 俊彦  
産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門
- P2-146** 徳島県北部で採取したマダニからのリケッチア分離とその性状解析  
内山 恒夫  
徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 微生物病原学

## 3日目 11月15日(木)

## A会場

## シンポジウム5

9:00~11:40

## 海外拠点におけるウイルス感染症研究

座長：井戸 栄治(東京医科歯科大学医歯学総合研究科)  
山城 哲(長崎大学熱帯医学研究所)

- S5-1** Activities of Joint Research in China  
Zene Matsuda  
Research Center for Asian Infectious Diseases, Institute of Medical Science, The University of Tokyo; Laboratory of Structural Virology and Immunology, Institute of Biophysics, Chinese Academy of Sciences
- S5-2** フィリピンにおける東北大学のウイルス研究の取組  
押谷 仁  
東北大学大学院 医学系研究科
- S5-3** タイにおけるJ-GRIDおよびSATREPS研究活動について  
亀岡 正典<sup>1,2)</sup>、佐々木 正大<sup>1)</sup>  
1)大阪大学 微生物病研究所、2)現 神戸大学大学院 保健学研究科
- S5-4** 神戸大学インドネシア拠点の紹介  
内海 孝子、堀田 博  
神戸大学大学院 医学研究科
- S5-5** ケニアとベトナムにおける長崎大学海外研究拠点の役割  
山城 哲、森田 公一  
長崎大学 熱帯医学研究所
- S5-6** 東京医科歯科大学ガーナ大学野口記念医学研究所で展開している2つの感染症研究プロジェクト  
井戸 栄治、山岡 昇司  
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科

11  
月  
14  
日  
水

## 一般口演

13:00~14:15

## オルソミクソ(9)

座長：奥野 良信(阪大微生物病研究会観音寺研究所)  
信澤 枝里(国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター)

- 03-A-01** パンデミックインフルエンザの発生に即応した、ワクチン製造用種ウイルス株の作出—インフルエンザウイルスライブラリーの利用—  
岡本 成史<sup>1)</sup>、竹中 延之<sup>1)</sup>、迫田 義博<sup>2)</sup>、岡松 正敏<sup>2)</sup>、山本 直樹<sup>2)</sup>、ハリディ アーマド<sup>1)</sup>、山田 博司<sup>1)</sup>、森 康子<sup>1,3)</sup>、喜田 宏<sup>2,4)</sup>、山西 弘一<sup>5)</sup>  
1)独立行政法人医薬基盤研究所 創薬基盤研究部 感染制御プロジェクト、  
2)北海道大学大学院 獣医学研究科 動物疾患制御学講座 微生物学教室、  
3)神戸大学大学院 医学研究科 微生物感染症学講座 臨床ウイルス学分野、4)北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター、  
5)独立行政法人医薬基盤研究所
- 03-A-02** H5N1 高病原性トリインフルエンザ組換えワクシニアワクチン単回接種による発症防御効果の検討  
宗片 圭祐<sup>1)</sup>、安井 文彦<sup>1)</sup>、萩原 春<sup>1)</sup>、伊藤 靖<sup>2)</sup>、迫田 義博<sup>3)</sup>、喜田 宏<sup>3)</sup>、小笠原 一誠<sup>2)</sup>、小原 道法<sup>1)</sup>  
1)東京都医学総合研究所 ゲノム医科学研究分野 感染制御プロジェクト、2)滋賀医科大学 病理学講座 疾患制御病理学部門、  
3)北海道大学大学院 獣医学研究科 動物疾病制御学講座 微生物学教室

**03-A-03** 肺炎球菌PspA遺伝子を搭載した半生インフルエンザウイルスによるインフルエンザウイルス及び肺炎球菌に対する感染防御桂 廣亮<sup>1)</sup>、朴 貞玉<sup>2)</sup>、岩附-堀本 研子<sup>1)</sup>、明田 幸宏<sup>2)</sup>、大石 和徳<sup>3)</sup>、河岡 義裕<sup>1,4,5)</sup>

1) 東京大学 医科学研究所 ウイルス感染分野、

2) 大阪大学 微生物病研究所 感染症国際研究センター 臨床感染症学研究グループ、3) 国立感染症研究所 感染症情報センター、

4) 東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター、5) JST ERATO 河岡宿主応答ネットワークプロジェクト

**03-A-04** パンデミックインフルエンザA/H1N1pdm09のHA分子の抗原構造の解析松崎 葉子<sup>1)</sup>、菅原 勘悦<sup>1)</sup>、下平 義隆<sup>1)</sup>、本郷 誠治<sup>1)</sup>、信澤 枝里<sup>2)</sup>

1) 山形大学 医学部 感染症学、2) 国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター

**03-A-05** ヘマグルチニン由来構造を分子表面に導入したGFPを用いたインフルエンザAウイルスに対する免疫誘導井上 雄嗣<sup>1)</sup>、瀬瀬 律子<sup>2)</sup>、生田 和良<sup>1)</sup>

1) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、2) 阪大微生物病研究会

## 一般口演

14:15~15:30

## オルソミクソ(10)

座長：加瀬 哲男(大阪府立公衆衛生研究所ウイルス課)

長谷川 秀樹(国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター)

**03-A-06** A/H1N1pdm09ワクチン被接種者血清抗体が認識するHA上の抗原領域の解析信澤 枝里<sup>1)</sup>、中内 美名<sup>1)</sup>、松崎 葉子<sup>2)</sup>、菅原 勘悦<sup>2)</sup>、廣津 伸夫<sup>4)</sup>、田代 真人<sup>1)</sup>、西村 秀一<sup>3)</sup>

1) 国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、2) 山形大学 医学部、3) 廣津医院、

4) 国立病院機構仙台医療センター ウイルスセンター

**03-A-07** インフルエンザウイルスヘマグルチニン特異抗体の亜型間交差反応性

村松 美笑子、吉田 玲子、宮本 洋子、高田 礼人

北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 国際疫学部門

**03-A-08** インフルエンザウイルスに対して広い反応性を示すヒト型モノクローナル抗体の分離金井 祐太<sup>1)</sup>、安木 真世<sup>1)</sup>、潘 洋<sup>1)</sup>、Naphatsawan Boonsathorn<sup>2)</sup>、小野 健一郎<sup>3)</sup>、生田 和良<sup>1)</sup>

1) 大阪大学 微生物病研究所 ウイルス免疫分野、2) Thailand Medical Biotechnology Center、

3) 株式会社医学生物学研究所 (MBL)

**03-A-09** In vitro における効率的な抗インフルエンザウイルス分泌型IgA抗体の作製庄司 健太郎<sup>1)</sup>、高橋 忠伸<sup>2)</sup>、黒羽子 孝太<sup>1)</sup>、鈴木 隆<sup>2)</sup>、今井 康之<sup>1)</sup>

1) 静岡県立大学大学院 薬学研究科 免疫微生物学教室、2) 静岡県立大学大学院 薬学研究科 生化学教室

**03-A-10** Cross-neutralization activity of anti-influenza IgA monoclonal antibodyハリディ アーマド<sup>1)</sup>、谷本 武史<sup>2)</sup>、高野 大輔<sup>2)</sup>、田村 慎一<sup>3)</sup>、奥野 良信<sup>3)</sup>、森 康子<sup>1,4)</sup>、山西 弘一<sup>5)</sup>、岡本 成史<sup>1)</sup>

1) 独立行政法人医薬基盤研究所 創薬基盤研究部 感染制御プロジェクト、

2) 一般財団法人阪大微生物病研究会 観音寺研究所、3) 国立感染症研究所 感染病理部、

4) 神戸大学大学院 医学研究科 微生物感染症学講座 臨床ウイルス学分野、5) 独立行政法人医薬基盤研究所

## 一般口演

15:30~16:45

## オルソミクソ(11)

座長：森島 恒雄(岡山大学医歯薬学総合研究科)  
宮澤 正顯(近畿大学医学部)

## O3-A-11 CD69, S1P1, CXCR6の相互作用によるメモリー CD8T細胞の肺粘膜移行調節

高村 史記<sup>1)</sup>、Kohlmeier Jacob E.<sup>2)</sup>、八木 秀樹<sup>3)</sup>、中山 俊憲<sup>4)</sup>、松島 綱治<sup>5)</sup>、Woodland David L.<sup>6)</sup>、  
宮澤 正顯<sup>1)</sup>1)近畿大学 医学部 免疫学、2)エモリー大学、3)近畿大学 薬学部 創薬科学科 細胞生物学、  
4)千葉大学大学院 医学研究院 免疫発生学、5)東京大学 医学部 大学院医学系研究科 分子予防医学、6)キーストンシンポジアO3-A-12 二本鎖RNA及び鳥インフルエンザウイルス刺激により惹起される抗ウイルス応答への鶏  
Melanoma differentiation-associated gene 5(MDA5)の関与林 豪士<sup>1)</sup>、谷川 太一朗<sup>1)</sup>、内田 裕子<sup>1,2)</sup>、西藤 岳彦<sup>1,2,3)</sup>1)独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所 ウイルス疫学研究領域、  
2)タイー日本人獣感染症共同研究センター (ZDCC)、3)岐阜大学 大学院連合獣医学研究科

## O3-A-13 ミトコンドリア膜電位依存的なNLRP3 inflammasomeの活性化

一戸 猛志<sup>1)</sup>、小柴 琢己<sup>2)</sup>、柳 雄介<sup>1)</sup>

1)九州大学大学院 医学研究院 ウイルス学、2)九州大学大学院 理学研究院 生物科学部門

## O3-A-14 インフルエンザ感染における局所サイトカイン・ケモカインの動態

山田 陸子、藤井 洋輔、齋藤 有希恵、長岡 義晴、津下 充、八代 将人、塚原 宏一、森島 恒雄  
岡山大学 医歯薬学総合研究科 小児医科学O3-A-15 ノードマウスにおける抗インフルエンザ薬オセルタミビル

のpandemic 2009(H1N1)インフ  
ルエンザウイルスに対する治療効果

木曾 真紀<sup>1)</sup>、伊藤 陸美<sup>1)</sup>、河岡 義裕<sup>1,2,3)</sup>1)東京大学 医科学研究所 ウイルス感染分野、2)ERATO 河岡宿主応答ネットワーク、  
3)東京大学 医科学研究所 感染症国際研究センター11  
月  
15  
日  
木

## B会場

## シンポジウム6

9:00~11:15

## ワクチン開発

座長：奥野 良信(阪大微生物病研究会観音寺研究所)  
大石 和徳(国立感染症研究所感知情報センター)

## S6-1 HPVワクチン---有効性と残された課題

神田 忠仁  
理化学研究所 新興・再興感染症研究ネットワーク推進センター

## S6-2 日本脳炎ワクチン

石川 豊数  
一般財団法人阪大微生物病研究会

## S6-3 不活化ポリオワクチン導入とポリオワクチンの将来

清水 博之  
国立感染症研究所 ウイルス第二部

## S6-4 次世代ワクチンとしての経鼻インフルエンザワクチン

長谷川 秀樹  
国立感染症研究所 感染病理部

## S6-5 国産HIVワクチンの開発

井上 誠  
ディナベック株式会社

## 一般口演

13:00~14:15

## EBV (1)

座長：今留 謙一(国立成育医療研究センター母児感染研究部)  
神田 輝(愛知県癌センター研究所腫瘍ウイルス学部)

## 03-B-01 細胞間接触を介した上皮細胞へのEBV伝播機構に関する研究

南保 明日香<sup>1)</sup>、寺田 晴奈<sup>1)</sup>、加地 邦宏<sup>1)</sup>、高田 賢蔵<sup>2)</sup>、松田 正<sup>1)</sup>  
1)北海道大学 薬学研究院 衛生化学研究室、2)株式会社イーベック

## 03-B-02 Pin1はEBウイルス複製に重要な因子である

成田 洋平<sup>1,2)</sup>、村田 貴之<sup>1)</sup>、木村 宏<sup>2)</sup>、鶴見 達也<sup>1)</sup>  
1)愛知県がんセンター 研究所 腫瘍ウイルス学部、2)名古屋大学大学院 医学系研究科 ウイルス学

03-B-03 Epstein-Barr virus脱ユビキチン化酵素BPLF1はTRAF6を介したNF- $\kappa$ Bの活性化を阻害することによってウイルスDNA複製を促進する

齊藤 伸一、村田 貴之、鶴見 達也  
愛知県がんセンター 研究所 腫瘍ウイルス学部

## 03-B-04 EBV再活性化におけるエピジェネティックヒストン修飾

村田 貴之、鶴見 達也  
愛知県がんセンター研究所 腫瘍ウイルス学部

## 03-B-05 EBV capsid形成・成熟・DNA packagingの場の解析

杉本 温子<sup>1)</sup>、木村 宏<sup>2)</sup>、鶴見 達也<sup>1)</sup>  
1)愛知県がんセンター研究所 腫瘍ウイルス学部、2)名古屋大学大学院 医学系研究科 ウイルス学分野

## 一般口演

14:15~15:30

## EBV (2)

座長：安居 輝人(大阪大学微生物病研究所)  
村田 貴之(愛知県癌センター研究所)

## 03-B-06 EBNA1蛋白質の宿主染色体付着メカニズムの解析

神田 輝、鶴見 達也  
愛知県がんセンター研究所 腫瘍ウイルス学部

## 03-B-07 EBVの遺伝子BNLF2aとBNLF2bは溶解感染初期と潜伏期に発現し、腫瘍化に関与する

吉山 裕規、高田 賢蔵、南保 明日香、清水 則夫  
北海道大学 遺伝子病制御研究所 感染癌研究センター

## 03-B-08 EBV 関連悪性リンパ腫に対するヒストン脱アセチル化酵素阻害剤の効果

中川 光、岩田 誠子、鎌倉 真紀、五島 典、木村 宏  
名古屋大学大学院 医学系研究科 ウイルス学

## 03-B-09 小児生体肝移植後のEBVゲノム定量モニタリングの重要性と免疫抑制剤減量に伴うEBV特異的CTL誘導の検討

今留 謙一<sup>1)</sup>、福田 晃也<sup>2)</sup>、川野 布由子<sup>1)</sup>、望月 雅司<sup>1)</sup>、山田 千尋<sup>1)</sup>、阪本 靖介<sup>2)</sup>、笠原 群生<sup>2)</sup>、藤原 成悦<sup>1)</sup>  
1)国立成育医療研究センター研究所 母児感染研究部、2)国立成育医療研究センター 臓器移植センター

## 03-B-10 ガンマヘルペスウイルス感染による自己抗体産生

榊原 修平<sup>1,2)</sup>、安居 輝人<sup>1,2)</sup>、南谷 武春<sup>1)</sup>、菊谷 仁<sup>1,2)</sup>

1)大阪大学 微生物病研究所 分子免疫制御分野、2)大阪大学 免疫学フロンティア研究センター

## 一般口演

15:30~16:30

## その他のヘルペス

座長：藤室 雅弘(京都薬科大学生命薬科学系)  
大野 真治(九州大学医学系学府)

## 03-B-11 マウスガンマヘルペスウイルス68のORF31蛋白質の性状解析

大野 真治、柳 雄介

九州大学 医学研究院 ウイルス学分野

## 03-B-12 Murine gammaherpesvirus 68のORF35の蛋白質の機能

疋田 伸一、柳 雄介、大野 真治

九州大学大学院 医学研究院 ウイルス学

## 03-B-13 イルカ由来新規ヘルペスウイルスの分離

野口 慧多<sup>1)</sup>、下田 宙<sup>1)</sup>、寺田 豊<sup>1)</sup>、長尾 裕美子<sup>1)</sup>、下島 昌幸<sup>1)</sup>、香山 薫<sup>2)</sup>、猪島 康雄<sup>3)</sup>、前田 健<sup>1)</sup>

1)山口大学 共同獣医学部 獣医微生物学教室、2)伊豆三津シーパラダイス、3)岐阜大学 応用生物科学部 食品環境衛生学研究室

## 03-B-14 発表取消

## C会場

## 一般口演

13:00~14:00

## パラミクソ(3)

座長：加藤 篤(国立感染症研究所ウイルス第三部)  
駒瀬 勝啓(国立感染症研究所ウイルス第三部)

## 03-C-01 (-)鎖RNAウイルスの新規ウイルスRNA合成制御機構

入江 崇、坂口 剛正

広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 ウイルス学

## 03-C-02 麻疹ウイルスの複製に関わる新規宿主因子の同定

伊藤 美菜子<sup>1)</sup>、岩崎 正治<sup>1)</sup>、竹田 誠<sup>2)</sup>、中村 崇規<sup>3)</sup>、柳 雄介<sup>1)</sup>、大野 真治<sup>1)</sup>

1)九州大学大学院 医学研究院 ウイルス学、2)国立感染症研究所 ウイルス第三部、

3)九州大学大学院 医学研究院 教育・研究支援センター

## 03-C-03 極性上皮細胞におけるリサイクリングエンドソーム経路を利用した麻疹ウイルスRNP複合体の細胞膜への輸送と感染性ウイルス粒子の産生

中津 祐一郎<sup>1)</sup>、鈴木 忠樹<sup>2)</sup>、駒瀬 勝啓<sup>1)</sup>、竹田 誠<sup>1)</sup>

1)国立感染症研究所 ウイルス第三部、2)国立感染症研究所 感染病理部

## 03-C-04 麻疹ウイルス感染様式の温度依存性

脇本 浩史<sup>1)</sup>、関 東怡<sup>1)</sup>、佐藤 友人<sup>1)</sup>、竹内 薫<sup>2)</sup>、北川 善紀<sup>3)</sup>、後藤 敏<sup>3)</sup>、伊藤 正恵<sup>1)</sup>

1)長浜バイオ大学大学院 バイオサイエンス研究科 微生物学、2)筑波大学大学院 人間総合科学研究科、

3)滋賀医科大学 病理学講座 微生物感染症学部門

## 一般口演

14:00~15:00

## パラミクソ(4)

座長：鶴留 雅人(三重大学医学系研究科)

伊藤 正恵(長浜バイオ大学バイオサイエンス学科)

## 03-C-05 麻疹ウイルスの神経病原性はウイルスの膜融合能によって規定される

渡辺 俊平<sup>1)</sup>、白銀 勇太<sup>1)</sup>、鈴木 諭<sup>2)</sup>、池亀 聡<sup>1)</sup>、古賀 律子<sup>1)</sup>、柳 雄介<sup>1)</sup>

1)九州大学大学院 医学研究院 ウイルス学、2)九州大学大学院 医学研究院 神経病理学

## 03-C-06 麻疹ウイルスF蛋白のプロテアーゼ感受性決定領域

佐藤 友人

長浜バイオ大学 バイオサイエンス研究科

## 03-C-07 膜貫通型セリンプロテアーゼTMPRSS2はパラインフルエンザウイルスF蛋白を活性化し増殖を促進する

安部 昌子<sup>1)</sup>、加藤 篤<sup>1)</sup>、田原 舞乃<sup>1)</sup>、酒井 宏治<sup>1)</sup>、加納 和彦<sup>2)</sup>、白戸 憲也<sup>1)</sup>、野田 雅博<sup>2)</sup>、木村 博一<sup>2)</sup>、網 康至<sup>3)</sup>、松山 州徳<sup>1)</sup>、水田 克巳<sup>4)</sup>、竹田 誠<sup>1)</sup>

1)国立感染症研究所 ウイルス第三部、2)国立感染症研究所 感染症情報センター、3)国立感染症研究所 動物管理室、4)山形県衛生研究所

## 03-C-08 パラミクソウイルスの膜融合誘導機構:二分子蛍光相補性(BiFC)法を用いた受容体結合蛋白と膜融合蛋白の相互作用の解析

鶴留 雅人<sup>1)</sup>、大塚 順平<sup>1)</sup>、駒田 洋<sup>2)</sup>、河野 光雄<sup>1)</sup>、伊藤 守弘<sup>3)</sup>、野阪 哲哉<sup>1)</sup>

1)三重大学 医学部 感染症制御医学・分子遺伝学講座、2)鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 医療栄養学科、3)中部大学 生命健康科学部 スポーツ保健医療学科

## 一般口演

15:00~16:15

## パラミクソ(5)

座長：甲斐 千恵子(東京大学医科学研究所)

竹田 誠(国立感染症研究所ウイルス第三部)

## 03-C-09 麻疹ウイルス感染カニクイザルにおけるインターフェロン産生の解析

竹内 薫<sup>1)</sup>、加藤 誠一<sup>2)</sup>、永田 典代<sup>3)</sup>、網 康至<sup>4)</sup>

1)筑波大学 医学医療系、2)医薬基盤研究所 壺長類医学科学研究センター、3)国立感染症研究所 感染病理部、4)国立感染症研究所 動物管理室

## 03-C-10 麻疹ウイルス単一血清型決定の分子基盤

田原 舞乃<sup>1)</sup>、Melinda A. Brindley<sup>2)</sup>、福原 秀雄<sup>3)</sup>、酒井 宏治<sup>1)</sup>、大野 真治<sup>4)</sup>、駒瀬 勝啓<sup>1)</sup>、Paul A. Rota<sup>5)</sup>、Richard K. Plemper<sup>2)</sup>、前仲 勝実<sup>3)</sup>、竹田 誠<sup>1)</sup>

1)国立感染症研究所 ウイルス第3部、2)Department of Pediatrics, Emory University School of Medicine, Atlanta, GA, USA、3)北海道大学大学院 薬学研究院 生体分子機能学研究室、4)九州大学大学院 医学研究院 ウイルス学、5)Measles, Mumps, Rubella and Herpesviruses Laboratory Branch, Division of Viral Diseases, Centers for Disease Control and Prevention, Atlanta, GA, USA

## 03-C-11 カニクイザルで致死的感染症を起こしたジステンパーウイルスのサルレセプターの効率的な利用:ジステンパーウイルスはヒトへの脅威となり得るのか?

酒井 宏治<sup>1)</sup>、關 文緒<sup>1)</sup>、網 康至<sup>1)</sup>、田原 舞乃<sup>1)</sup>、中津 祐一郎<sup>1)</sup>、大槻 紀之<sup>1)</sup>、福原 秀雄<sup>2)</sup>、福士 秀悦<sup>1)</sup>、吉河 智城<sup>1)</sup>、西條 政幸<sup>1)</sup>、森川 茂<sup>1)</sup>、前仲 勝実<sup>2)</sup>、山口 良二<sup>3)</sup>、駒瀬 勝啓<sup>1)</sup>、竹田 誠<sup>1)</sup>

1)国立感染症研究所、2)北海道大学 薬学研究院 生体分子機能学研究室、3)宮崎大学 獣医病理学研究室

## 03-C-12 狂犬病抗原発現組換えイヌジステンパーウイルスワクチンの開発

石井 美穂<sup>1)</sup>、土器 美穂<sup>1)</sup>、米田 美佐子<sup>1)</sup>、杉山 誠<sup>2)</sup>、甲斐 知恵子<sup>1)</sup>

1)東京大学 医科学研究所 実験動物研究施設、2)岐阜大学大学院 連合獣医学研究科

## 03-C-13 イヌジステンパーウイルス新規遺伝子型の発見

前田 健<sup>1)</sup>、秋山 今日子<sup>1)</sup>、西尾 陽平<sup>1)</sup>、吉田 翔太<sup>2)</sup>、中嶋 朋美<sup>2)</sup>、久保 正仁<sup>2)</sup>、森本 将弘<sup>2)</sup>、林 俊春<sup>2)</sup>、佐藤 宏<sup>3)</sup>、長尾 裕美子<sup>1)</sup>、下島 昌幸<sup>1)</sup>

1) 山口大学 共同獣医学部 獣医微生物学教室、2) 山口大学 共同獣医学部 獣医病理学教室、  
3) 山口大学 共同獣医学部 獣医寄生虫学教室

## D会場

## 一般口演

9:00~10:00

## ポリオーマ、ボックス

座長：澤 洋文(北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター)  
奴久妻 聡一(神戸市環境保健研究所)

## 03-D-01 HIV-1 Tatによる神経芽細胞腫でのJCウイルス増殖促進

奴久妻 聡一<sup>1)</sup>、亀岡 正典<sup>2)</sup>、杉浦 重樹<sup>3)</sup>、中道 一生<sup>4)</sup>、奴久妻 智代子<sup>5)</sup>、竹上 勉<sup>6)</sup>

1) 神戸市環境保健研究所 微生物部、2) 神戸大学大学院 保健学研究科、3) 奈良県立医科大学 組換え DNA 実験施設、  
4) 国立感染症研究所 ウイルス第一部 第3室、5) 東京ソアラクリニック、6) 金沢医科大学 総合医学研究所 生命科学分子腫瘍

## 03-D-02 進行性多巣性白質脳症患者の脳脊髄液中に検出されたJCポリオーマウイルスの経時的なゲノム変異パターンの解析

中道 一生、林 昌宏、西條 政幸

国立感染症研究所 ウイルス第一部 神経系ウイルス室

## 03-D-03 本邦におけるメルケル細胞ポリオーマウイルスの分子系統解析

今城 雅之<sup>1)</sup>、橋田 裕美子<sup>1)</sup>、桑本 聡史<sup>2)</sup>、林 一彦<sup>2)</sup>、大畑 雅典<sup>1)</sup>

1) 高知大学 医学部 微生物学、2) 鳥取大学 医学部 分子病理学

## 03-D-04 ワクチニアウイルスの病原性発現抑制における液性免疫及び細胞性免疫の関与

新村 靖彦<sup>1)</sup>、上村 千草<sup>1)</sup>、金原 知美<sup>1)</sup>、丸野 真一<sup>1)</sup>、松井 元<sup>1)</sup>、横手 公幸<sup>1)</sup>、横井 公一<sup>1)</sup>、Shari Gordon<sup>2)</sup>、Genoveffa Franchini<sup>2)</sup>、橋爪 壮<sup>3)</sup>

1) 化学及血清療法研究所、2) 米国国立がんセンター、3) 千葉大学

11月15日(木)

## 一般口演

10:00~11:30

## アデノ、パルボ

座長：藤本 嗣人(国立感染症研究所感染情報センター)  
三谷 幸之助(埼玉医科大学)

## 03-D-05 Adenoviral Typing Protocol Based On Highly Conserved Regions Flanking Capsid Epitopes

Gonzalez Gabriel<sup>1)</sup>、Koyanagi Kanako<sup>1)</sup>、Aoki Koki<sup>2)</sup>、Kitaichi Nobuyoshi<sup>3)</sup>、Ohno Shigeaki<sup>2)</sup>、Kaneko Hisatoshi<sup>4)</sup>、Ishida Susumu<sup>2)</sup>、Yamane Shotaro<sup>1)</sup>、Laura Panto<sup>1)</sup>、Watanabe Hidemi<sup>1)</sup>

1) 北海道大学大学院 情報科学研究科 生命人間情報科学専攻、2) Hokkaido University Graduate School of Medicine、  
3) Health Sciences University of Hokkaido、4) Fukushima Medical University School of Medicine

## 03-D-06 1988～2011年のアデノウイルス3型のヘキソン超可変領域アミノ酸配列による流行状況の検討

藤本 嗣人<sup>1)</sup>、中村 雅子<sup>2)</sup>、渡部 香<sup>3)</sup>、渡邊 香奈子<sup>3)</sup>、榎本 美貴<sup>4)</sup>、花岡 希<sup>1)</sup>、田村 務<sup>3)</sup>

1) 国立感染症研究所 感染情報センター、2) 福井県衛生環境研究センター、3) 新潟県保健環境科学研究所、  
4) 兵庫県立健康生活科学研究所 健康科学研究センター

**03-D-07 高力価VA RNAs欠失アデノウイルスベクター新規作製法の開発**

前川 文、裴 崢、近藤 小貴、鐘ヶ江 裕美、斎藤 泉  
東京大学 医科学研究所 遺伝子解析施設

**03-D-08 VA RNA欠失型アデノウイルスベクターを用いたC型肝炎治療法の開発**

裴 崢<sup>1)</sup>、史 国利<sup>2)</sup>、近藤 小貴<sup>1)</sup>、伊藤 昌彦<sup>2)</sup>、鐘ヶ江 裕美<sup>1)</sup>、鈴木 哲朗<sup>2)</sup>、斎藤 泉<sup>1)</sup>  
1) 東京大学 医科学研究所 遺伝子解析施設、2) 浜松医科大学 医学部医学科 感染症学講座ウイルス学・寄生虫学分野

**03-D-09 8型アデノ随伴ウイルス (AAV)ベクターを用いた凝固第IX因子のカニクイザルにおける発現：ベクター用量と効果の関連**

水上 浩明、塚原 智典、卜部 匡司、久米 晃啓、小澤 敬也  
自治医大 分子病態治療研究センター 遺伝子治療研究部

**03-D-10 末梢血単核球から誘導した赤芽球のヒトパルボウイルスB19に対する感受性の解析**

岡田 義昭、野島 清子、浜口 功  
国立感染症研究所 血液安全性研究部

## 一般口演

13:00~14:15

## ランチ(8)

座長：上野 貴将(熊本大学エイズ学研究センター)  
立川(川名) 愛(東京大学医科学研究所)

**03-D-11 中国における男性同性愛者間のHIV-1流行の急速な拡大に関する分子疫学と我が国への流行波及を示す新知見**

武部 豊<sup>1,2,3)</sup>、近藤 真規子<sup>4)</sup>  
1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター、2) 中国 CDC 国立 AIDS/STD 制圧予防センター、  
3) 中国医科大学 エイズ研究センター、4) 神奈川県衛生研究所 微生物部 ウイルス・リケッチアグループ

**03-D-12 HIV-1 elite controllerにおけるHIV-1 Vifの抗APOBEC3G活性の低下**

菊地 正<sup>1)</sup>、岩部 幸枝<sup>2)</sup>、立川(川名) 愛<sup>1)</sup>、古賀 道子<sup>1)</sup>、野村 滋<sup>1)</sup>、細谷 紀彰<sup>1)</sup>、Brumme Zabrina L.<sup>3)</sup>、  
Jessen Heiko<sup>4)</sup>、Kelleher Anthony D.<sup>5)</sup>、Markowitz Martin<sup>6)</sup>、Pereyra Florencia<sup>7)</sup>、Trocha Alicja<sup>7)</sup>、  
Walker Bruce D<sup>7)</sup>、岩本 愛吉<sup>1)</sup>、徳永 研三<sup>2)</sup>、三浦 聡之<sup>8,9)</sup>  
1) 東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野、2) 国立感染症研究所 感染病理部、3) Simon Fraser University、  
4) Jessen Praxis、5) University of New South Wales、6) Aaron Diamond AIDS Research Center、  
7) MIT and Harvard, Ragon Institute of MGH、8) 長崎大学 熱帯医学研究所、9) ヴィーブヘルスケア

**03-D-13 日本人慢性HIV-1感染者におけるHLA-Associated Polymorphismの解析**

近田 貴敬<sup>1)</sup>、Carlson Jonathan M<sup>2)</sup>、田村 美子<sup>1)</sup>、Brumme Zabrina<sup>3)</sup>、成戸 卓也<sup>1)</sup>、端本 昌夫<sup>1)</sup>、  
Borghan Mohamed Ali<sup>1,4)</sup>、John Mina<sup>5)</sup>、Mallal Simon<sup>5)</sup>、滝口 雅文<sup>1)</sup>  
1) 熊本大学 エイズ学研究センター 滝口プロジェクト研究室、2) eScience Group, Microsoft Research, USA、  
3) Faculty of Health Sciences, Simon Fraser University, Canada、4) Oman Medical College, Oman、  
5) Royal Perth Hospital, Murdoch University, Australia

**03-D-14 Fibrocytes, another monocyte-derived cell population, as a novel potential target of HIV-1**

Chutiwitoonchai Nopporn、日吉(吉富) 友香、日吉 真照、鈴 伸也  
熊本大学 エイズ学研究センター 鈴プロジェクト研究室

**03-D-15 Establishment of a human iTreg-like cell line susceptible to HIV-1 infection**

Ahmed Nursarat<sup>1)</sup>、長谷川 温彦<sup>1)</sup>、高森 絢子<sup>1)</sup>、増田 貴夫<sup>1)</sup>、山岡 昇司<sup>2)</sup>、神奈木 真理<sup>1)</sup>  
1) 東京医科歯科大学大学院 免疫治療学分野、2) 東京医科歯科大学大学院 ウイルス制御学分野

## 一般口演

14:15~16:00

## その他のレトロ

座長：小柳 義夫(京都大学ウイルス研究所)  
宮沢 孝幸(京都大学ウイルス研究所)

## O3-D-16 ウシ内在性レトロウイルス-K1の獲得によるウシ科動物の進化

仲屋 友喜<sup>1)</sup>、越 勝男<sup>2,3)</sup>、中川 草<sup>4)</sup>、木崎 景一郎<sup>2,3)</sup>、小林 剛<sup>1)</sup>、橋爪 一善<sup>2,3)</sup>、宮沢 孝幸<sup>1)</sup>

1) 京都大学 ウイルス研究所 信号伝達学研究分野、2) 岩手大学 農学部 獣医学科 獣医生理学研究室、  
3) 岐阜大学大学院 連合獣医学研究科 細胞生理学分野、4) 国立遺伝学研究所

## O3-D-17 コアラレトロウイルス内在化機序の解析

星野 重樹、小林 剛、宮沢 孝幸

京都大学 ウイルス研究所

## O3-D-18 ニホンザルより検出されたSRV-4に対する抗HIV薬の効果

戸上 博昭<sup>1)</sup>、志村 和也<sup>1)</sup>、宮沢 孝幸<sup>2)</sup>、松岡 雅雄<sup>1)</sup>

1) 京都大学 ウイルス研究所 ウイルス制御研究領域、2) 京都大学 ウイルス研究所 信号伝達学研究分野

## O3-D-19 ベータレトロウイルスの新規抗BST2活性

福原 充子<sup>1,2)</sup>、佐藤 佳<sup>1,3)</sup>、吉川 禄助<sup>4)</sup>、宮沢 孝幸<sup>4)</sup>、小柳 義夫<sup>1)</sup>

1) 京都大学 ウイルス研究所 ウイルス病態研究領域、2) 京都大学大学院 生命科学研究所、  
3) 京都大学 ウイルス研究所 附属新興ウイルス研究センター、4) 京都大学 ウイルス研究所 信号伝達学研究分野

## O3-D-20 ウシTetherin / BST-2の同定と抗ウイルス活性の解析

武田 英里、安田 二期

長崎大学 熱帯医学研究所 新興感染症学分野

## O3-D-21 イヌのレトロウイルス抑制因子によるネコ内在性レトロウイルス(RD-114ウイルス)の抑制効果

吉川 禄助<sup>1,2)</sup>、宮沢 孝幸<sup>1)</sup>

1) 京都大学 ウイルス研究所 細胞生物学研究部門 信号伝達学研究分野、2) 京都大学 人間・環境学研究科 相関環境学専攻

O3-D-22 APOBEC3GによるA<sub>1</sub>転移抑制の分子生物学的および構造学的解析Arias Juan F.<sup>1)</sup>、小山 貴芳<sup>1)</sup>、岩部 幸枝<sup>1)</sup>、横山 勝<sup>2)</sup>、佐藤 裕徳<sup>2)</sup>、長谷川 秀樹<sup>1)</sup>、徳永 研三<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 感染病理部、2) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター

11月15日(木)

## E会場

## 教育シンポジウム3

9:00~11:00

## 血液製剤・バイオ医薬品・細胞治療におけるウイルス対策

座長：東 寛(旭川医科大学医学部)

岡田 義昭(国立感染症研究所血液・安全性研究部)

## ES3-1 新興感染症勃発時における血液製剤のリスク管理～XMRV事件から学んだこと～

古田 里佳

日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 製剤開発課、血液事業本部 中央血液研究所 感染症解析部

## ES3-2 血液製剤のウイルス感染症対策

岡田 義昭

国立感染症研究所 血液・安全性研究部

## ES3-3 バイオ医薬品のウイルス安全性について

山口 照英

国立医薬品食品衛生研究所

## ES3-4 再生医療・細胞治療領域で問題となる微生物のモニタリング

森尾 友宏

東京医科歯科大学大学院 発生発達病態学分野、同医学部附属病院 細胞治療センター

## 一般口演

13:00~14:15

## 肝炎ウイルス(6)

座長：加藤 孝宣(国立感染症研究所ウイルス第二部)

勝二 郁夫(神戸大学医学研究科)

## O3-E-01 酸化ストレスを介して強い抗HCV活性を示す抗マalaria薬として開発中の化合物

上田 優輝<sup>1,2)</sup>、森 京子<sup>1)</sup>、團迫 浩方<sup>1)</sup>、金 恵淑<sup>3)</sup>、綿矢 有祐<sup>3)</sup>、池田 正徳<sup>1)</sup>、加藤 宣之<sup>1)</sup>

1)岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腫瘍ウイルス学分野、2)日本学術振興会 特別研究員 DC1、

3)岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 国際感染症制御学分野

## O3-E-02 C型肝炎ウイルスが、Ripletユビキチンライゲースを分解しRIG-I依存的なI型インターフェロン産生を抑制するメカニズムの解明

押海 裕之、松本 美佐子、瀬谷 司

北海道大学大学院 医学研究科

## O3-E-03 C型肝炎ウイルス感染時にToll-like receptor 3の発現はRb/E2F経路で制御される

棟方 翼<sup>1)</sup>、脇田 隆字<sup>2)</sup>、野本 明男<sup>3)</sup>、小原 道法<sup>1)</sup>

1)東京都医学総合研究所 感染制御プロジェクト、2)国立感染症研究所 ウイルス第二部、3)微生物化学研究所

## O3-E-04 HCV 組換え型流行株 (CRF01\_2k/1b) の起源とその進化

武部 豊<sup>1)</sup>、田中 靖人<sup>2)</sup>、溝上 雅史<sup>3)</sup>、Raghwani Jayna<sup>4)</sup>、Molenkamp Richard<sup>5)</sup>、Pybus Oliver<sup>6)</sup>

1)国立感染症研究所 エイズ研究センター、2)名古屋市立大学医学部 ウイルス学・肝臓学科、3)国立肝炎免疫研究センター、

4)エジンバラ大学進化生物学研究所、5)オランダ・アカデミック医学研究センター、6)オックスフォード大学動物学部

## O3-E-05 塩基除去修復機構はAPOBEC3Gが引き起こすB型肝炎ウイルス変異を修復しウイルス複製に寄与する

喜多村 晃一、Wang Zhe、島津 美幸、小浦 美樹、村松 正道

金沢大学 医薬保健研究域医学系

## 一般口演

14:15~15:15

## 肝炎ウイルス(7)

座長：石井 孝司(国立感染症研究所ウイルス第二部)

李 天成(国立感染症研究所ウイルス第二部)

## O3-E-06 ラットE型肝炎ウイルス様粒子の作製および粒子形成に必須な領域の同定

李 天成<sup>1)</sup>、片岡 紀代<sup>2)</sup>、網 康至<sup>3)</sup>、須崎 百合子<sup>3)</sup>、安田 俊平<sup>4)</sup>、吉松 組子<sup>4)</sup>、有川 二郎<sup>4)</sup>、武田 直和<sup>5)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>

1)国立感染症研究所 ウイルス第二部、2)国立感染症研究所 病理部、

3)国立感染症研究所 動物管理室、4)北海道大学大学院 医学研究科 微生物学講座病原微生物学分野附属動物実験施設、

5)大阪大学微生物病研究所 日本タイ感染症共同研究センター

## O3-E-07 E型肝炎ウイルス生活環におけるカプシド蛋白C末端52アミノ酸の機能解析

塩田 智之<sup>1)</sup>、李 天成<sup>1)</sup>、吉崎 佐矢香<sup>1)</sup>、武田 直和<sup>2)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>、石井 孝司<sup>1)</sup>

1)国立感染症研究所 ウイルス第二部 第五室、2)大阪大学 微生物病研究所 日本・タイ感染症共同研究センター

## O3-E-08 E型肝炎ウイルス感染ラットモデルの検討とその応用

萩原 克郎<sup>1)</sup>、山内 佳奈恵<sup>1)</sup>、柚木 幹弘<sup>1,2)</sup>、松浦 善治<sup>3)</sup>、生田 和良<sup>3)</sup>

1)酪農学園大学 獣医学群、2)株式会社 ベネシス、3)大阪大学 微生物病研究所

**03-E-09** HBV遺伝子型D1型に特異的なコアプロモーター変異 (G1757A/G1764T/C1766G)の機能解析杉山 真也<sup>1)</sup>、田中 靖人<sup>2)</sup>、中西 真<sup>2)</sup>、溝上 雅史<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター、2) 名古屋市立大学

**F 会場****一般口演**

9:00~10:00

**コロナ、アルテリ**

座長：前田 健(山口大学農学部)

田口 文広(日本獣医生命科学大学獣医学部)

**03-F-01** 神経病原性マウス肝炎ウイルス(MHV)感染における脳内マトリックスの研究

柏崎 広美、柿崎 正敏、渡辺 里仁

創価大学 工学部 生命情報工学科

**03-F-02** 神経病原性マウス肝炎ウイルスの新規変異株感染による海馬領域での病変

柿崎 正敏、柏崎 広美、渡辺 里仁

創価大学 工学部 生命情報工学科

**03-F-03** 牛トロウイルス分離株の血液凝集(HA)活性に関する研究島袋 梢<sup>1,2)</sup>、氏家 誠<sup>1)</sup>、伊藤 寿浩<sup>3)</sup>、恒光 裕<sup>4)</sup>、田口 文広<sup>1)</sup>

1) 日本獣医生命科学大学、2) 東北大学大学院、3) 京都微研、4) (独)農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所

**03-F-04** タンニンの抗ウイルス活性の解析吉仲 由之<sup>1)</sup>、山岡 昇司<sup>1)</sup>、山本 直樹<sup>2)</sup>

1) 東京医科歯科大学大学院 歯医学総合研究科 ウイルス制御学分野、2) シンガポール大学 医学部 微生物

**一般口演**

13:00~14:30

**カリシ、アストロ、SRSV(1)**

座長：田中 智之(堺市衛生研究所)

遠矢 幸伸(日本大学生物資源科学部)

**03-F-05** パンソルビン・トラップ法によって食品検体から検出されたノロウイルスの遺伝子解析法の開発斎藤 博之<sup>1)</sup>、東方 美保<sup>2)</sup>、岡 智一郎<sup>3)</sup>、片山 和彦<sup>3,4)</sup>、田中 智之<sup>4)</sup>、野田 衛<sup>5)</sup>

1) 秋田県健康環境センター、2) 福井県衛生環境研究センター、3) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、4) 堺市衛生研究所、

5) 国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部第四室

**03-F-06** パンソルビン・トラップ法による食品からのノロウイルス遺伝子の検出 弁当屋を原因施設としたノロウイルス集団食中毒事例から飯塚 節子<sup>1)</sup>、斎藤 博之<sup>2)</sup>、田中 智之<sup>3)</sup>、野田 衛<sup>4)</sup>

1) 島根県保健環境科学研究所、2) 秋田県健康環境センター、3) 堺市衛生研究所、4) 国立医薬品食品衛生研究所

**03-F-07** ノロウイルスGII/4 VLPを用いたマウスでの免疫効果野村 明子<sup>1)</sup>、町田 早苗<sup>2)</sup>、牛島 廣治<sup>3)</sup>

1) 株式会社 イムノ・プローブ、2) 埼玉医科大学 医学部 医学研究センター、3) 日本大学 医学部

**03-F-08** カリシウイルスのユニバーサルなプラスミドベースリバーシジェネティクスシステム戸高 玲子<sup>1)</sup>、村上 耕介<sup>1)</sup>、岡 智一郎<sup>1)</sup>、高木 弘隆<sup>2)</sup>、朴 英斌<sup>1)</sup>、下池 貴志<sup>1)</sup>、藤井 克樹<sup>1)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>、中西 章<sup>3)</sup>、片山 和彦<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、2) 国立感染症研究所 バイオセーフティ管理室、

3) 独立行政法人国立長寿医療研究センター 老化制御研究部遺伝子治療研究室

**03-F-09 ノロウイルスVLPのCaco-2細胞への結合に関与するタンパク質の探索**

村上 耕介<sup>1)</sup>、岡 智一郎<sup>1)</sup>、下池 貴志<sup>1)</sup>、藤井 克樹<sup>1)</sup>、朴 英斌<sup>1)</sup>、戸高 玲子<sup>1)</sup>、脇田 隆字<sup>1)</sup>、松田 幹<sup>2)</sup>、片山 和彦<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 ウイルス第二部 第1室、2) 名古屋大学大学院 生命農学研究科 応用分子生命科学専攻

**03-F-10 次世代シーケンサーを用いた家族内感染例におけるノロウイルス準種解析**

本村 和嗣<sup>1,2)</sup>、中村 浩美<sup>2)</sup>、佐藤 彩<sup>2,3)</sup>、大出 裕高<sup>2,4)</sup>、佐藤 裕徳<sup>2)</sup>

1) 国立精神神経医療研究センター トランスレーショナル メディカルセンター 臨床開発部 先端診断技術開発室、  
2) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター、3) 国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター、  
4) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染免疫部

**一般口演**

14:30~16:00

**カリシ、アストロ、SRSV(2)**

座長：佐藤 裕徳(国立感染症研究所)  
片山 和彦(国立感染症研究所ウイルス第二部)

**03-F-11 愛媛県で検出されたGII.4以外のノロウイルスの分子疫学的解析**

山下 育孝<sup>1)</sup>、青木 里美<sup>1)</sup>、青木 紀子<sup>2)</sup>、立花 早苗<sup>3)</sup>、川口 利花<sup>1)</sup>、菅 美樹<sup>1)</sup>、服部 昌志<sup>1)</sup>、大倉 敏裕<sup>1)</sup>、四宮 博人<sup>1)</sup>、野田 衛<sup>4)</sup>

1) 愛媛県立衛生環境研究所、2) 西条保健所、3) 愛媛県立新居浜病院、4) 国立医薬品食品衛生研究所

**03-F-12 保存糞便試料におけるNorovirusの検索について(東京都:1966年~1983年)**

森 功次、永野 美由紀、秋場 哲哉、林志直、甲斐 明美

東京都健康安全研究センター 微生物部

**03-F-13 ネパールで急激に増加したGII.13ノロウイルス株の分子基盤**

中込 治、中込 とよ子

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 分子疫学分野

**03-F-14 パンデミックノロウイルスの変化の制約**

佐藤 裕徳<sup>1)</sup>、本村 和嗣<sup>1,2)</sup>、横山 勝<sup>1)</sup>、椎野 禎一郎<sup>3)</sup>、中村 浩美<sup>1)</sup>、岡 智一郎<sup>4)</sup>、片山 和彦<sup>4)</sup>、野田 衛<sup>5)</sup>、田中 智之<sup>6)</sup>

1) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター 第二室、  
2) 国立精神神経医療研究センター トランスレーショナルメディカルセンター、3) 国立感染症研究所 感染症情報センター、  
4) 国立感染症研究所 ウイルス第二部、5) 国立医薬品食品衛生研究所 食品衛生管理部、6) 堺市衛生研究所

**03-F-15 マウスノロウイルス感染細胞内のウイルス蛋白質とそのゲノムRNAの局在**

下池 貴志、高木 弘隆、岡 智一郎、村上 耕介、戸高 玲子、朴 英斌、藤井 克樹、脇田 隆字、片山 和彦

国立感染症研究所

**03-F-16 アストロウイルス感染に伴い活性化されるシグナル伝達経路**

丹下 正一期、周 妍、中西 章

(独)国立長寿医療研究センター 老化制御研究部遺伝子治療研究室